

平成 30 年度
生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業
事業実績報告書

平成 31 年 2 月

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

目 次

はじめに	1
第1章 研修の概要	2
◆自立相談支援事業従事者養成研修	2
1 研修の目的および種類	2
2 プログラムの概要 日程表、会場	2
3 職種別の受講パターン	24
4 受講対象者	24
5 受講者定員	25
6 テキスト	25
7 申込みから受講、修了までの流れ	26
8 修了証書の交付	26
◆就労準備支援事業従事者養成研修	27
1 研修の目的および種類	27
2 プログラムの概要 日程表、会場	27
3 受講対象者	30
4 研修の受講定員	31
5 テキスト	31
6 申込みから受講までの流れ	31
7 修了証書の交付	32
◆家計相談支援事業従事者養成研修	33
1 研修の目的および種類	33
2 プログラムの概要 日程表、会場	33
3 受講対象者	46
4 研修の受講定員	46
5 テキストおよびノートパソコン	46
6 申込みから受講までの流れ	47
7 修了証書の交付	47
◆都道府県研修に係る担当者研修	48
1 研修の目的および種類	48
2 プログラムの概要 日程表、会場	48
3 受講対象者	52
4 研修の受講定員	52
◆全研修の受講者数と修了者数	53
◆全研修の修了者の傾向	56

第2章 研修内容の企画	77
1 企画委員会の概要	77
2 企画に係る委員会・部会の実施状況	79
3 個別打合せの実施状況	81
第3章 研修内容の詳細	82
1 【前期】共通カリキュラム 養成研修	82
2 【後期】主任相談支援員養成研修	91
3 【後期】相談支援員養成研修	101
4 【後期】就労支援員養成研修	118
5 就労準備支援事業従事者養成研修	125
6 家計相談支援事業従事者養成研修	135
7 都道府県研修に係る担当者研修	143
第4章 受講者からの評価	148
1 【前期】共通カリキュラム 養成研修	148
2 【後期】主任相談支援員養成研修	151
3 【後期】相談支援員養成研修	152
4 【後期】就労支援員養成研修	154
5 就労準備支援事業従事者養成研修	155
6 家計相談支援事業従事者養成研修	156
7 都道府県研修に係る担当者研修	160
第5章 研修の評価	161
1 本研修の特色	161
2 成果と課題	164
第6章 業務の運営	169
1 受け入れから実施報告までのスケジュール	169
2 実施体制	171
付録	172
1 開催要項	
2 修了証書（ひな形）	

はじめに

平成 27 年 4 月より生活困窮者自立支援法が施行され、全国の福祉事務所設置自治体において、自立相談支援事業等の必須事業、就労準備支援事業や家計相談（改善）支援事業等の任意事業などが実施されている。平成 30 年 6 月には法改正が行われ、基本理念が明確化されるとともに生活困窮者の自立支援に向けた包括的な支援体制の強化等がはかられたところである。

生活困窮者の自立支援の実施にあたっては、多様で複合的な課題を有する生活困窮者への包括的な支援を適切に行うことが求められている。そのため、生活困窮者自立支援制度の理念・目標を適切に理解し、十分な専門性を有した支援員を全国的に確保するため、国が計画的な養成研修を実施している。

平成 29 年 12 月にとりまとめられた「社会保障審議会・生活困窮者自立支援及び生活保護部会報告書」においても、本制度は多くの制度を組み合わせ、地域の力と協働した取り組みをしていく「人が人を支える」仕組みであり、制度を担う支援員の質の確保の重要性が明記されている。

昨年度に引き続き本会では、国研修「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業」を受託した。企画・運営委員会および企画部会を設置のうえカリキュラムを検討し、本年度は自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計相談（改善）支援事業の従事者養成研修を実施した。あわせて、都道府県研修の推進を目的に都道府県研修に係る担当者研修を実施し、各都道府県で実施している研修の情報交換を行うとともに、来年度に向けた研修の企画・立案について検討した。

本研修では、制度の理念や事業の基本的な考え方を伝え、国として支援員に求める役割や、支援を行う際の重要な視点やポイントについて実践事例等も踏まえながら教示し、受講者の研修ニーズを考慮した実践的な視点を取り入れた研修を実施することができた。また、「学びの見取り図」や支援員の役割を明記した「たまごの図」を各研修において作成し、研修冒頭で説明をすることで、各研修で学ぶべき内容とそれぞれのプログラムの目的を共有することができた。

本会では、関係者の参考に供するべく、研修の実施状況を記録として整理するとともに、研修事業の評価を報告書としてとりまとめた。今後の支援員養成の一助になれば幸いである。

平成 31 年 2 月
社会福祉法人 全国社会福祉協議会

第1章 研修の概要

◆自立相談支援事業従事者養成研修

1 研修の目的および種類

生活困窮者の自立を促進するため、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の評価・分析、自立支援計画(以下「プラン」という。)の策定、プランに基づく各支援の提供をはじめ、地域の関係機関とのネットワーク構築、社会資源の活用・開発等を行うため、相談及び就労等の支援技術を習得することにより、自立相談支援事業に従事する者の資質の確保・向上を図ることを目的とした。

平成27年度より施行された生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業において配置される主任相談支援員、相談支援員、就労支援員それぞれを対象とした3種の養成研修を実施した。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研 修 名	日 程	会 場
【前期】共通カリキュラム	【第1回】7月3日(火)～7月5日(木)	全社協・灘尾ホール
	【第2回】7月30日(月)～8月1日(水)	全社協・灘尾ホール
	【第3回】9月3日(月)～9月5日(水)	全社協・灘尾ホール
【後期】主任相談支援員養成研修	8月22日(水)～8月24日(金)	全社協・中央福祉学院
【後期】相談支援員養成研修	【第1回】10月17日(水)～10月19日(金)	全社協・中央福祉学院
	【第2回】11月19日(月)～11月21日(水)	OMM
【後期】就労支援員養成研修	12月5日(水)～12月7日(金)	全社協・中央福祉学院

<会場>

【前期】全国社会福祉協議会 灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

【後期】全国社会福祉協議会 中央福祉学院

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

【後期】OMM Aホール（【後期】相談支援員養成研修【第2回】）

〒540-6591 大阪府中央区大手前 1-7-31

【前期】共通カリキュラム 第1回

日 程 表

【第1日目】7月3日（火）

時 間	科 目	講 師
8:15～9:00	受 付	
9:00～9:10	オリエンテーション	
9:10～9:20	主催者挨拶、厚生労働省挨拶	
9:20～9:30 (10分)	アイスブレイク	
9:30～11:00 (90分)	【講義①】 生活困窮者自立支援法の 改正概要と今後の展望	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 本後 健 氏
11:00～11:10 (10分)	休 憩	
11:10～12:50 (100分)	【講義②】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 生活困窮者対策官 菊地 英人 氏 野洲市役所 市民生活相談課 課長 生水 裕美 氏
12:50～13:50 (60分)	昼食・休憩	
13:50～17:35 (225分) 休憩 15分含	【講義と演習③】 支援員に求められる基本倫理と基本姿勢	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:35～17:50 (15分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:50～18:05	交流会会場へ移動	
18:05～19:05 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】7月4日（水）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:00 (180 分) 休憩 15 分含	【講義と演習④】 生活困窮者支援を通じた 地域づくり	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏	【コメンテーター】 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 日向市社会福祉協議会 生活相談・支援センター心から センター長 松永 茂晃 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼食・休憩		
13:00～16:40 (220 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑤】 対象者の特性を踏まえた 支援のあり方	日本福祉大学 学長補佐 原田 正樹 氏	KHJ 全国ひきこもり家族会連 合会 本部事務局長 上田 理香 氏 NPO法人 自殺対策支援セン ター ライフリンク 副代表 根岸 親 氏 NPO法人 ふわり ケアコンサル タント (有)SNOW DREAM 代表 山口 久美 氏
16:40～16:50 (10 分)	休 憩		
16:50～18:30 (100 分) 休憩 10 分含	【講義と演習⑥】 つながりにくい相談者へ の支援	一般社団法人 社会的包摂サポートセンタ ー 事務局長 遠藤 智子 氏 NPO法人 BONDプロジェク ト 代表 橘 ジュン 氏 【コーディネーター】 市川市生活サポート センターそら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏	
18:30～18:45 (15 分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】7月5日（木）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:10 (190 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑦】 相談支援の展開と視点	福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子氏	四街道市社会福祉協議会 くらしサポートセンター「みらい」 生活相談支援係長/センター長 /主任相談支援員 及川 哲 氏
12:10～13:10 (60 分)	昼食・休憩		
13:10～16:25 (195 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑧】 就労支援の考え方と 実施方法	明治学院大学 教授 新保 美香 氏	一般社団法人 草の根ささえ あいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか氏 東近江圏域 働き・暮らし応援 センター “Tekito-” センター長 野々村 光子 氏 NPO法人 青少年就労支援ネ ットワーク静岡 理事長 津富 宏 氏
16:25～16:45 (20 分)	まとめ・振り返り (第3日目)	事務局	

【前期】共通カリキュラム 第2回

日 程 表

【第1日目】7月30日（月）

時 間	科 目	講 師
8:15～9:00	受 付	
9:00～9:10	オリエンテーション	
9:10～9:20	主催者挨拶、厚生労働省挨拶	
9:20～9:30 (10分)	アイスブレイク	
9:30～11:00 (90分)	【講義①】 生活困窮者自立支援法の 改正概要と今後の展望	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 本後 健 氏
11:00～11:10 (10分)	休 憩	
11:10～12:50 (100分)	【講義②】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 生活困窮者対策官 菊地 英人 氏 野洲市役所 市民生活相談課 課長 生水 裕美 氏
12:50～13:50 (60分)	昼食・休憩	
13:50～17:35 (225分) 休憩 15分含	【講義と演習③】 支援員に求められる基本倫理と基本姿勢	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:35～17:50 (15分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:50～18:05	交流会会場へ移動	
18:05～19:05 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】7月31日（火）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:00 (180 分) 休憩 15 分含	【講義と演習④】 生活困窮者支援を通じた 地域づくり	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏	【コメンテーター】 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 日向市社会福祉協議会 生活相談・支援センター心から センター長 松永 茂晃 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼食・休憩		
13:00～16:10 (190 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑤】 相談支援の展開と視点	福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子氏	四街道市社会福祉協議会 くらしサポートセンター「み らい」 生活相談支援係長/センター 長/主任相談支援員 及川 哲 氏
16:10～16:20 (10 分)	休 憩		
16:20～18:00 (100 分)	【講義と演習⑥】 つながりにくい相談者へ の支援	一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏 NPO法人 BONDプロジェクト 代表 橘 ジュン 氏 【コーディネーター】 市川市生活サポート センターそら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏	
18:00～18:15 (15 分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】8月1日（水）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:40 (220 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑦】 対象者の特性を踏まえた 支援のあり方	日本福祉大学 学長補佐 原田 正樹 氏	KHJ 全国ひきこもり家族会連合 会 本部事務局長 上田 理香 氏 NPO 法人 自殺対策支援センタ ー ライフリンク 副代表 根岸 親 氏 NPO 法人 ふわり ケアコンサルタ ント (有) SNOW DREAM 代表 山口 久美 氏
12:40～13:40 (60 分)	昼食・休憩		
13:40～16:55 (195 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑧】 就労支援の考え方と 実施方法	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 米丸 洋 氏	東近江圏域 働き・暮らし応援 センター “Tekito-” センター長 野々村 光子 氏 一般社団法人 草の根ささえあ いプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏 NPO 法人 青少年就労支援ネッ トワーク静岡 理事長 津富 宏 氏
16:55～17:15 (20 分)	まとめ・振り返り (第3日目)	事務局	

【前期】共通カリキュラム 第3回

日 程 表

【第1日目】9月3日（月）

時 間	科 目	講 師
8:15～9:00	受 付	
9:00～9:10	オリエンテーション	
9:10～9:20	主催者挨拶、厚生労働省挨拶	
9:20～9:30 (10分)	アイスブレイク	
9:30～11:00 (90分)	【講義①】 生活困窮者自立支援法の 改正概要と今後の展望	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 野崎 伸一 氏
11:00～11:10 (10分)	休 憩	
11:10～12:50 (100分)	【講義②】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏 野洲市役所 健康福祉部障がい者自立支援 課 地域生活支援室 主任 宇都宮 誠実 氏
12:50～13:50 (60分)	昼食・休憩	
13:50～17:35 (225分) 休憩 15分含	【講義と演習③】 支援員に求められる基本倫理と基本姿勢	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:35～17:50 (15分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:50～18:05	交流会会場へ移動	
18:05～19:05 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】9月4日（火）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:00 (180 分) 休憩 15 分含	【講義と演習④】 生活困窮者支援を 通じた地域づくり	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏	日向市社会福祉協議会 生活相談・支援センター心から センター長 松永 茂晃 氏 【コメンテーター】 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼食・休憩		
13:00～16:15 (195 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑤】 就労支援の考え方と 実施方法	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏	東近江圏域 働き・暮らし応援 センター “Tekito-” センター長 野々村 光子 氏 一般社団法人 草の根ささえ あいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか氏 NPO 法人 青少年就労支援ネ ットワーク静岡 理事長 津富 宏 氏
16:15～16:25 (10 分)	休 憩		
16:25～18:05 (100 分)	【講義と演習⑥】 つながりにくい相談者へ の支援	市川市生活サポート センターそら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏	一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏 NPO 法人 BOND プロジェクト 代表 橘 ジュン 氏
18:05～18:20 (15 分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】9月5日（水）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～9:00	開 場		
9:00～12:40 (220 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑦】 対象者の特性を踏まえた 支援のあり方	日本福祉大学 学長補佐 原田 正樹 氏	KHJ 全国ひきこもり家族会連 合会 本部事務局長 上田 理香 氏 NPO法人 自殺対策支援セン ター ライフリンク 副代表 根岸 親 氏 NPO法人ふわり ケアコンサル タント (有)SNOW DREAM 代表 山口 久美 氏
12:40～13:40 (60 分)	昼食・休憩		
13:40～16:50 (190 分) 休憩 15 分含	【講義と演習⑧】 相談支援の展開と視点	福島県立医科大学 特任准教授 八木亜紀子 氏 同志社大学 教授 空閑 浩人 氏	四街道市社会福祉協議会 くらしサポートセンター 「みらい」 生活相談支援係長/センター長 /主任相談支援員 及川 哲 氏
16:50～17:10 (20 分)	まとめ・振り返り (第3日目)	事務局	

【後期】主任相談支援員養成研修

日 程 表

【第1日目】8月22日（水）

時 間	科 目	講 師
10:00～10:30	受 付	
10:30～10:40	オリエンテーション	
10:40～11:40 (60 分)	【講義と演習①】 生活困窮者支援と地域づくりの意義	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏
11:40～12:40 (60 分)	昼食・休憩	
12:40～16:55 (研修 240 分) (休憩 15 分)	【講義と演習②】 職員の資質向上と職場（組織）づくり	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
16:55～17:25 (30 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:25～17:30	休憩・移動	
17:30～19:00 (90 分)	交流会（会場：大楠）	

日 程 表

【第2日目】8月23日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～12:15 (研修 180 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 事例検討の意義と理解	【ファシリテーター】 ・ 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【スーパーバイザー】 ・ 聖隷福祉事業団 在宅・福祉サービス事業部 次長 上原 久 氏 【実践報告者】 ・ 滋賀県湖東健康福祉事務所 主任相談支援員 ムルカン 実香 氏
12:15～13:05 (50 分)	昼食・休憩	
13:05～16:50 (研修 210 分) (休憩 15 分)	【講義と演習④】 スーパービジョンの実際	・ 市川市生活サポートセンター そら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・ 聖隷福祉事業団 在宅・福祉サービス事業部 次長 上原 久 氏 【実践報告者】 ・ いちはら生活相談サポートセンター 主任相談支援員 大戸 優子 氏
16:50～17:00 (10 分)	研修の振り返り (第2日目)	事務局
17:10～18:10 (60 分)	テーマ別交流会（任意参加）	・ 市川市生活サポートセンター そら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・ いちはら生活相談サポートセンター 主任相談支援員 大戸 優子 氏 ・ 日本福祉大学 学長補佐 原田 正樹 氏 ・ 氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏 ・ 金沢市地域包括支援センター とびうめ センター長 中 恵美 氏

日 程 表

【第3日目】8月24日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～11:45 (研修 150 分) (休憩 15 分)	【講義と演習⑤】 個を支える地域づくり	【ファシリテーター】 ・日本福祉大学 学長補佐 原田 正樹 氏 【コメンテーター】 ・愛知教育大学 教授 川島 ゆり子 氏 【実践報告者】 ・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏 ・金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏 ・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こすえ 氏
11:45～12:30 (45 分)	昼食・休憩	
12:30～15:45 (研修 150 分) (休憩 15 分)	【講義と演習⑥】 社会資源とネットワークの開発	【ファシリテーター】 ・日本福祉大学 学長補佐 原田 正樹 氏 【コメンテーター】 ・愛知教育大学 教授 川島 ゆり子氏 【実践報告者】 ・金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏 ・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こすえ 氏 ・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏
15:45～15:55	休憩	
15:55～16:55 (60 分)	【講義と演習⑦】 研修の振り返り・まとめ	日本福祉大学 学長補佐 原田 正樹 氏
16:55～17:10	アンケート記入、修了式	

【後期】相談支援員養成研修（第1回）

日 程 表

【第1日目】10月17日（水）

時 間	科 目	講 師
13:00～13:30	受 付	
13:30～13:40	オリエンテーション	
13:40～14:40 (研修 60 分)	【講義と演習①】 個別支援の基本	市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏
14:40～14:50	休 憩	
14:50～18:05 (研修 180 分) (休憩 15 分)	【講義と演習②】 個を支える地域づくり	武庫川女子大学 教授 松端 克文 氏 【実践者】 静岡市社会福祉協議会 静岡市暮らし・しごと相談支援センター 所長 安藤 千晶 氏
18:05～18:20 (15 分)	研修の振り返り（第1日目）	
18:20～18:30 (10 分)	交流会会場へ移動	
18:30～20:00 (90 分)	交流会（会場：ロフォス湘南 大楠）	

日 程 表

【第2日目】10月18日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～12:35 (研修 200 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔導入（ねらい）〕 〔セッション 1〕 包括的な相談受付 〔セッション 2〕 アセスメント ・初回面接でのポイント	【コーディネーター】 ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏 【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子 氏
12:35～13:35	昼食・休憩	【演習協力】 ・四街道市社会福祉協議会 くらしサポートセンター「みらい」 センター長・主任相談支援員 及川 哲 氏 ・いちほら生活相談サポートセンター センター長・主任相談支援員 大戸 優子 氏 ・鶴ヶ島市社会福祉協議会 主任相談支援員 藤川 雄一 氏
13:35～16:50 (研修 180 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔セッション 2〕 アセスメント ・【ミニ講義 1】援助関係 ・インテーク・アセスメント シートの記入	
16:50～17:10 (20 分)	研修の振り返り（第2日目）	事務局

日 程 表

【第 3 日目】10 月 19 日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～11:40 (研修 145 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔セッション3〕 プランの実行 ・プランシートの作成 ・【ミニ講義 2】多機関との連携 〔セッション4〕 評価・終結 ・【ミニ講義 3】終結について	【コーディネーター】 ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏 【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子 氏 【演習協力】 ・四街道市社会福祉協議会 暮らしサポートセンター「みらい」 センター長・主任相談支援員 及川 哲 氏 ・いちほら生活相談サポートセンター センター長・主任相談支援員 大戸 優子 氏 ・鶴ヶ島市社会福祉協議会 主任相談支援員 藤川 雄一 氏
11:40～12:30	昼食・休憩	
12:30～15:05 (研修 140 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔セッション4〕 評価・終結 ・終結について 〔全体のまとめ〕	
15:05～15:25 (20 分)	振り返り・修了式	事務局

【後期】相談支援員養成研修（第2回）

日 程 表

【第1日目】11月19日（月）

時 間	科 目	講 師
13:00～13:30	受 付	
13:30～13:40	オリエンテーション	
13:40～14:40 (研修 60 分)	【講義と演習①】 個別支援の基本	同志社大学 教授 空閑 浩人 氏
14:40～14:50	休 憩	
14:50～18:05 (研修 180 分) (休憩 15 分)	【講義と演習②】 個を支える地域づくり	武庫川女子大学 教授 松端 克文 氏 【実践者】 静岡市社会福祉協議会 静岡市暮らし・しごと相談支援センター 所長 安藤 千晶 氏
18:05～18:20 (15 分)	研修の振り返り（第1日目）	
18:20～18:30 (10 分)	交流会会場へ移動	
18:30～20:00 (90 分)	交流会（会場：東天紅大阪天満橋OMM店）	

日 程 表

【第2日目】11月20日（火）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～12:35 (研修 200 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔導入（ねらい）〕 〔セッション 1〕 包括的な相談受付 〔セッション 2〕 アセスメント ・初回面接でのポイント	【コーディネーター】 ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏 【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏
12:35～13:35	昼食・休憩	
13:35～16:50 (研修 180 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔セッション 2〕 アセスメント ・【ミニ講義 1】援助関係 ・インテーク・アセスメント シートの記入	【演習協力】 ・福岡市就労自立支援センター センター長 安達 一徳 氏 ・米原市役所 健康福祉部社会福祉課 主幹 石田 育子 氏 ・滋賀県湖東健康福祉事務所 主任相談支援員 ムルカン 実香 氏
16:50～17:10 (20 分)	研修の振り返り（第2日目）	事務局

日 程 表

【第3日目】11月21日（水）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～11:40 (研修 145 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔セッション3〕 プランの実行 ・プランシートの作成 ・【ミニ講義 2】多機関との連携 〔セッション4〕 評価・終結 ・【ミニ講義 3】終結について	【コーディネーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 【コメンテーター】 ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏
11:40～12:30	昼食・休憩	・聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏
12:30～15:05 (研修 140 分) (休憩 15 分)	【講義と演習③】 相談支援の展開 〔セッション4〕 評価・終結 ・終結について 〔全体のまとめ〕	【演習協力】 ・福岡市就労自立支援センター センター長 安達 一徳 氏 ・米原市役所 健康福祉部社会福祉課 主幹 石田 育子 氏 ・滋賀県湖東健康福祉事務所 主任相談支援員 ムルカン 実香 氏
15:05～15:25 (20 分)	振り返り・修了式	事務局

【後期】就労支援員養成研修

日 程 表

【第1日目】12月5日（水）

時 間	科 目	講 師
12:30～13:00	受付	
13:00～13:10	オリエンテーション	
13:10～14:40 (90 分)	【講義と演習①】はじめに	明治学院大学 教授 新保 美香 氏
14:40～14:55 (15 分)	休 憩	
14:55～15:40 (45 分)	【行政説明】生活困窮者自立支援制度における就労支援について	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 米丸 洋 氏
15:40～15:55 (15 分)	休 憩	
15:55～18:05 (130 分)	【講義と演習②】 アウトリーチの実際と危機管理	NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
18:05～18:15 (10 分)	研修の振り返り（1日目）	事務局
18:15～18:30	交流会会場へ移動	
18:30～20:00 (90 分)	交流会	

日 程 表

【第2日目】12月6日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開場	
9:00～11:00 (120 分)	【講義と演習③】 地域づくり、自治体による 就労支援について	【コーディネーター】 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 【報告者】 ・釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 ・A' ワーク創造館(大阪地域職業訓練センター) 就労支援室 室長 西岡 正次 氏
11:00～11:10 (10 分)	休憩	
11:10～12:35 (85 分)	【講義と演習④】 多様なメニューづくり	沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナルサポートセンター 統括責任者 名嘉 泰 氏
12:35～13:35 (60 分)	昼食休憩	
13:35～14:30 (55 分)	【講義⑤】 企業訪問、開拓について	一般社団法人 パーソナルサポートセンター 常務理事 立岡 学 氏
14:30～14:45 (15 分)	休憩	
14:45～17:00 (研修 120 分 +休憩 15 分)	【講義と演習⑥】 「環境支援型」就労支援～ 企業とのチーム支援の手 法～	一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏
17:00～17:10 (10 分)	研修の振り返り（第2日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:10～18:10 (60 分)	テーマ別交流会・任意参加	・釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 ・一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏 ・東近江圏域 働き・暮らし応援センター “Tekito-” センター長 野々村 光子 氏 ・明治学院大学 教授 新保 美香 氏 ・九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

日 程 表

【第3日目】12月7日（金）

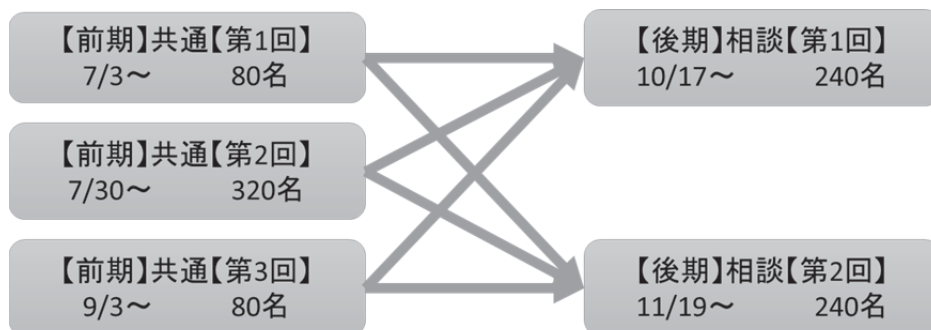
時 間	科 目	講 師
8:30～9:00	開 場	
9:00～10:05 (65 分)	【講義⑦】 就労支援における出口づ くり～企業へのアプロ ーチ～	東近江圏域 働き・暮らし応援センター “Tekito-” センター長 野々村 光子 氏
10:05～10:20 (15 分)	休 憩	
10:20～11:25 (65 分)	【講義⑧】 地域をつくる就労支援	NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡 理事長 津富 宏 氏
11:25～12:25 (60 分)	昼食休憩	
12:25～14:25 (120 分)	【講義と演習⑨】 研修全体のまとめ	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
14:25～14:55 (30 分)	まとめ・振り返り・修了式	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 事務局

3 職種別の受講パターン

1) 主任相談支援員（240 名）



(2) 相談支援員（480 名）



相談支援員は、【前期】、【後期】それぞれ受講希望回を受講申込書にて確認。
受講回の決定は事務局および厚生労働省が行う。

(3) 就労支援員（240 名）



4 受講対象

(1) 主任相談支援員養成研修

自立相談支援事業において主任相談支援員として配置されている者。

なお、以下の①～③までのいずれかに該当する者。

- ①社会福祉士、精神保健福祉士、保健師として保健、医療、福祉、就労、教育等の分野における業務に5年以上従事している者であり、かつ、生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に3年以上従事している者
- ②生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に5年以上従事している者
- ③相談支援業務に準ずる業務として、実施主体である地方自治体の長が認めた業務に5年以上従事している者

(2) 相談支援員養成研修

自立相談支援事業において相談支援員として配置されている者。なお、相談支援業務に従事してい

る者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への相談支援を適切に行うことができる者。

（３）就労支援員養成研修

自立相談支援事業において就労支援員として配置されている者。なお、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる者。

※受講者は選考を行い決定する。選考は下記に基づいて行われる。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 30 年 4 月 19 日付社援発 0419 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 30 年 4 月 27 日付厚生労働省事務連絡）

５ 受講者定員

各回 240 名

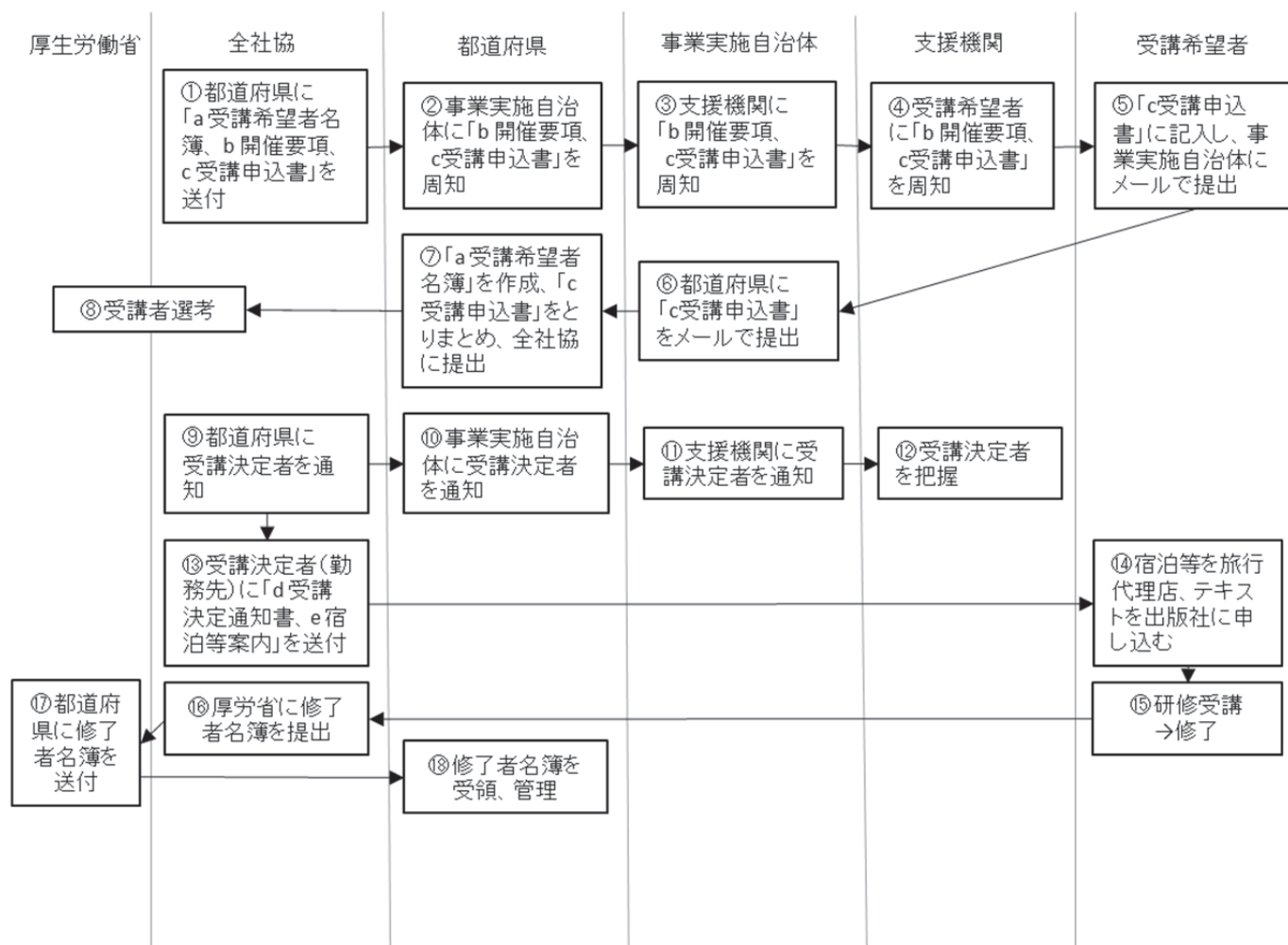
※平成30年4月27日付厚生労働省事務連絡に基づき、各都道府県の各研修受講者枠を定めている。

６ テキスト

各研修で、下記のテキストを使用する。受講者が各自用意する（自己負担）。

- ①『生活困窮者自立支援法 自立相談支援事業従事者養成研修テキスト』（中央法規出版株式会社）

7 申込みから受講、修了までの流れ



8 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付する。
- (2) 修了要件は以下のとおりである。
 - ①前・後期のすべての科目に出席すること。
 - ②前期終了後の事後課題を提出すること（課題を課した場合）。
- (3) 修了証書は、後期研修終了時に受講者本人に授与する。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿を送付する。

◆就労準備支援事業従事者養成研修

1 研修の目的および種類

複合的な課題を抱え、直ちに就労が困難な者に対して、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援するため、就労準備支援事業に従事する者に必要とされる姿勢・知識・能力を習得することにより、資質の確保・向上を図ることを目的とした。

平成 27 年度より施行された生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業において配置される就労準備支援担当者を対象とした養成研修を実施した。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研 修 名	日 程	定員	会 場
就労準備支援事業 従事者養成研修	10 月 3 日（水）～ 10 月 5 日（金）	120 名	タイム 24 ビル

<会場>

タイム 24 ビル 研修室 131

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32

平成 30 年度 就労準備支援事業従事者養成研修 日程表

日 程 表

【第 1 日目】 10 月 3 日（水）

時 間	科 目	講 師
12:30～13:00	受付	
13:00～13:20 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:20～14:20 (60 分)	【講義①】 生活困窮者自立支援法と就労準備支援事業の基本的な考え方	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 米丸 洋 氏
14:20～15:05 (45 分)	【講義②】 これまでの取組実績と考え方	一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏
15:05～15:25 (15 分)	休憩	
15:25～16:50 (85 分)	【事例発表③】 自立相談支援機関との連携	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 生活困窮者対策官 菊地 英人 氏 【報告者】 ・沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナルサポートセンター 総括責任者 名嘉 泰 氏 ・NPO 法人 インクルージョンセンター東京オレンヂ 主任就労準備支援員 八木 孝道 氏
16:50～17:00 (10 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
17:00～17:20	交流会会場へ移動	
17:20～18:20 (60 分)	交流会（任意参加）	

日 程 表

【第2日目】10月4日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～9:30 (60分)	受付	
9:30～10:55 (85分)	【事例発表④】 就労体験を中心とした取組	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏 【報告者】 ・うきは市社会福祉協議会 地域福祉活動専門員 権藤 俊介 氏 ・佐倉市 生活困窮者自立支援事業共同事業体 就労支援員 兼 就労準備支援員 小林 雄一 氏
10:55～11:10 (15分)	休憩	
11:10～14:40 ＜昼食＞12:00～13:00 (60分) (研修 150分)	【講義と演習⑤】 アウトリーチの実際と危機管理	NPO スチューデント・サポート・ フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
14:40～14:55 (15分)	休憩	
14:55～15:55 (60分)	【講義⑥】 対象者別の特性理解	レター・ポスト・フレンド 相談ネットワーク 理事長 田中 敦氏
15:55～16:05 (10分)	休憩	
16:05～17:55 (110分)	【講義と演習⑦】 本人の状態に応じた多様なメニュー開発	沖縄県労働者福祉基金協会 沖縄県おしごと応援センター One× One（ワンバイワン） 次長 岡野 みゆき 氏
17:55～18:05 (10分)	研修の振り返り（第2日目）	
18:05～19:05 (60分)	意見交換会（任意参加）	

日 程 表

【第3日目】10月5日（金）

時 間	科 目	講 師
9:00～9:30	受付	
9:30～11:00 (90 分)	【講義と演習⑧】 企業開拓について	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 米丸 洋 氏 【報告者】 ・ 京都自立就労サポートセンター 主任就労支援相談員 高橋 尚子氏
11:00～11:15 (15 分)	休憩	
11:15～13:55 ＜昼食＞12:00～13:00 (60 分) (研修 100 分)	【講義と演習⑨】 支援関係の構築	【コーディネーター】 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【コメンテーター】 ・ NPO スチューデント・サポート・ フェイス 代表 谷口 仁史 氏 ・ 沖縄県労働者福祉基金協会 沖縄県おしごと応援センター One× One（ワンバイワン） 次長 岡野 みゆき 氏
13:55～14:10 (15 分)	休憩	
14:10～16:10 (120 分)	【講義と演習⑩】 3日間の振り返りとまとめ	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 森川 千滉 氏
16:10～16:30 (20 分)	振り返り（第3日目） 修了式	

3 受講対象者

就労準備支援事業において就労準備支援担当者として配置されている者。

なお、対象者の選定に当たっては、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる人材が望ましい。

※受講者は選考を行い決定する。選考は下記に基づいて行われる。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 30 年 4 月 19 日付社援発 0419 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 30 年 4 月 27 日付厚生労働省事務連絡）

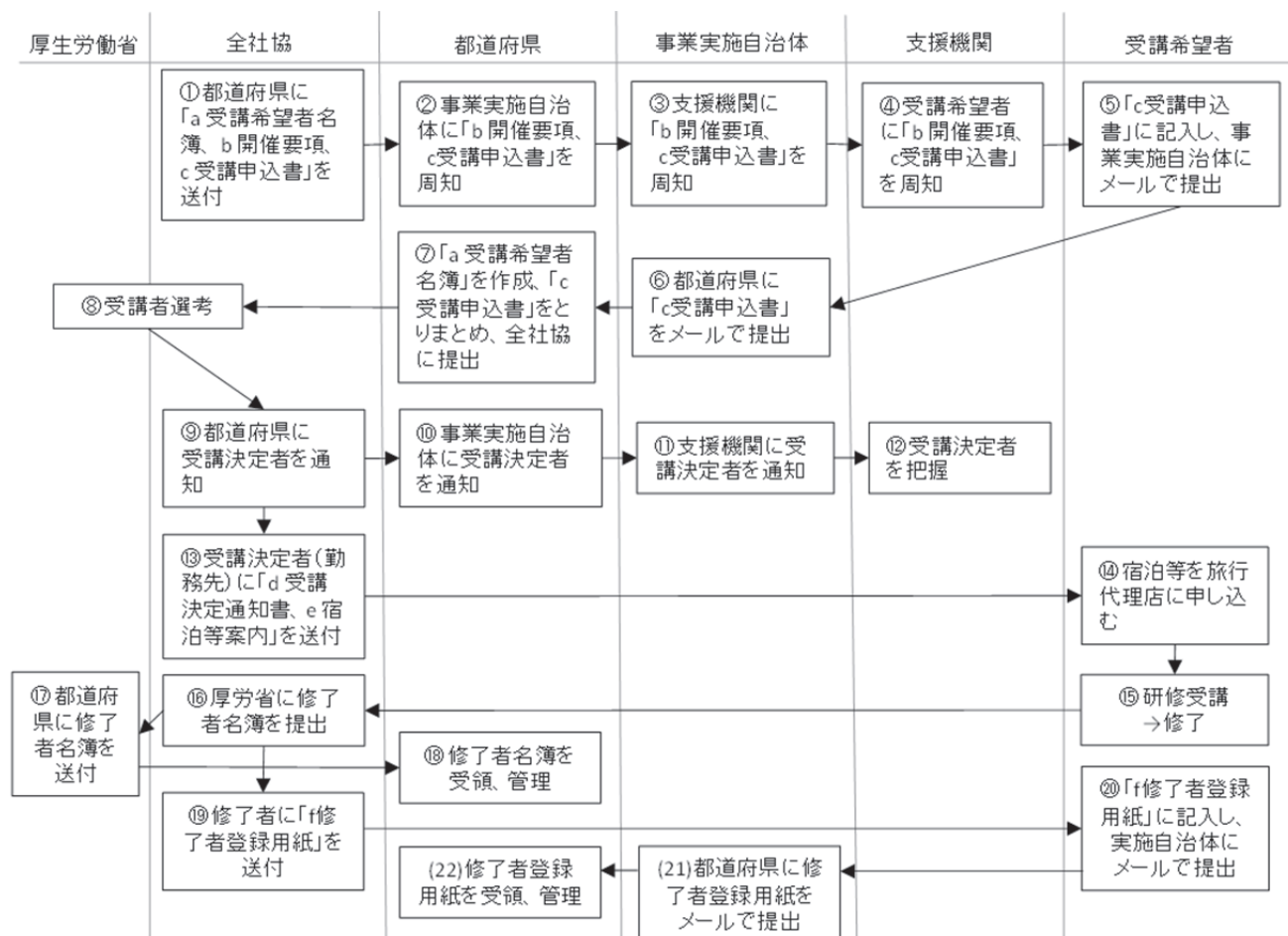
4 研修の受講定員

120 名

5 テキスト

テキストとして、有償の書籍は使用しない。

6 申込みから受講までの流れ



7 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付する。
- (2) 修了要件は以下のとおりである。
 - ①すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人に授与する。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿を送付する。

◆家計相談支援事業従事者養成研修

1 研修の目的および種類

生活困窮の背景にある根源的な課題を相談者とともに理解し、相談者自身が主体的に「家計を管理しよう」という意欲を引き出すための、支援姿勢や方法等を学ぶことを目的とする。加えて、相談者が再び生活困窮状態になることを予防する観点からも、家計相談支援のねらいや基本的な考え方を十分に理解したうえで、効率的かつ確実に支援を行うための技術を習得し、家計相談支援事業に従事する者の資質の確保・向上を図ることを目的とした。

平成 27 年度より施行された生活困窮者自立支援制度の家計相談支援事業において配置される家計相談支援員を対象とした養成研修を実施した。研修は 4 回実施したが、各回の内容は同様。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研 修 名	日 程	定員	会 場
第1回 家計相談支援事業従事者養成研修	6月5日(火)～6月7日(木)	60名	全社協・会議室
第2回 家計相談支援事業従事者養成研修	9月10日(月)～9月12日(水)	60名	全社協・会議室
第3回 家計相談支援事業従事者養成研修	9月25日(火)～27日(木)	60名	OMM
第4回 家計相談支援事業従事者養成研修	12月19日(水)～21日(金)	60名	全社協・会議室

<会場>

【第 1.2.4.回】 全国社会福祉協議会（5 階 会議室）
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

【第 3 回】 OMM 204・205 会議室
〒540-6591 大阪府中央区大手前 1-7-31

平成 30 年度 家計相談支援事業従事者養成研修【第 1 回】

日 程 表

【第 1 日目】 6 月 5 日（火）

時 間	科 目	講 師
12:40～13:20	受 付	
13:20～13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10 (30 分)	【講義①】 行政説明「家計相談支援事業の動向」	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 三浦 正樹 氏
14:10～14:40 (30 分)	【講義②】 生活福祉資金について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
14:40～15:30 (50 分)	【講義③】 生活保護制度について	厚生労働省 社会・援護局 生活保護課 課長補佐 清水 修 氏
15:30～15:45 (15 分)	休 憩	
15:45～16:45 (60 分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の 解決方法の理解	日本司法支援センター本部 第一事業部 近岡 美由紀 氏
16:45～16:50 (5 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
16:50～17:40 (50 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第2日目】 6月6日（水）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:40 (70 分)	【講義⑤】 相談者に学ぶ家計相談支援のあり方 ～相談者のエンパワメントを～	グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
10:40～10:50	休 憩	
10:50～12:00 (70 分)	【実習①】 家計相談支援の実務に必要な帳票と 家計表作成	グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼 食 休 憩	
13:00～13:15	机 配 置 替	
13:15～15:15 (120 分) (休憩 10 分)	【講義⑥】 家計相談支援の基本的な考えと相談の流れ ～一連の流れを理解する～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏
15:15～15:40	机 配 置 替	
15:40～16:40 (60 分)	【講義⑦】 家計相談支援でうまくいかなかったのは 何故か ～相談の留意点や連携のあり方～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●近澤 和子 氏 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏
16:40～16:50	休 憩	
16:50～18:00 (70 分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成 ～相談時家計表と家計計画表の作成～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●丸山 恵子 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏
18:00～18:05 (5 分)	研修の振り返り（第2日目）	
18:05～18:45 (40 分)	オプション交流会（任意参加）	

日 程 表

【第3日目】 6月7日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:10 (40 分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成 ～ライフイベント表の作成～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●丸山 恵子 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏
10:10～10:20	休 憩	
10:20～12:00 (100 分)	【実習③-1】 家計表の入力	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●中島 明美 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼 食 休 憩	
13:00～13:40 (40 分)	【実習③-2】 キャッシュフロー表の作成	
13:40～13:55	休 憩・体 操	
13:55～14:45 (50 分)	【実習③-3】 家計再生プランの作成	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏 丸山 恵子 氏
14:45～14:55	休 憩	
14:55～15:45 (50 分)	【講義⑧】 グリーンコープの取り組み事例紹介 ～家計管理と資金繰りの違い～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏
15:45～16:25 (40 分)	質疑応答	講師全員
16:25～16:40 (15 分)	全体の振り返り・修了式	

平成 30 年度 家計相談支援事業従事者養成研修【第 2 回】

日 程 表

【第 1 日目】 9 月 10 日（月）

時 間	科 目	講 師
12:40～13:20	受 付	
13:20～13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10 (30 分)	【講義①】 行政説明「家計相談支援事業の動向」	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 三浦 正樹 氏
14:10～14:40 (30 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
14:40～15:30 (50 分)	【講義③】 生活保護制度について	厚生労働省 社会・援護局 生活保護課 課長補佐 清水 修 氏
15:30～15:45 (15 分)	休 憩	
15:45～16:45 (60 分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の 解決方法の理解	日本司法支援センター本部 第一事業部 近岡 美由紀 氏
16:45～16:50 (5 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
16:50～17:40 (50 分)	交流会（任意参加）	

日 程 表

【第2日目】 9月11日（火）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:30 (60 分)	【講義⑤】 家計相談支援の基本的な考え方と相談の流れ ～一連の流れを理解する～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 藤浦 久美 氏
10:30～10:40	休 憩	
10:40～11:50 (70 分)	【講義⑥】 相談者に学ぶ家計相談支援のあり方 ～相談者のエンパワメントを～	グリーンコープ連合 北島 千恵 氏 行岡 みち子 氏
11:50～12:50 (60 分)	昼 食 休 憩	
12:50～13:50 (60 分)	【実習①】 家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表作成	グリーンコープ連合 近澤 和子 氏 行岡 みち子 氏
13:50～14:05	休 憩	
14:05～15:25 (80 分)	【演習①】 家計相談の流れとポイントを理解する	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏
15:25～15:40	休 憩	
15:40～16:40 (60 分)	【講義⑦】 家計相談支援でうまくいかなかったのは何故か ～相談の留意点や連携のあり方～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 近澤 和子 氏 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏
16:40～16:50	休 憩	
16:50～18:00 (70 分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成 ～相談時家計表と家計計画表の作成～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 丸山 恵子 氏
18:00～18:05 (5 分)	研修の振り返り（第2日目）	

日 程 表

【第3日目】 9月12日（水）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:10 (40 分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成 ～ライフイベント表の作成～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●丸山 恵子 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏
10:10～10:20	休 憩	
10:20～12:00 (100 分)	【実習③-1】 家計表入力	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●中島 明美 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼 食 休 憩	
13:00～13:40 (40 分)	【実習③-2】 キャッシュフロー表の作成	
13:40～13:55	休 憩・体 操	
13:55～14:45 (50 分)	【実習③-3】 家計再生プランの作成	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏 丸山 恵子 氏
14:45～14:55	休 憩	
14:55～15:45 (50 分)	【講義⑧】 グリーンコープの取り組み事例紹介 ～家計管理と資金繰りの違い～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 一丸 直子 氏
15:45～16:25 (40 分)	質疑応答	講師全員
16:25～16:40 (15 分)	全体の振り返り・修了式	

平成 30 年度 家計相談支援事業従事者養成研修【第 3 回】

日 程 表

【第 1 日目】 9 月 25 日（火）

時 間	科 目	講 師
12:40～13:20	受 付	
13:20～13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10 (30 分)	【講義①】 行政説明「家計相談支援事業の動向」	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 主査 藤村 貴俊 氏
14:10～14:40 (30 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
14:40～15:30 (50 分)	【講義③】 生活保護制度について	厚生労働省 社会・援護局 保護課 保護事業室 生活保護自立助長専門官 福田 和生 氏
15:30～15:45 (15 分)	休 憩	
15:45～16:45 (60 分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の 解決方法の理解	日本司法支援センター本部 第一事業部 近岡 美由紀 氏
16:45～16:50 (5 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
16:50～17:50 (60 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第2日目】 9月26日（水）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:30 (60 分)	【講義⑤】 家計相談支援の基本的な考え方と相談の流れ ～一連の流れを理解する～	グリーンコープ連合 藤浦 久美 氏 行岡 みち子 氏
10:30～10:40	休 憩	
10:40～11:50 (70 分)	【講義⑥】 相談者に学ぶ家計相談支援のあり方 ～相談者のエンパワメントを～	グリーンコープ連合 北島 千恵 氏 行岡 みち子 氏
11:50～12:50 (60 分)	昼 食 休 憩	
12:50～13:50 (60 分)	【実習①】 家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表作成	グリーンコープ連合 近澤 和子 氏 行岡 みち子 氏 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏
13:50～14:00	休 憩	
14:00～15:25 (85 分)	【演習①】 家計相談の流れとポイントを理解する	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏
15:25～15:40	休 憩	
15:40～16:40 (60 分)	【講義⑦】 家計相談支援でうまくいかなかったのは何故か ～相談の留意点や連携のあり方～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 近澤 和子 氏 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏
16:40～16:50	休 憩	
16:50～18:00 (70 分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成 ～相談時家計表と家計計画表の作成～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 丸山 恵子 氏
18:00～18:05 (5 分)	研修の振り返り（第2日目）	

日 程 表

【第3日目】 9月27日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:10 (40 分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成 ～ライフイベント表の作成～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●丸山 恵子 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏
10:10～10:20	休 憩	
10:20～12:00 (100 分)	【実習③-1】 家計表入力	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●中島 明美 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼 食 休 憩	
13:00～13:40 (40 分)	【実習③-2】 キャッシュフロー表の作成	
13:40～13:55	休 憩・体 操	
13:55～14:45 (50 分)	【実習③-3】 家計再生プランの作成	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 ●北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏 丸山 恵子 氏
14:45～14:55	休 憩	
14:55～15:45 (50 分)	【講義⑧】 グリーンコープの取り組み事例紹介 ～家計管理と資金繰りの違い～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 一丸 直子 氏
15:45～16:25 (40 分)	質疑応答	講師全員
16:25～16:40 (15 分)	全体の振り返り・修了式	

平成 30 年度 家計相談支援事業従事者養成研修【第 4 回】

日 程 表

【第 1 日目】 12 月 19 日（水）

時 間	科 目	講 師
12:40～13:20	受 付	
13:20～13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10 (30 分)	【講義①】 行政説明「家計改善支援事業の動向」	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 三浦 正樹 氏
14:10～14:40 (30 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
14:40～15:30 (50 分)	【講義③】 生活保護制度について	厚生労働省 社会・援護局 保護課 保護事業室 室長補佐 清水 修 氏
15:30～15:45 (15 分)	休 憩	
15:45～16:45 (60 分)	【講義④】 利用できる制度および多重・過剰債務の 解決方法の理解	日本司法支援センター本部 第一事業部 近岡 美由紀 氏
16:45～16:50 (5 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
16:50～17:50 (60 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第 2 日目】 12 月 20 日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:30 (60 分)	【講義⑤】 家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れ ～一連の流れを理解する～	グリーンコープ連合会 藤浦 久美 氏 行岡 みち子 氏
10:30～10:40	休 憩	
10:40～11:50 (70 分)	【講義⑥】 相談者に学ぶ家計改善支援のあり方 ～相談者のエンパワメントを～	グリーンコープ連合会 北島 千恵 氏 行岡 みち子 氏
11:50～12:50 (60 分)	昼 食 休 憩	
12:50～13:50 (60 分)	【実習①】 家計改善支援の実務に必要な帳票と 家計表作成	グリーンコープ連合会 近澤 和子 氏 行岡 みち子 氏 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏
13:50～14:05	休 憩	
14:05～15:25 (80 分)	【演習①】 家計改善支援の流れとポイントを理解する	グリーンコープ連合会 行岡 みち子 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏
15:25～15:40	休 憩	
15:40～16:40 (60 分)	【講義⑦】 家計改善支援でうまくいかなかったのは何故か ～相談の留意点や連携のあり方～	グリーンコープ連合会 行岡 みち子 氏 近澤 和子 氏 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏
16:40～16:50	休 憩	
16:50～18:00 (70 分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成 ～相談時家計表と家計計画表の作成～	グリーンコープ連合会 行岡 みち子 氏 丸山 恵子 氏
18:00～18:05 (5 分)	研修の振り返り（第 2 日目）	

日 程 表

【第3日目】 12月21日（金）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:10 (40 分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成 ～ライフイベント表の作成～	グリーンコープ連合会 行岡 みち子 氏 ●丸山 恵子 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏
10:10～10:20	休 憩	
10:20～12:00 (100 分)	【実習③-1】 家計表入力	グリーンコープ連合会 行岡 みち子 氏 ●中島 明美 氏 北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 丸山 恵子 氏 近澤 和子 氏
12:00～13:00 (60 分)	昼 食 休 憩	
13:00～13:40 (40 分)	【実習③-2】 キャッシュフロー表の作成	
13:40～13:55	休 憩・体 操	
13:55～14:45 (50 分)	【実習③-3】 家計再生プランの作成	グリーンコープ連合会 行岡 みち子 氏 ●北島 千恵 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏 丸山 恵子 氏
14:45～14:55	休 憩	
14:55～15:45 (50 分)	【講義⑧】 グリーンコープの取り組み事例紹介 ～家計管理と資金繰りの違い～	グリーンコープ連合会 行岡 みち子 氏 一丸 直子 氏
15:45～16:25 (40 分)	質疑応答	講師全員
16:25～16:40 (15 分)	全体の振り返り・修了式	

3 受講対象者

家計相談支援事業において家計相談支援員として配置されている者及び被保護者家計相談支援事業の相談支援に従事する者。

なお、対象者の選定に当たっては、相談支援に関わる知識・技術、家計管理に関わる知識・技術、社会保障制度や金融に関わる知識等を有していることが必要であり、以下の①から⑤のような人材が考えられる。

- ① 消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー又は消費生活コンサルタントの資格を有する者
- ② 社会福祉士の資格を有する者
- ③ 社会保険労務士の資格を有する者
- ④ ファイナンシャルプランナーの資格を有する者
- ⑤ 上記①～④に掲げる者と同等の能力または実務経験を有する者

※受講者は選考を行い決定する。選考は下記に基づいて行われる。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 30 年 4 月 19 日付社援発 0419 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 30 年 4 月 27 日付厚生労働省事務連絡）
- ・「被保護者家計相談支援事業の実施について」（平成 30 年 3 月 30 日付社援保発 0330 第 12 号厚生労働省社会・援護局保護課長通知）

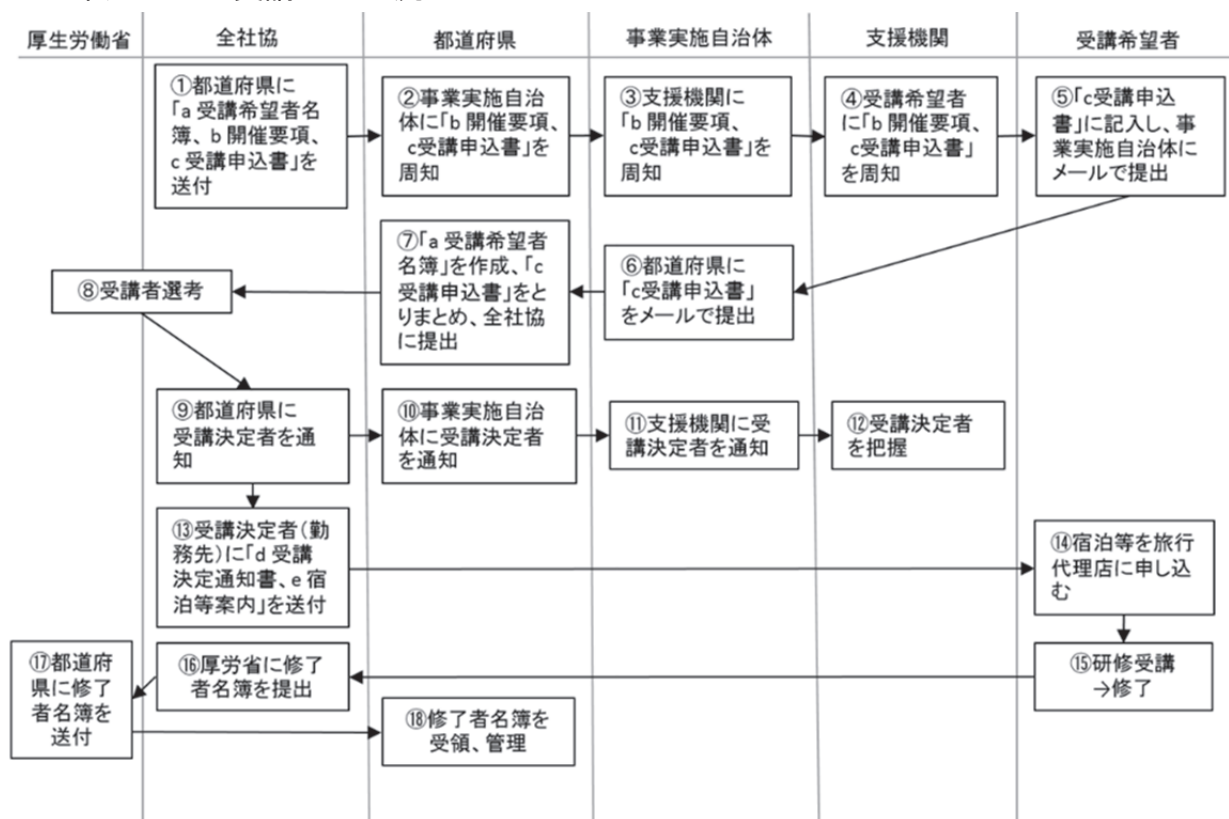
4 研修の受講定員

1 回あたり 60 名

5 テキストおよびノートパソコン

- （1）テキストとして、有償の書籍は使用しない。
- （2）第 3 日目においてノートパソコン（Microsoft Word、Microsoft Excel を使用）を使用する。持参できない方に対して、レンタルサービスを提供する。

6 申込みから受講までの流れ



7 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付する。
- (2) 修了要件は以下のとおりである。
 - ①すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人に授与する。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿を送付する。

◆都道府県研修に係る担当者研修

1 研修の目的および種類

自立相談支援事業に従事する者等に対し、都道府県が独自性を持ち、国が実施する研修を基に地域における支援ニーズを加味して行う研修(以下「都道府県研修」という。)の内容の充実を図るため、効果的な都道府県研修の企画検討に関する講義・演習等を行い、都道府県研修の企画立案・運営に携わり中核的な役割を担う者を養成することを目的とした。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研 修 名	日 程	会 場
【前期】 都道府県研修に係る担当者研修	平成 30 年 5 月 29 日 (火)	全社協・灘尾ホール
【後期】 都道府県研修に係る担当者研修	平成 31 年 1 月 29 日 (火)	全社協・会議室

<会場>

【前期】 全国社会福祉協議会 灘尾ホール
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

【後期】 全国社会福祉協議会 (5 階 会議室)
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

平成 30 年度 【前期】 都道府県研修に係る担当者研修

日 程 表

5 月 29 日 (火)

時 間	科 目	講 師
10:00～10:30 (30 分)	受 付	
10:30～10:40 (10 分)	挨拶・オリエンテーション	
10:40～11:00 (20 分)	行政説明	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏
11:00～11:30 (30 分)	【講義と演習】 生活困窮者自立支援における 人材養成について	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 明治学院大学 教授 新保 美香 氏
11:30～12:30	昼食・休憩	
12:30～13:40 (70 分)	【講義と演習】 都道府県における研修の 取り組みについて	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 生活困窮自立支援室 生活困窮者対策官 菊地 英人 氏 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 生活困窮自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏 【コメンテーター】 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【事例発表】 沖縄県 子ども生活福祉部福祉政策課 主任 石原 綾子 氏 大分県 福祉保健部福祉保健企画課 地域福祉班 主事 河野 愛 氏
13:40～13:55	休憩	

時 間	科 目	講 師
13:55～16:45 (170 分) (15 分休憩)	【講義と演習】 効果的な研修の企画・立案	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
16:45～16:55 (10 分)	アンケート記入、事務連絡等	
16:55～17:55 (60 分)	個別相談会（任意参加） 加留部先生に質問や相談をすることができます。	

平成 30 年度 【後期】 都道府県研修に係る担当者研修

日 程 表

1 月 29 日 (火)

時 間	科 目	講 師
10:30～11:00 (30 分)	受 付	
11:00～11:15 (15 分)	挨拶・オリエンテーション	
11:15～11:30 (15 分)	行政説明	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鎗木 奈津子 氏
11:30～12:30 (60 分)	【講義と演習】 今年度実施した研修の振り返り	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 明治学院大学 教授 新保 美香 氏
12:30～13:30 (60 分)	昼食・休憩	
13:30～14:40 (70 分)	【講義と演習】 都道府県における研修の 取り組みについて	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏 【コメンテーター】 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【事例発表】 島根県健康福祉部 地域福祉課 企画官 規家 幸枝 氏 長崎県 上五島福祉事務所 福祉課長 三浦 一国 氏
14:40～14:55	休憩	
14:55～16:50 (115 分) (15 分休憩)	【講義と演習】 効果的な研修の企画・立案	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 明治学院大学 教授 新保 美香 氏

時 間	科 目	講 師
16:50～16:55 (5 分)	アンケート記入、事務連絡等	

3 受講対象者

都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者 ※主に①②を想定。

- ①都道府県の研修担当者
- ②国が実施する研修の修了者（条件：平成 26-29 年度自立相談支援事業従事者養成研修の修了者）
- ③その他、都道府県研修の企画立案や実施に関わる者。

4 研修の受講定員

140 名

◆全研修の受講者数と修了者数

	主任相談 支援員 養成研修	相談 支援員 養成研修	就労 支援員 養成研修	就労準備 支援事業 従事者 養成研修	家計相談 支援事業 従事者 養成研修	合計
受講者数※1	226 名	447 名	207 名	135 名	231 名	1,246 名
修了者数	208 名	415 名	178 名	132 名	230 名	1,163 名

※1：受講決定通知を発行した人数

■【前期】共通カリキュラム（実際の受講者数）

【第1回】 255 名（主任 128 名、相談 102 名、就労 14 名、前期のみ受講 25 名）

【第2回】 213 名（主任 19 名、相談 170 名、就労 16 名、前期のみ受講 17 名）

【第3回】 227 名（主任 4 名、相談 107 名、就労 107 名、前期のみ受講 15 名）

【前期免除】 127 名（主任 56 名、相談 36 名、就労 40 名）

※後期研修は複数受講している場合があり、各回の合計数は合わない。

■ 相談支援員養成研修 受講者数と修了者数の内訳

受講者数 447 名（第1回 239 名、第2回 208 名）

修了者数 415 名（第1回 222 名、第2回 193 名）

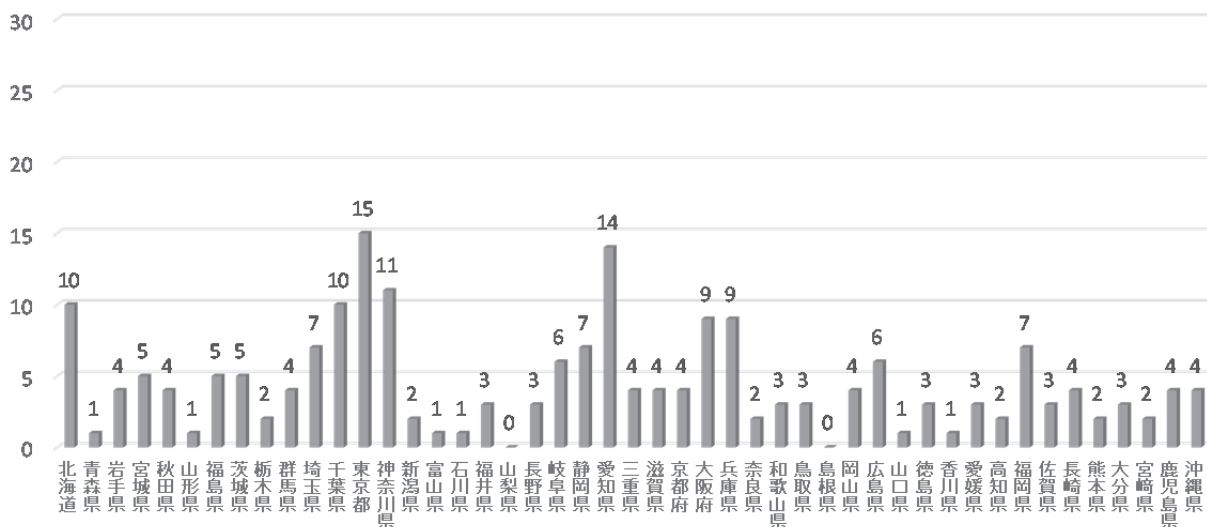
■ 都道府県研修に係る担当者研修

前期 受講者数 72 名

後期 受講者数 71 名

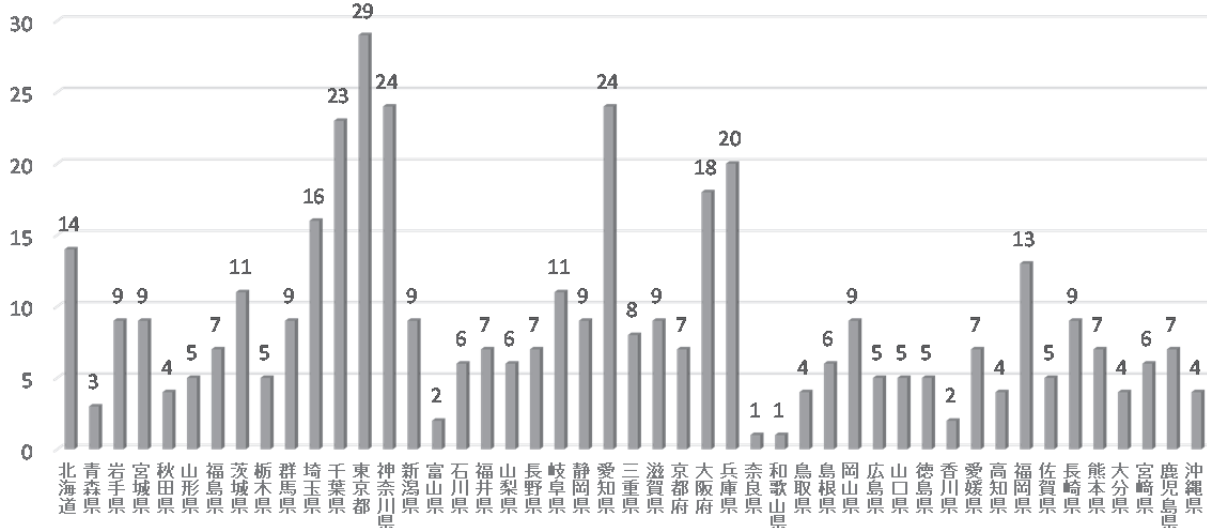
主任相談支援員養成研修 都道府県別 修了者数

修了者208名／受講者226名



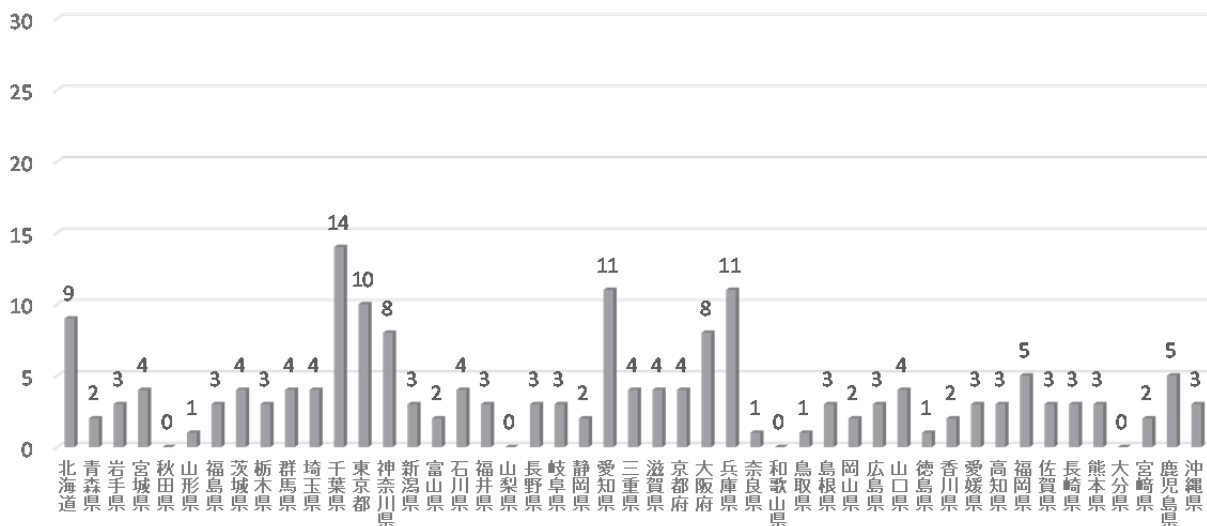
相談支援員養成研修 都道府県別 修了者数

修了者415名／受講者447名



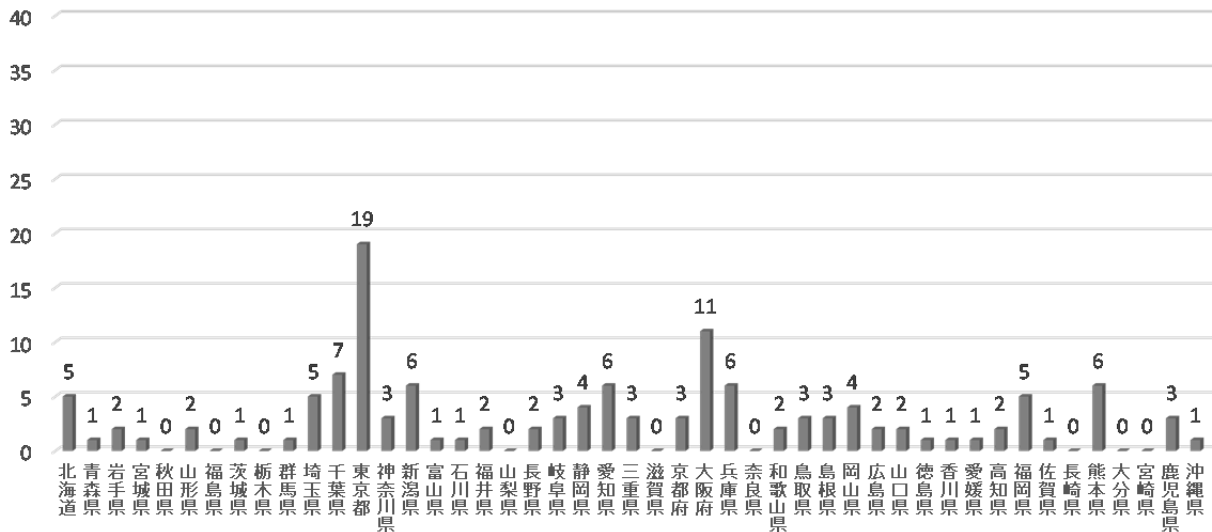
就労支援員養成研修 都道府県別 修了者数

修了者178名／受講者207名



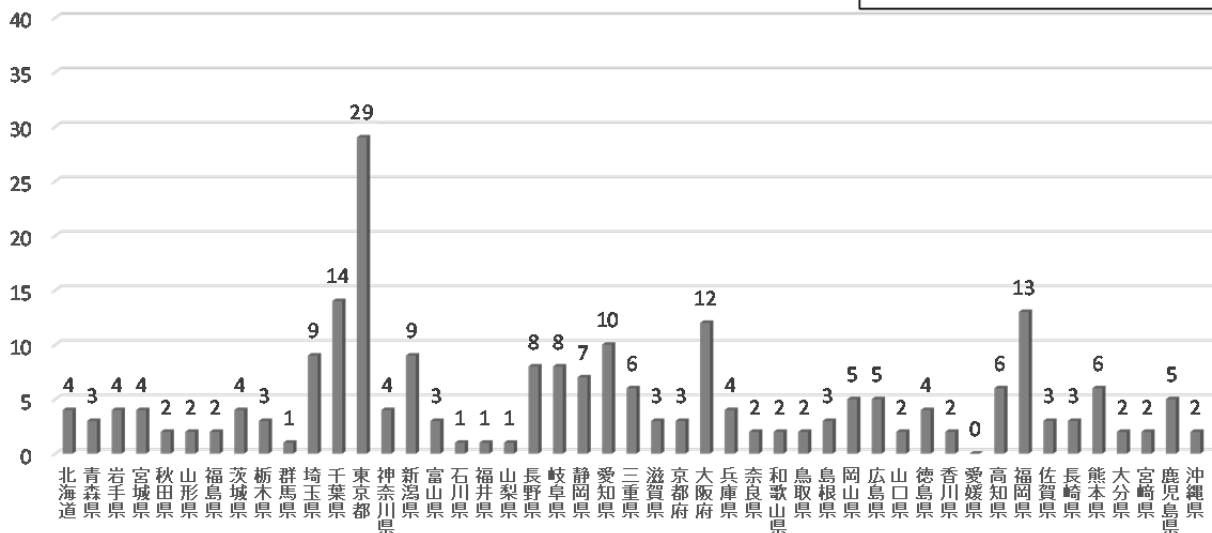
就労準備 支援事業従事者養成研修 都道府県別 修了者数

修了者132名／受講者135名



家計相談支援事業従事者養成研修 都道府県別 修了者数

修了者230名／受講者231名



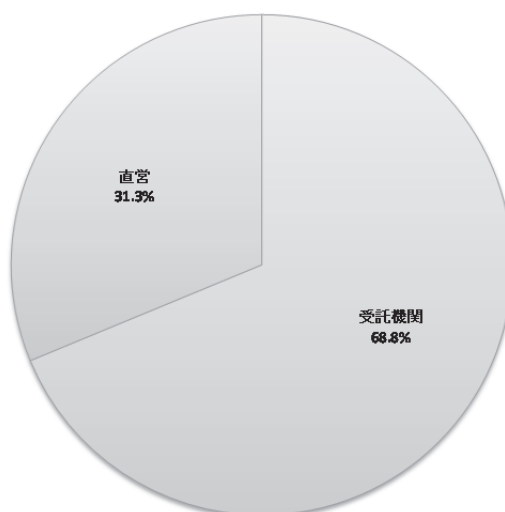
◆全研修の修了者の傾向

平成30年度
自立相談支援事業従事者養成研修
主任支援員養成研修
修了者属性傾向

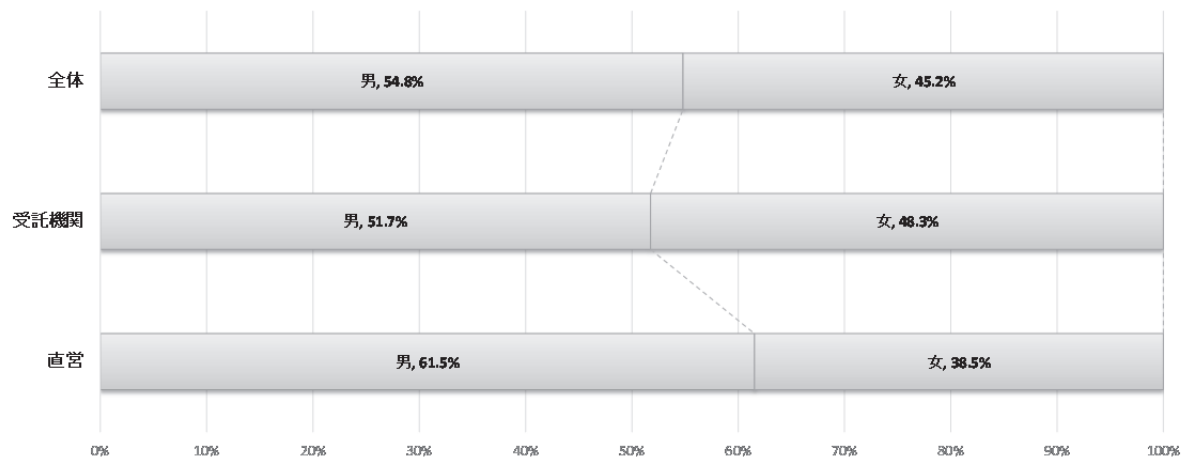
平30年度 主任相談支援員養成研修 修了者の割合

	人数
受託機関	143
直営	65
計	208

うち	
前期免除者	57

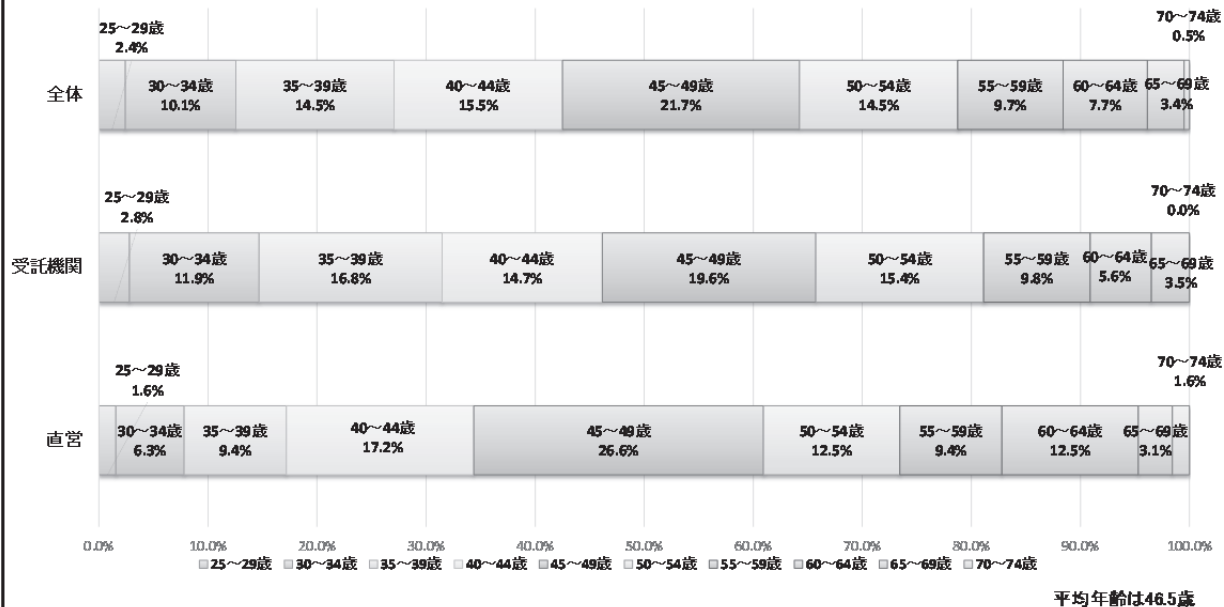


平成30年度 主任相談支援員養成研修 修了者の男女比

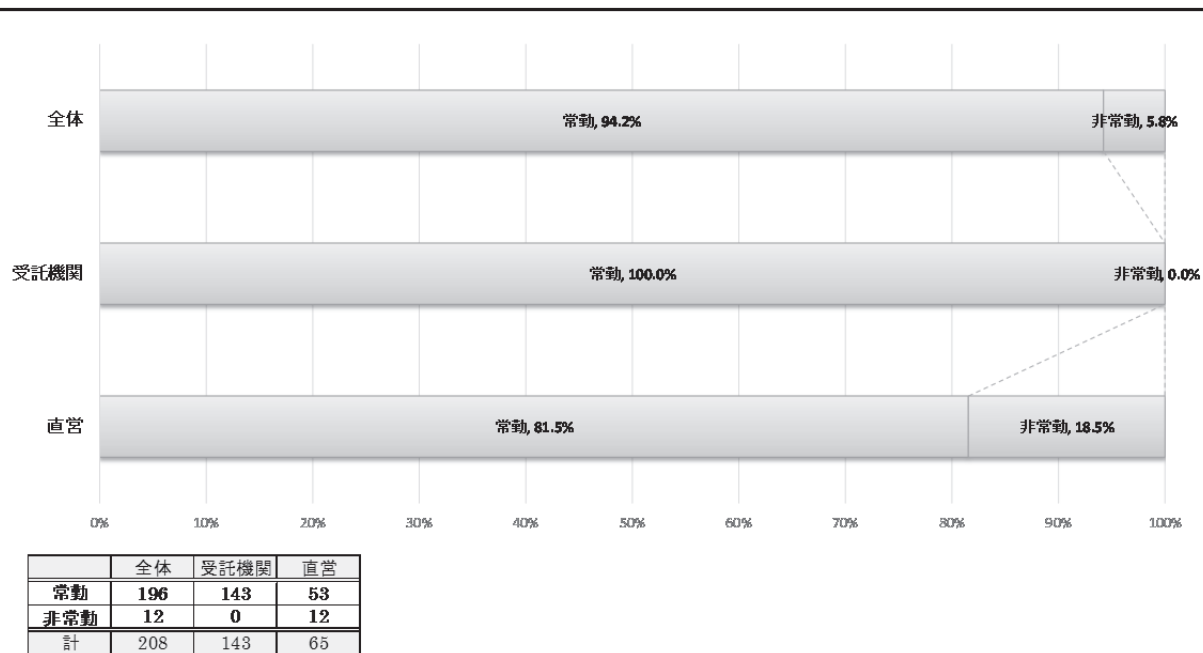


	全体	受託機関	直営
男	114	74	40
女	94	69	25
計	208	143	65

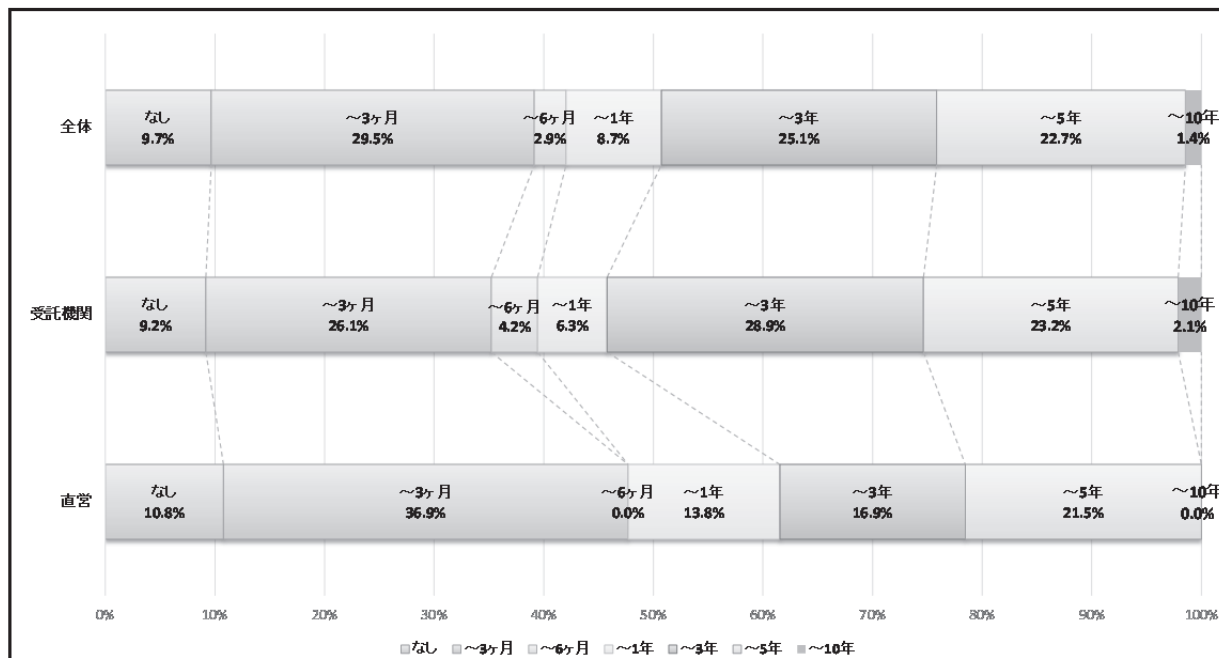
平成30年度 主任相談支援員養成研修 修了者の年齢構成



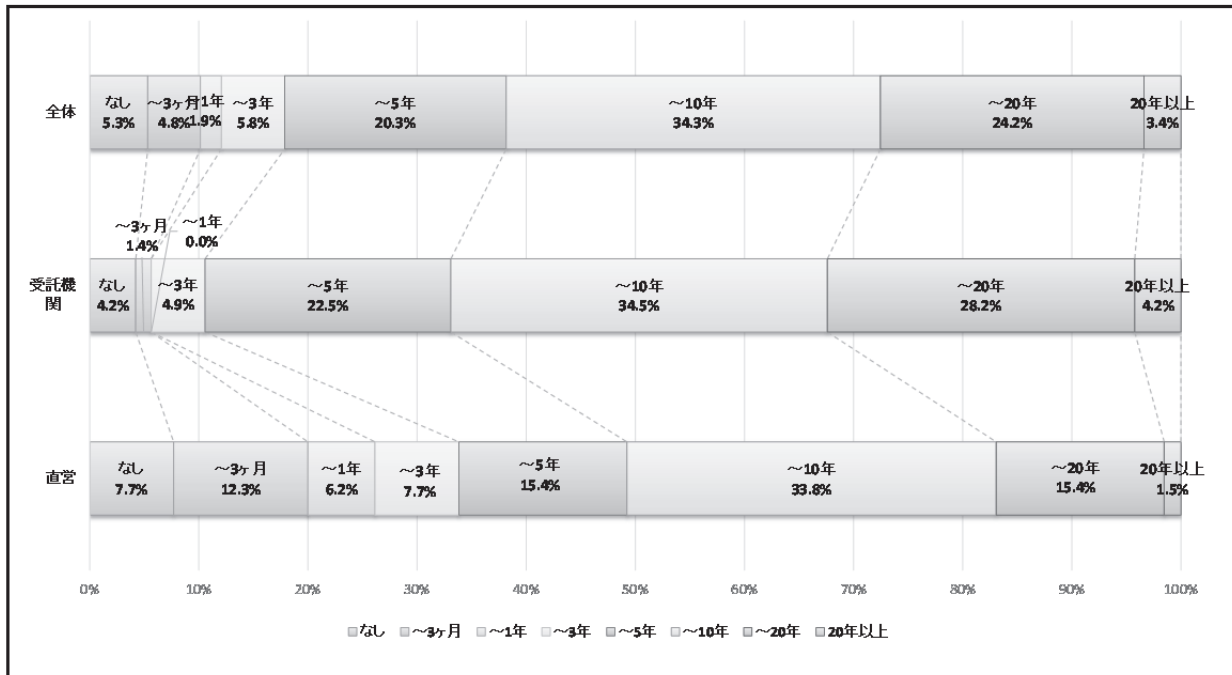
平成30年度 主任相談支援員養成研修 修了者の勤務形態



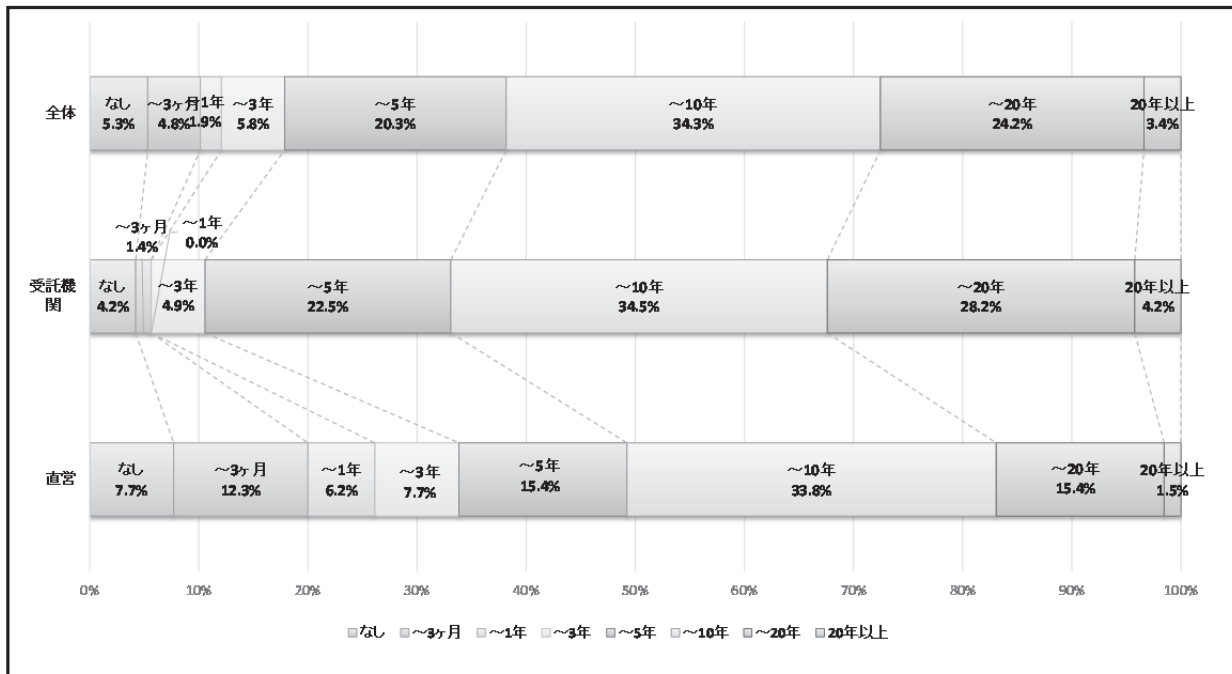
平成30年度 主任相談支援員養成研修 修了者の現職経験年数



平成30年度 主任相談支援員養成研修 修了者の相談・就労支援通算経験年数



平成30年度 主任相談支援員養成研修 修了者の相談・就労支援通算経験年数



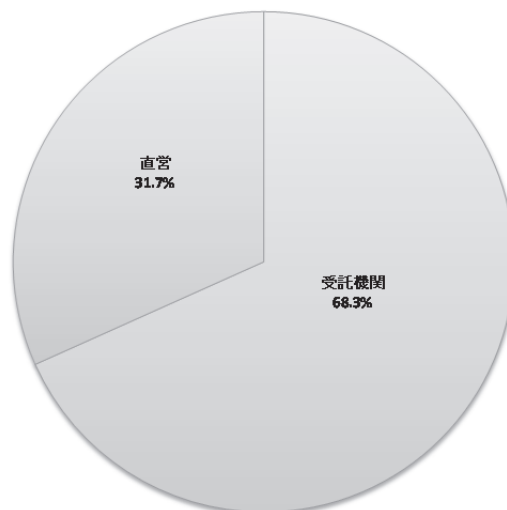
平成30年度 自立相談支援事業従事者養成研修

相談支援員養成研修 修了者属性傾向

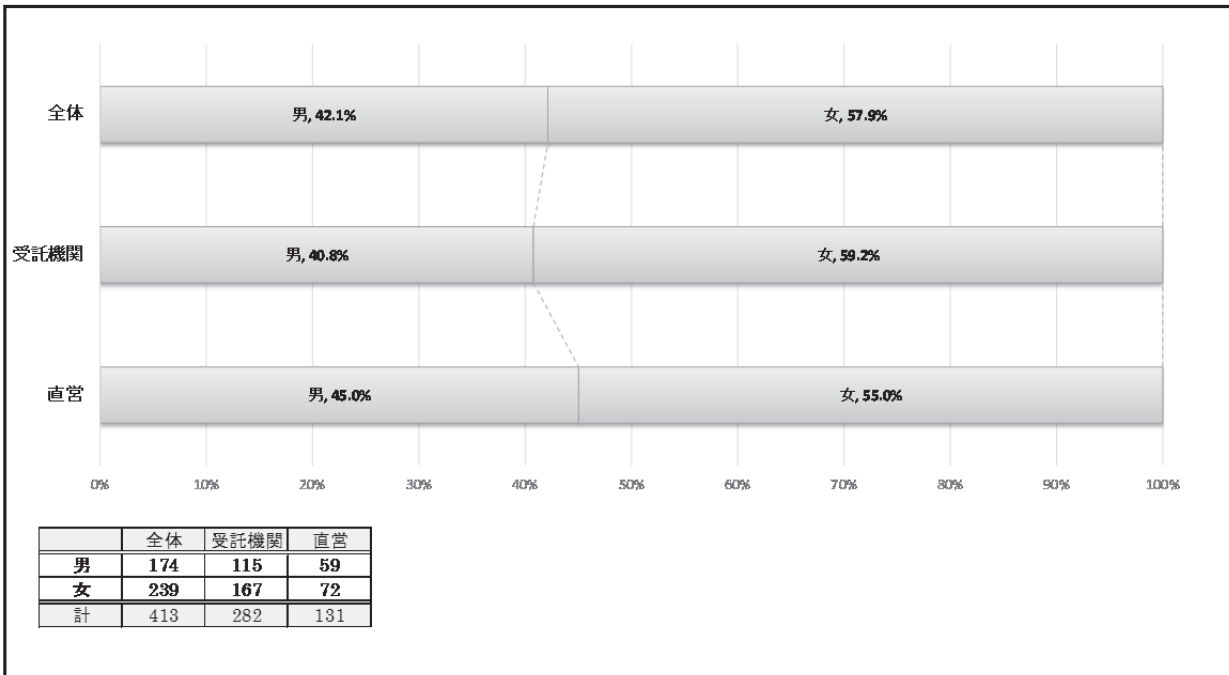
平30年度 相談支援員養成研修 修了者の割合

	人数
受託機関	282
直営	131
計	413

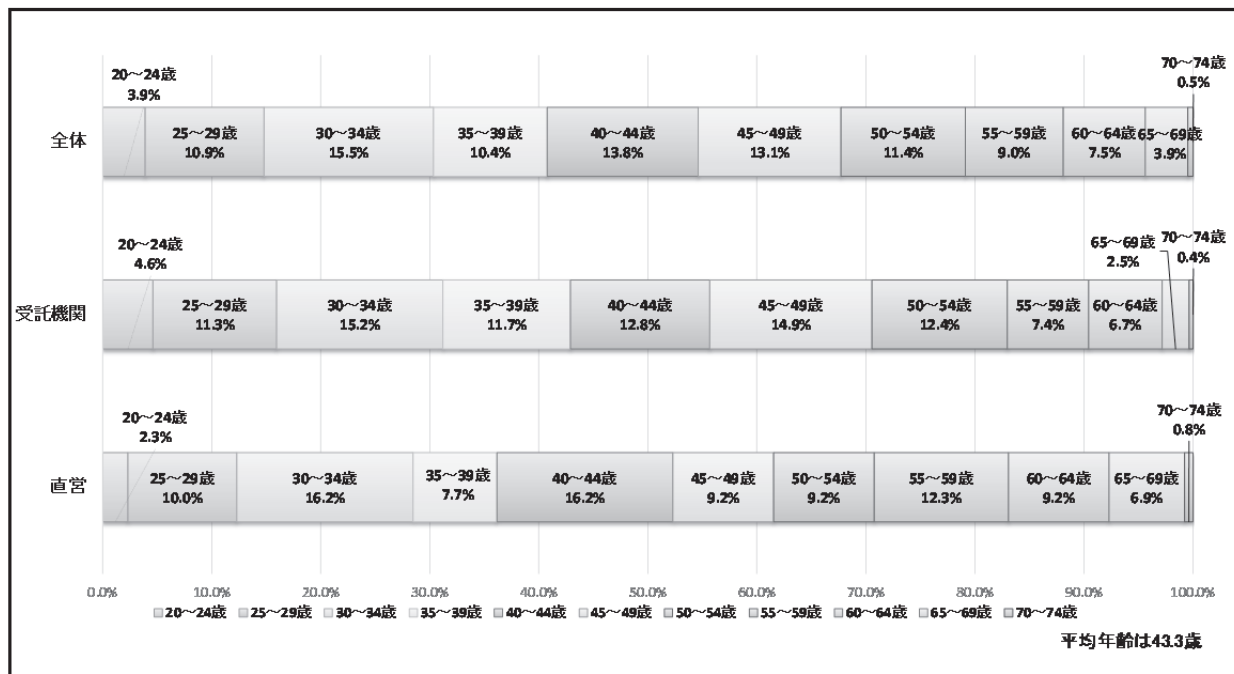
うち	
前期免除者	36



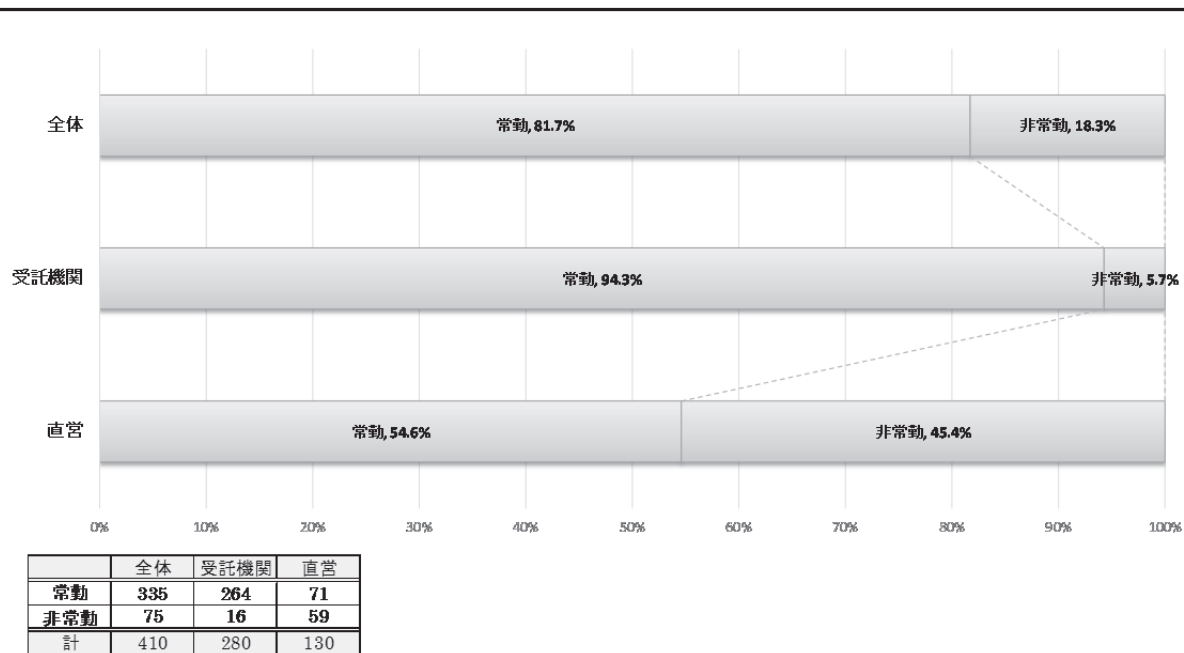
平成30年度 相談支援員養成研修 修了者の男女比



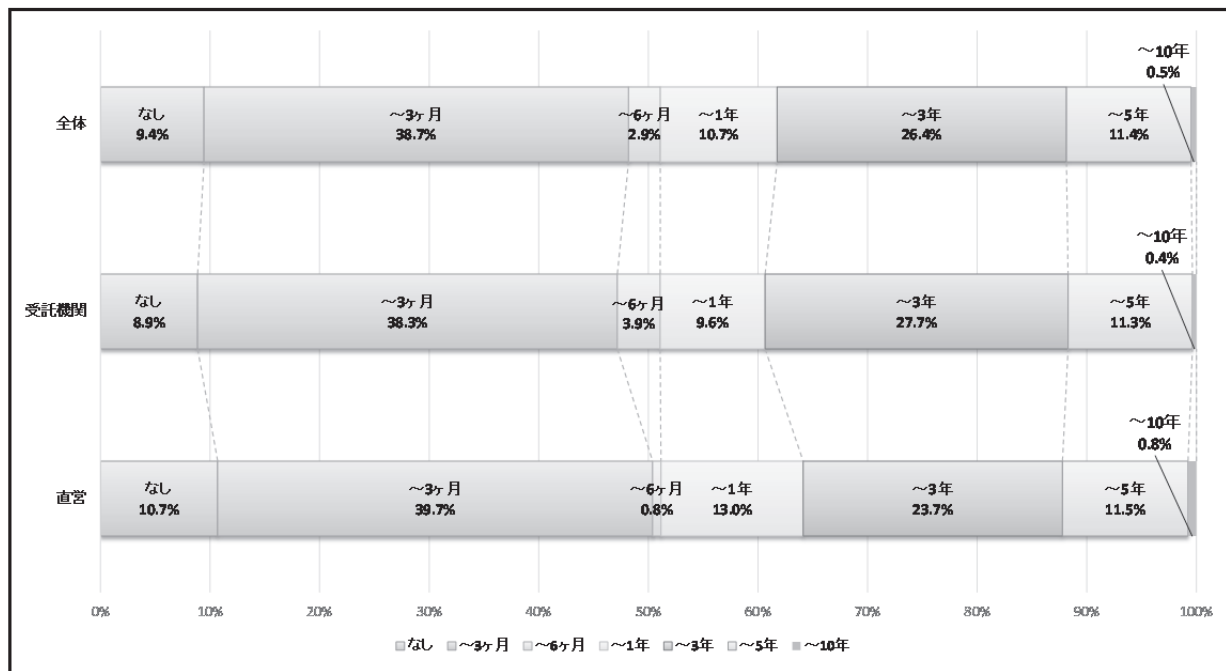
平成30年度 相談支援員養成研修 修了者の年齢構成



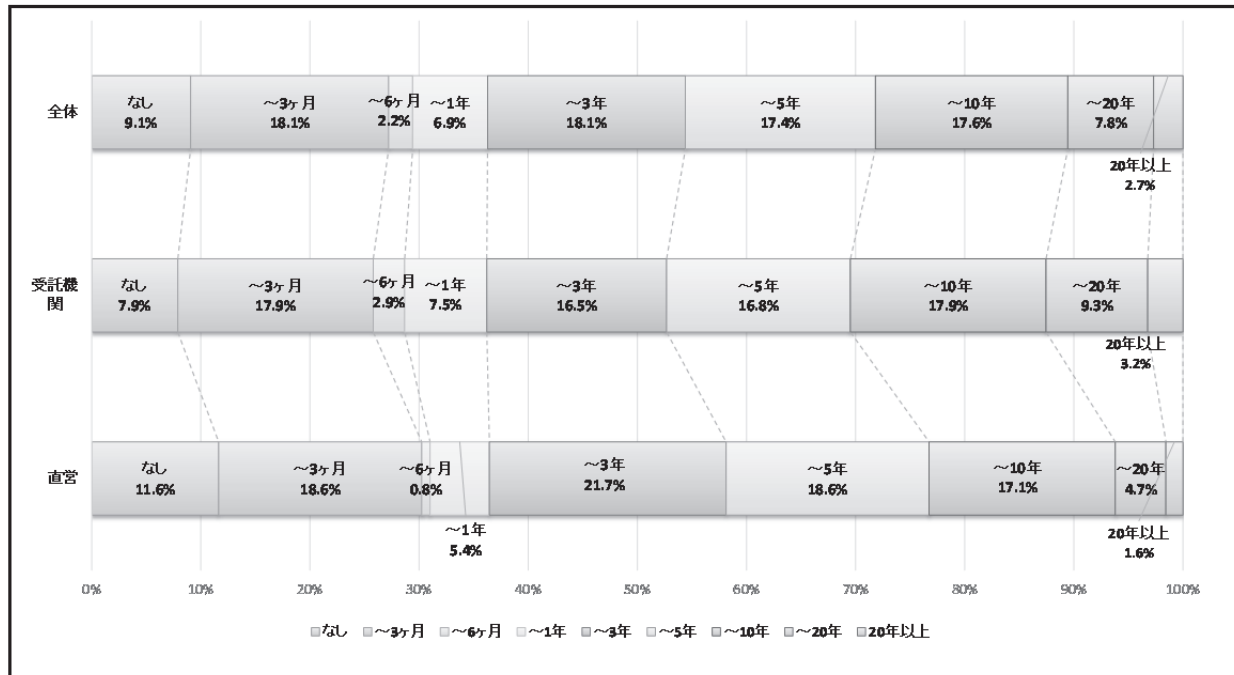
平成30年度 相談支援員養成研修 修了者の勤務形態



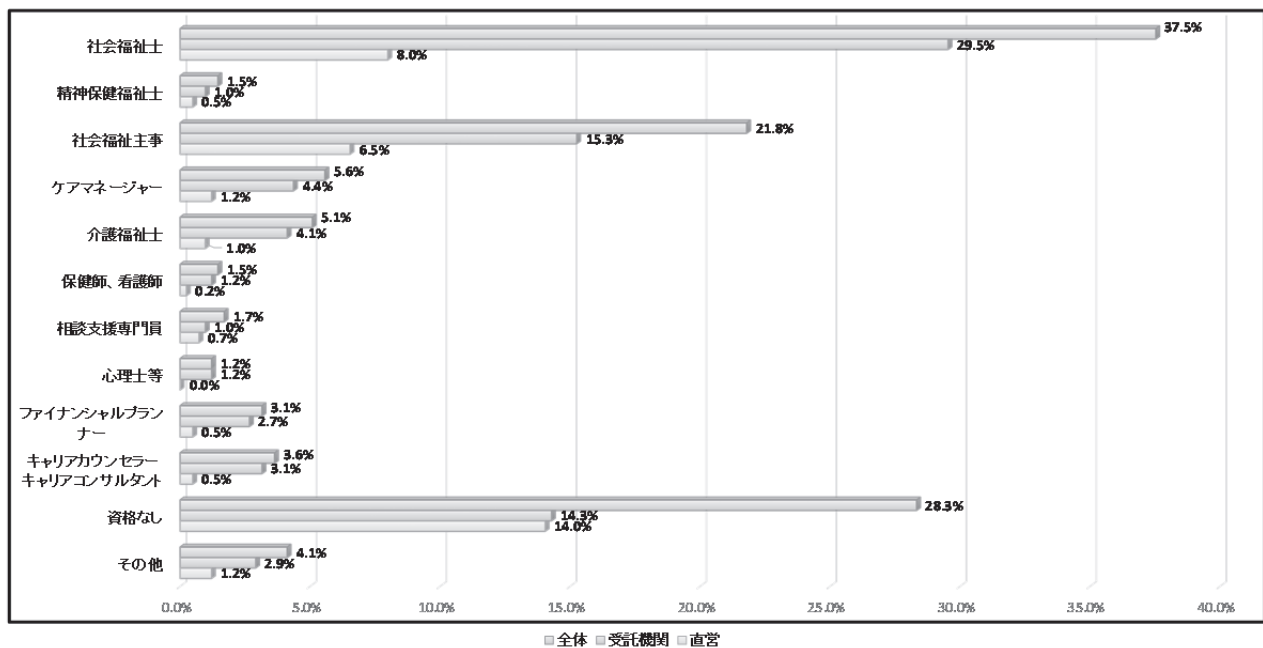
平成30年度 相談支援員養成研修 修了者の現職経験年数



平成30年度 相談支援員養成研修 修了者の相談・就労支援通算経験年数



平成30年度 相談支援員養成研修 修了者の資格保有状況

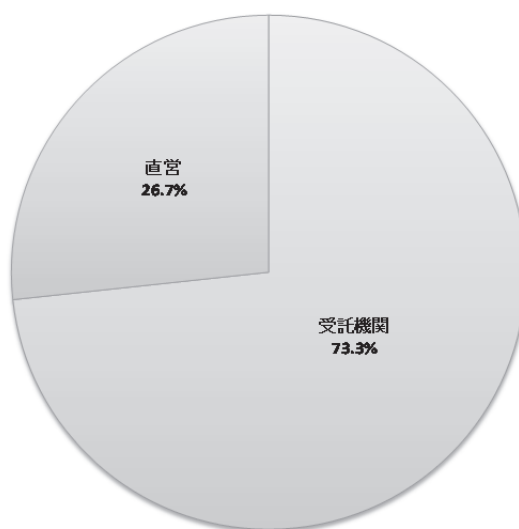


平成30年度 自立相談支援事業従事者養成研修

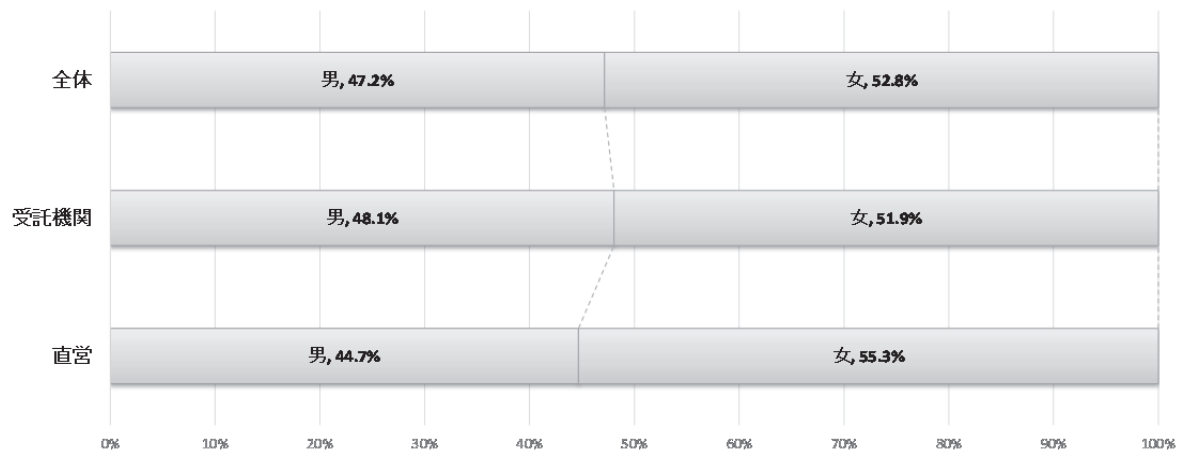
就労支援員養成研修 修了者属性傾向

平成30年度 就労支援員養成研修 修了者の割合

	人数
受託機関	129
直営	47
計	176

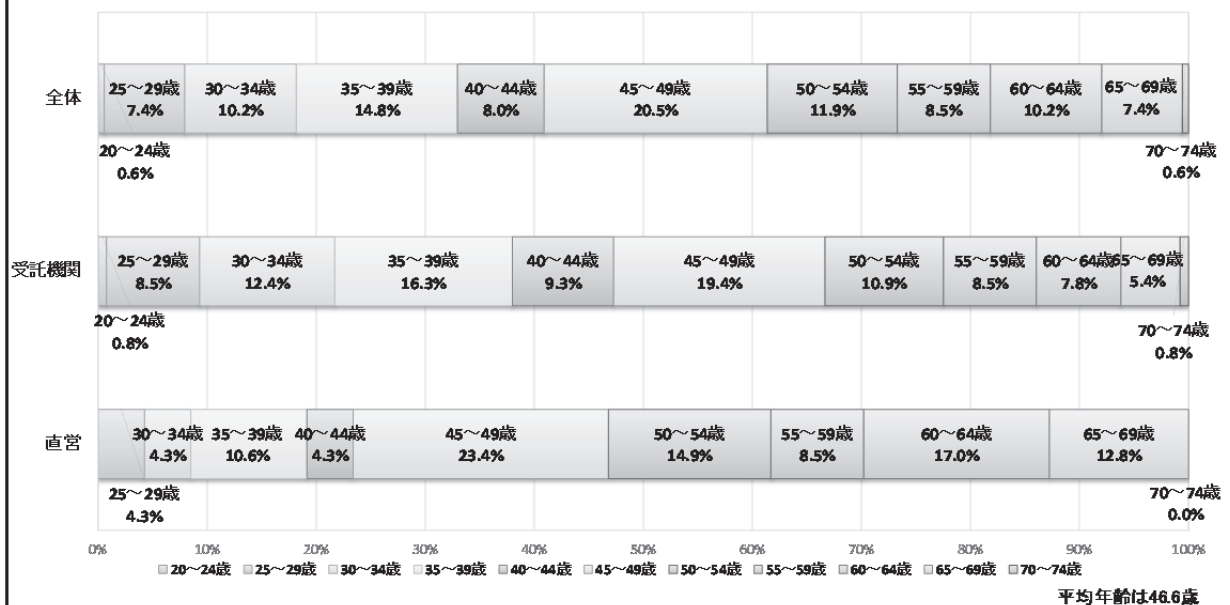


平成30年度 就労支援員養成研修 修了者の男女比

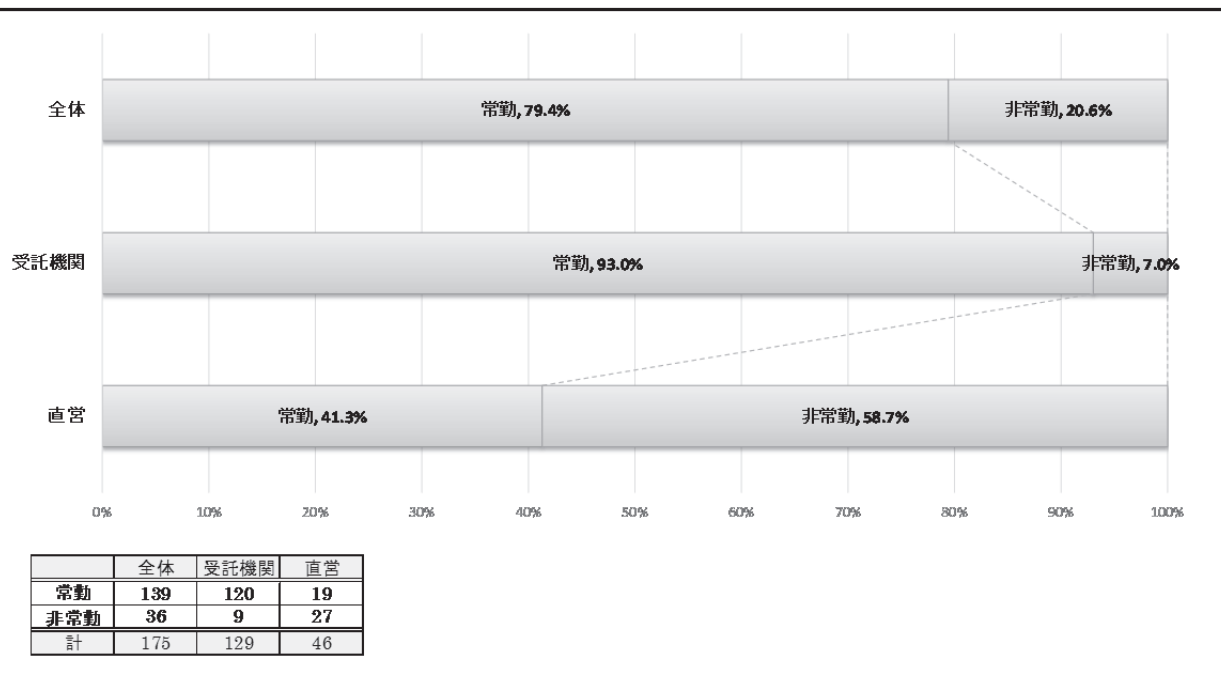


	全体	受託機関	直営
男	83	62	21
女	93	67	26
計	176	129	47

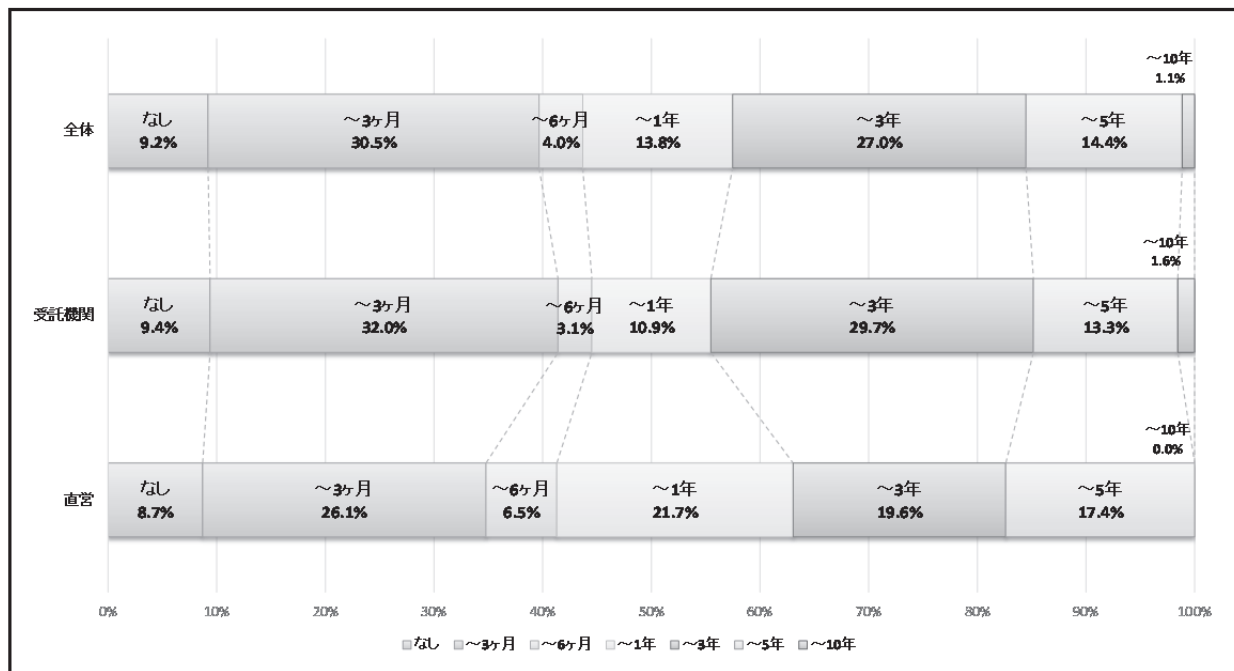
平成30年度 就労支援員養成研修 修了者の年齢構成



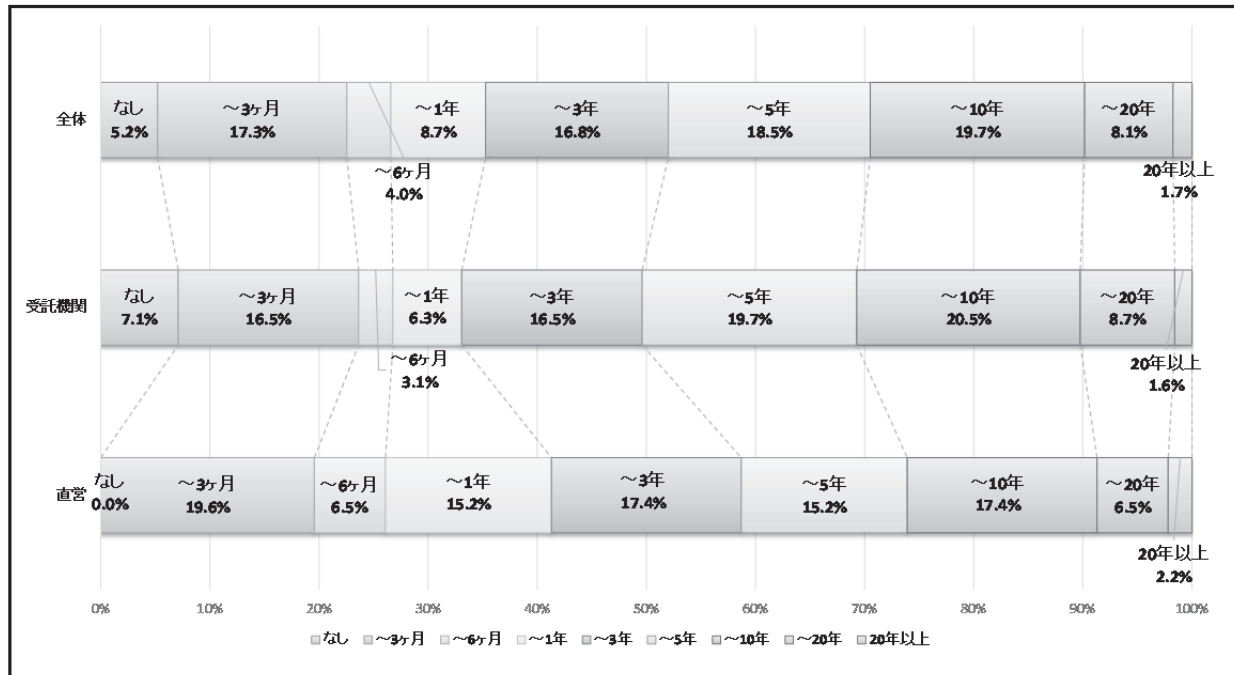
平成30年度 就労支援員養成研修 修了者の勤務形態



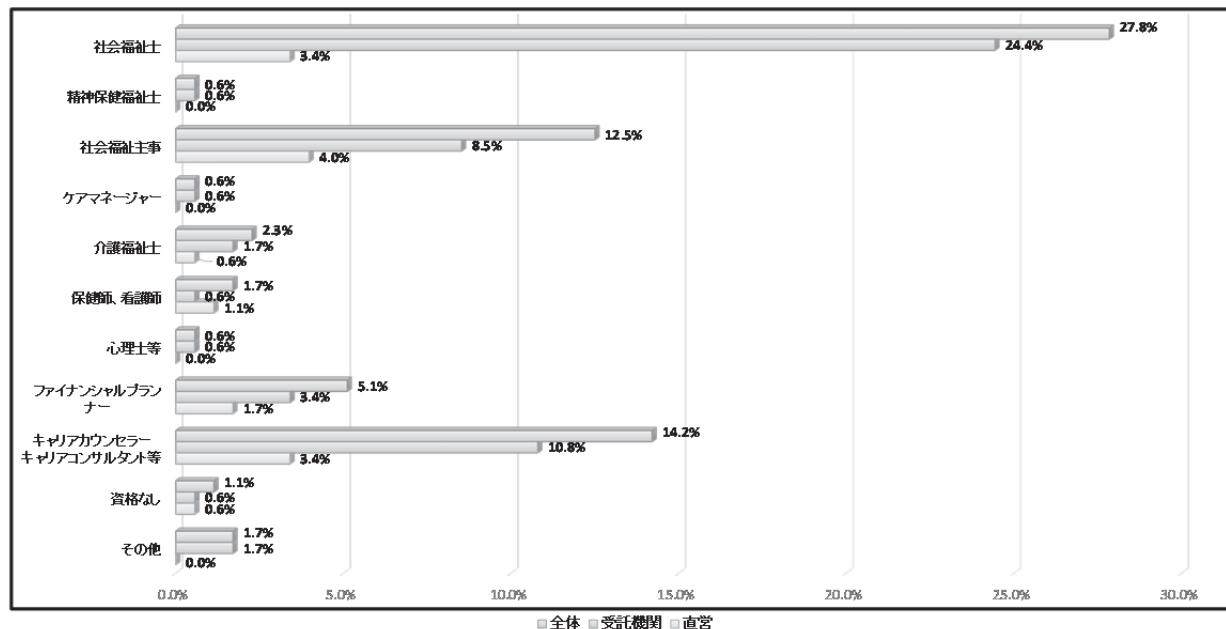
平成30年度 就労支援員養成研修 修了者の現職経験年数



平成30年度 就労支援員養成研修 修了者の相談・就労支援通算経験年数



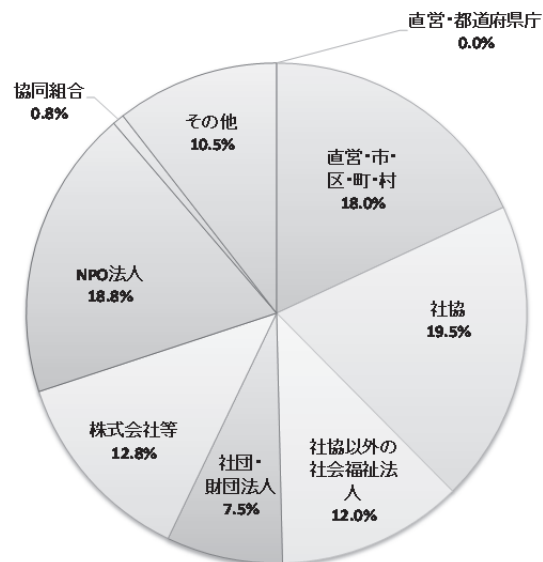
平成30年度 就労支援員養成研修 修了者の資格保有状況



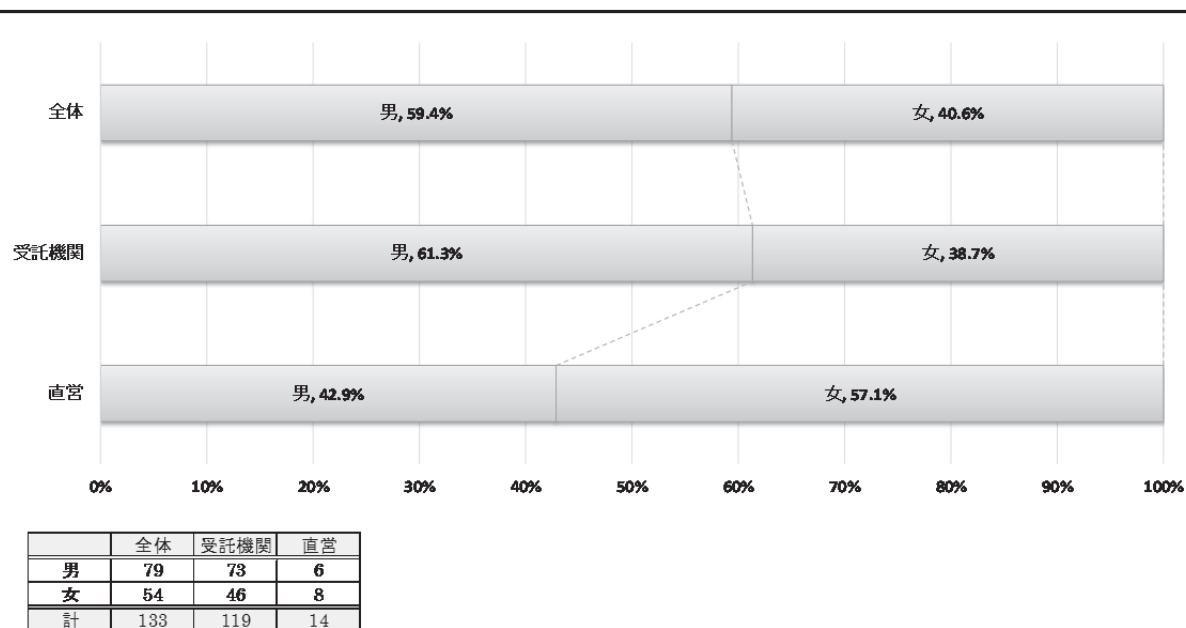
平成30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の状況

平30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の割合

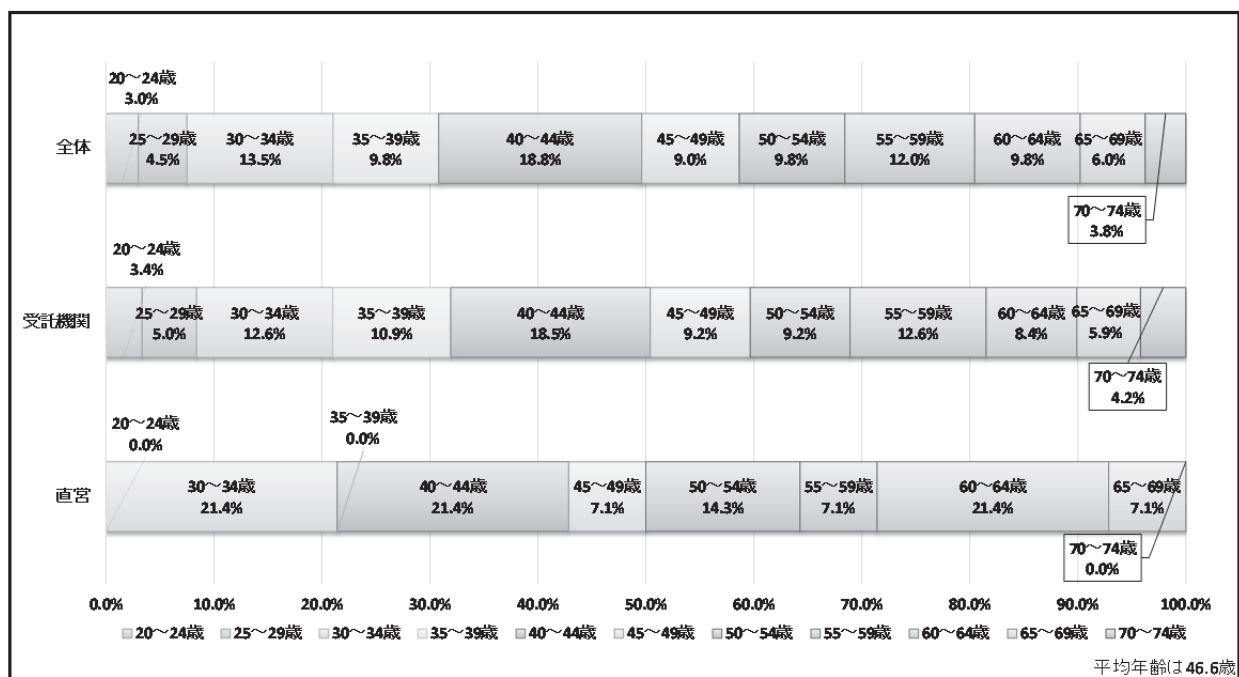
	人数
直営・都道府県庁	0
直営・市・区・町・村	24
社協	26
社協以外の社会福祉法人	16
社団・財団法人	10
株式会社等	17
NPO法人	25
協同組合	1
その他	14
計	133



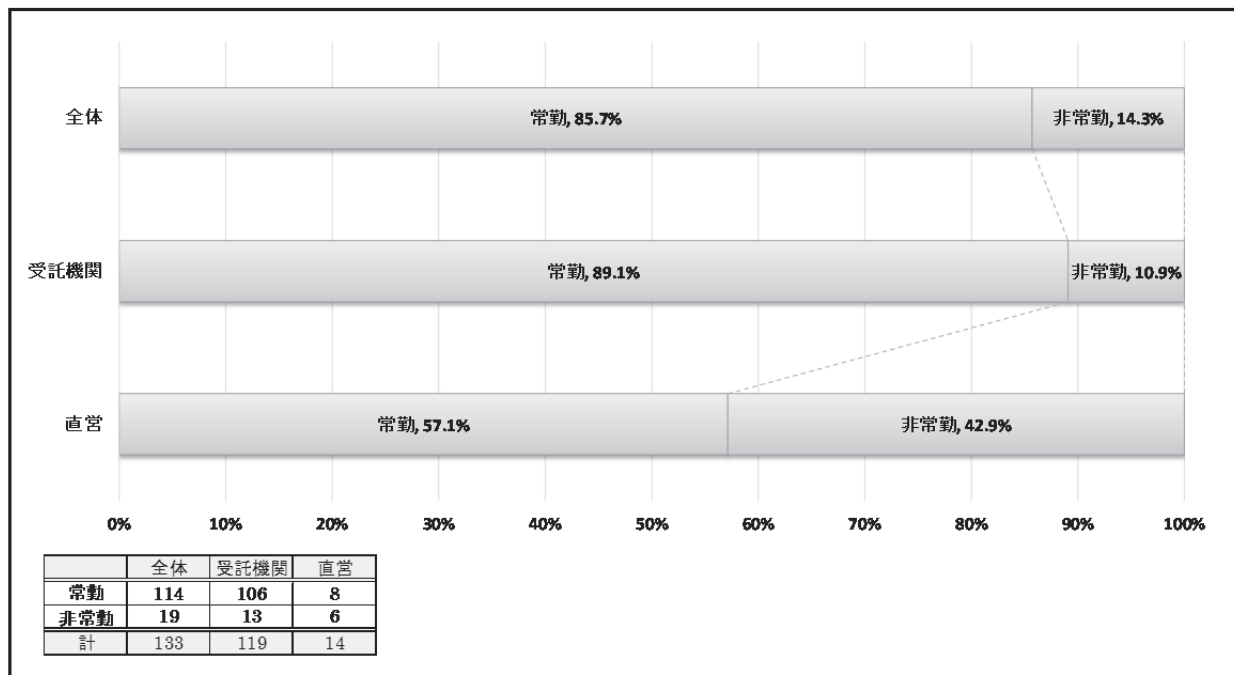
平成30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の男女比



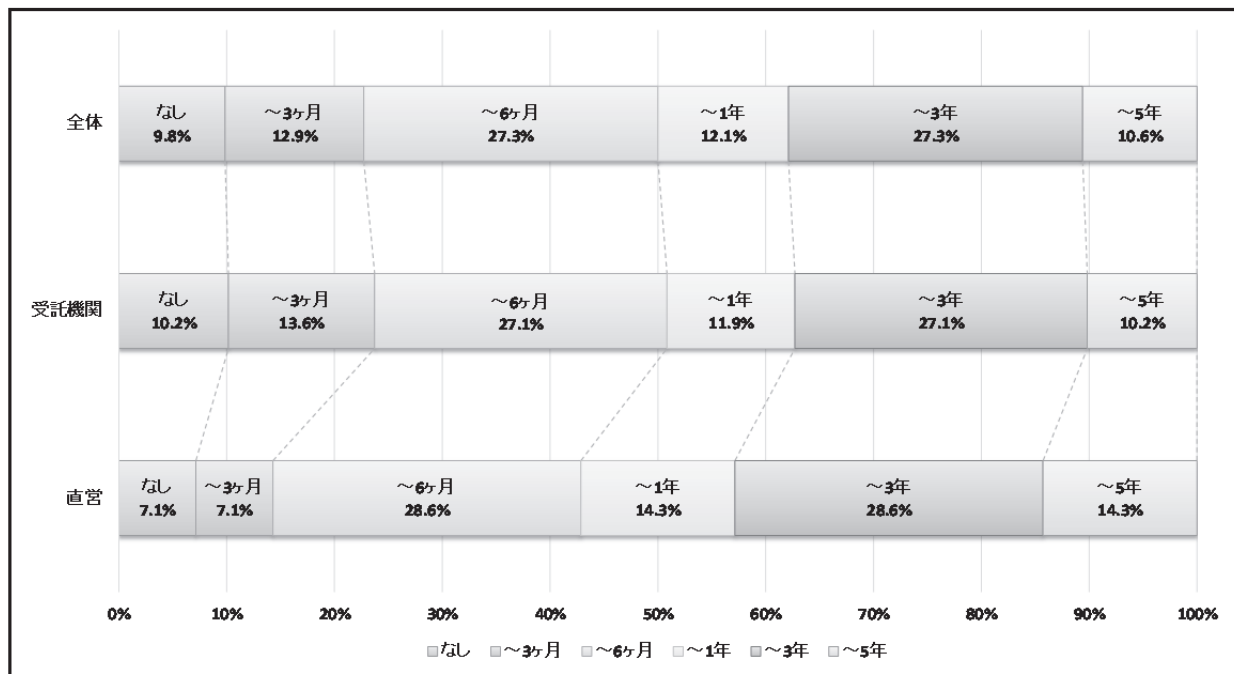
平成30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の年齢構成



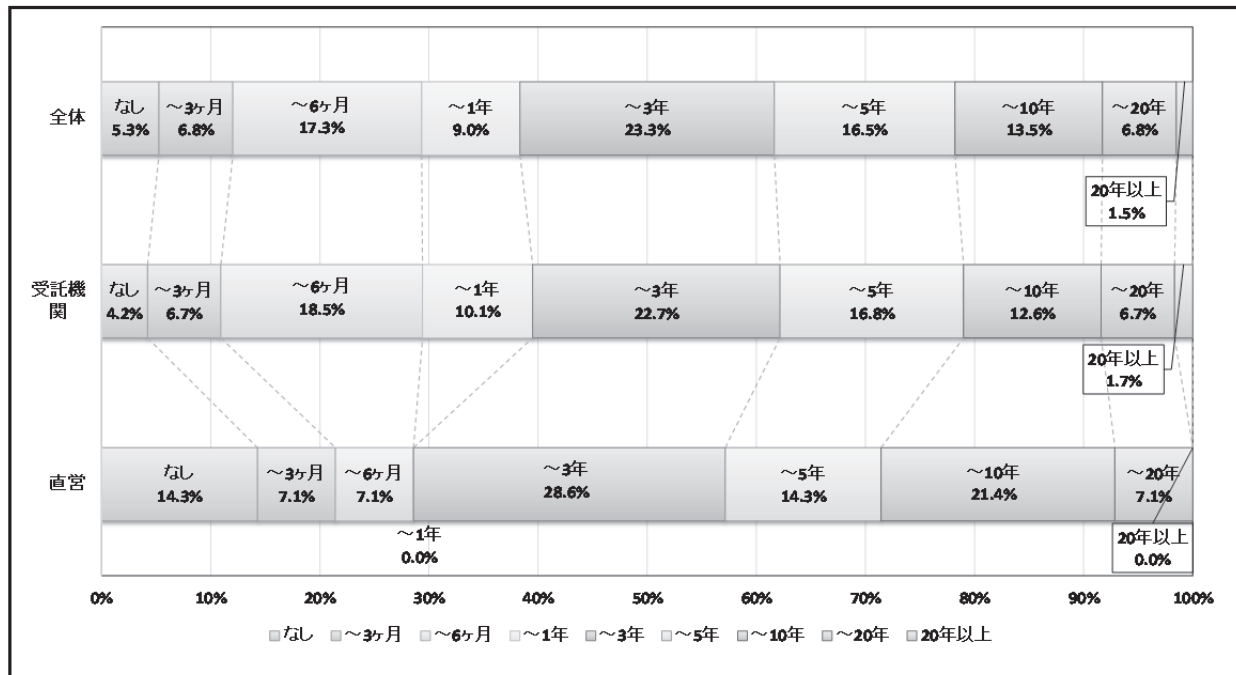
平成30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の勤務形態



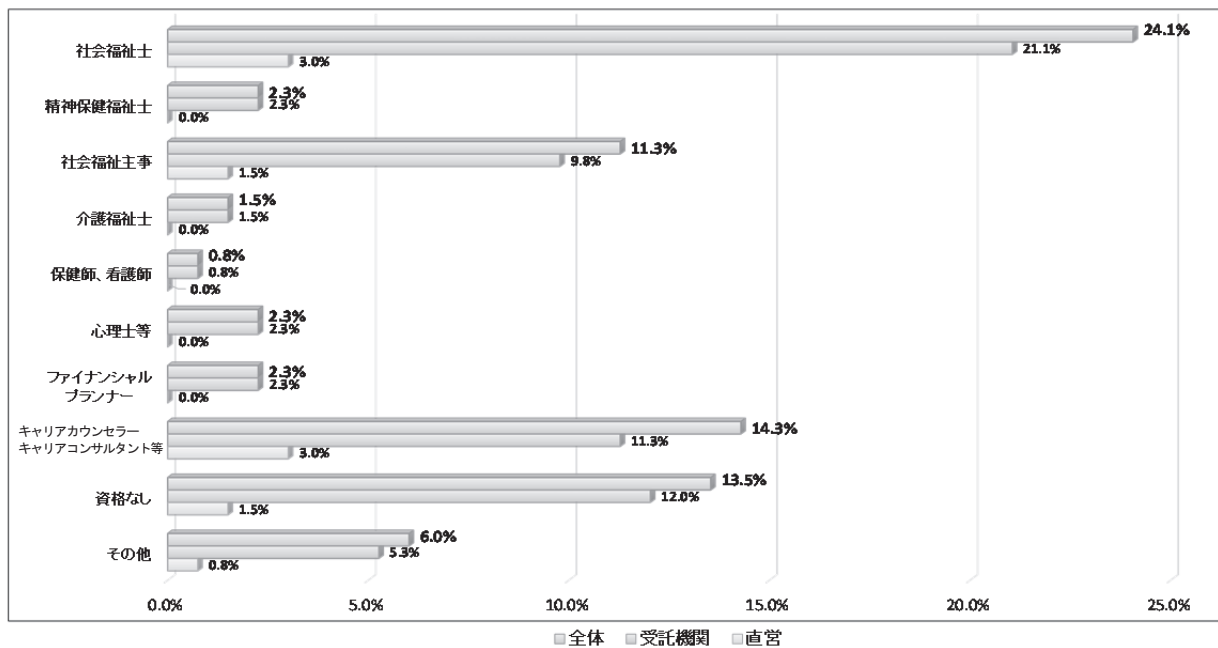
平成30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の現職経験年数



平成30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の就労支援通算経験年数



平成30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の資格保有状況

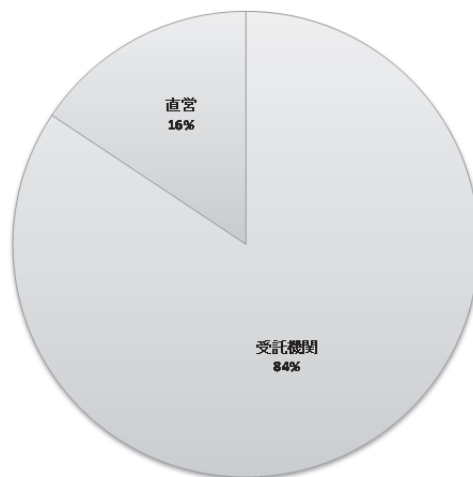


平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 【第1,2,3,4回】

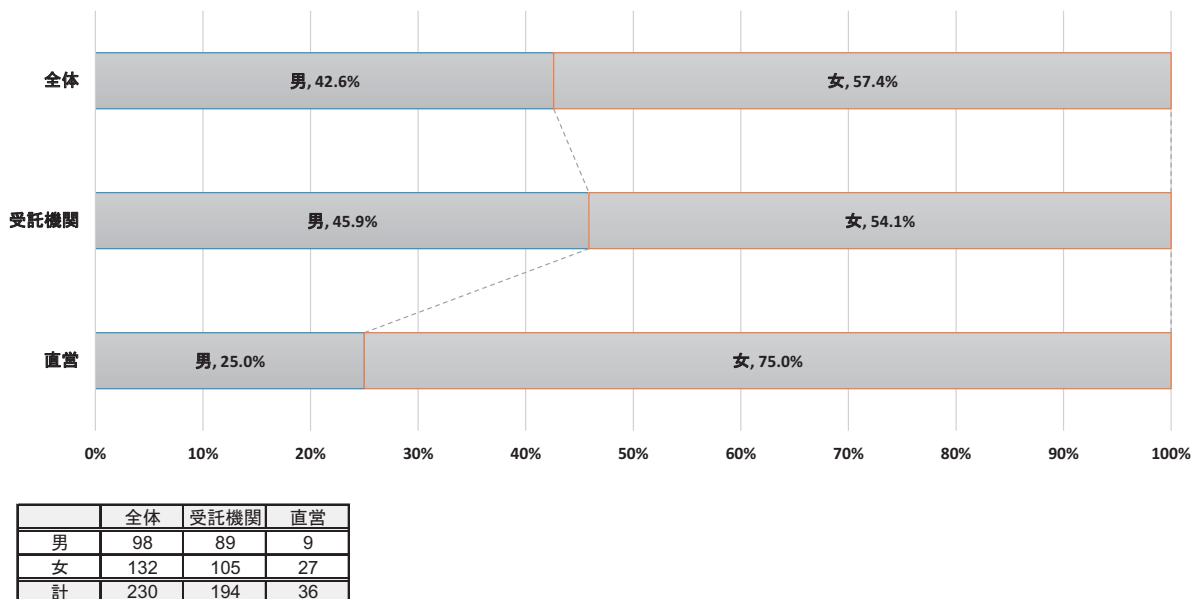
修了者の傾向

平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の割合

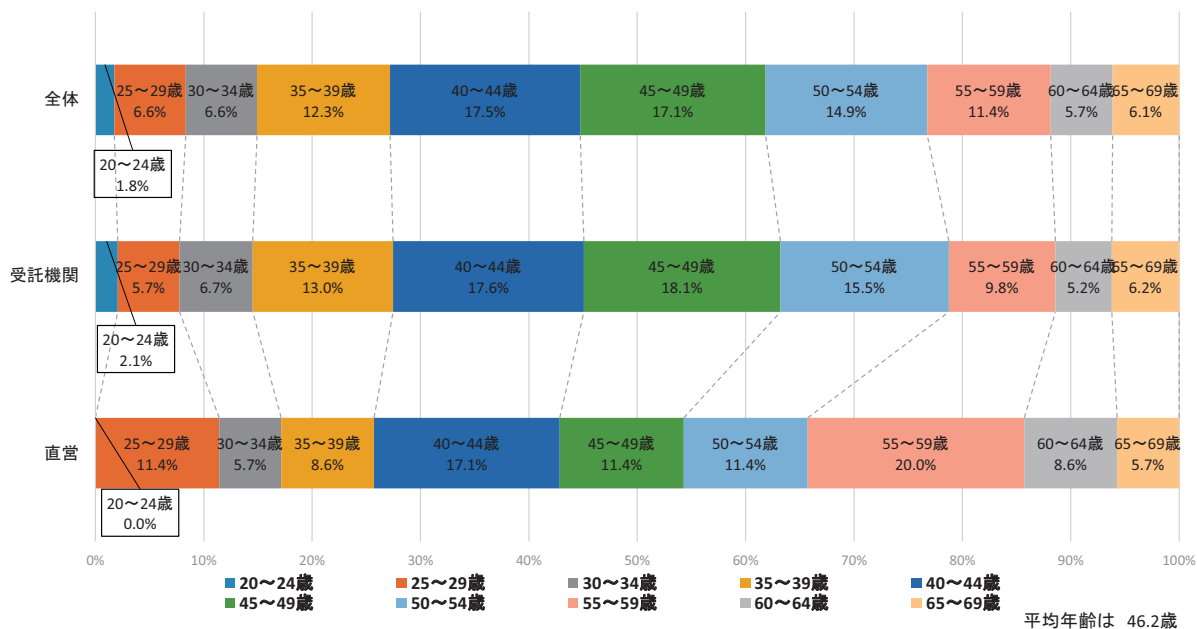
	人数
受託機関	194
直営	36
計	230



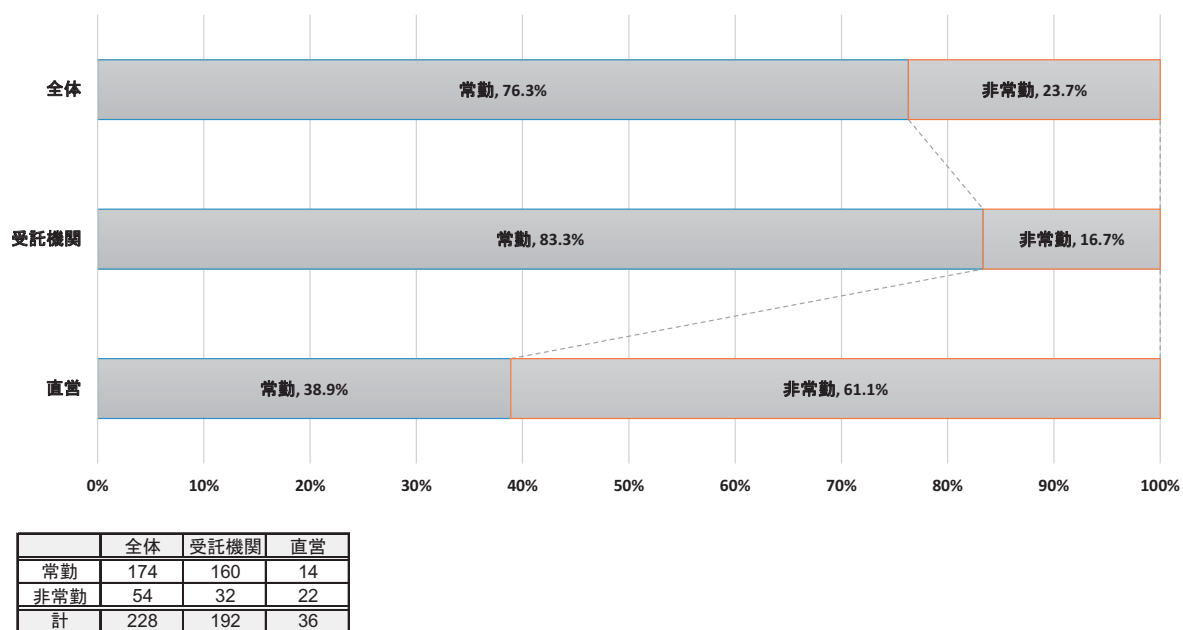
平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の男女比



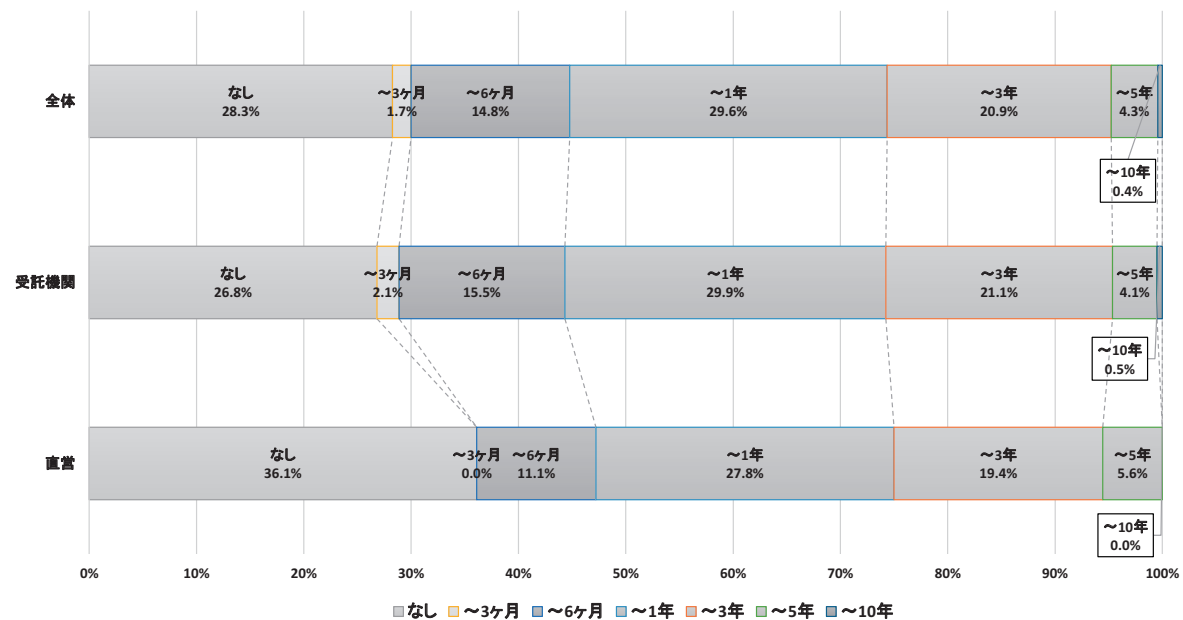
平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の年齢構成



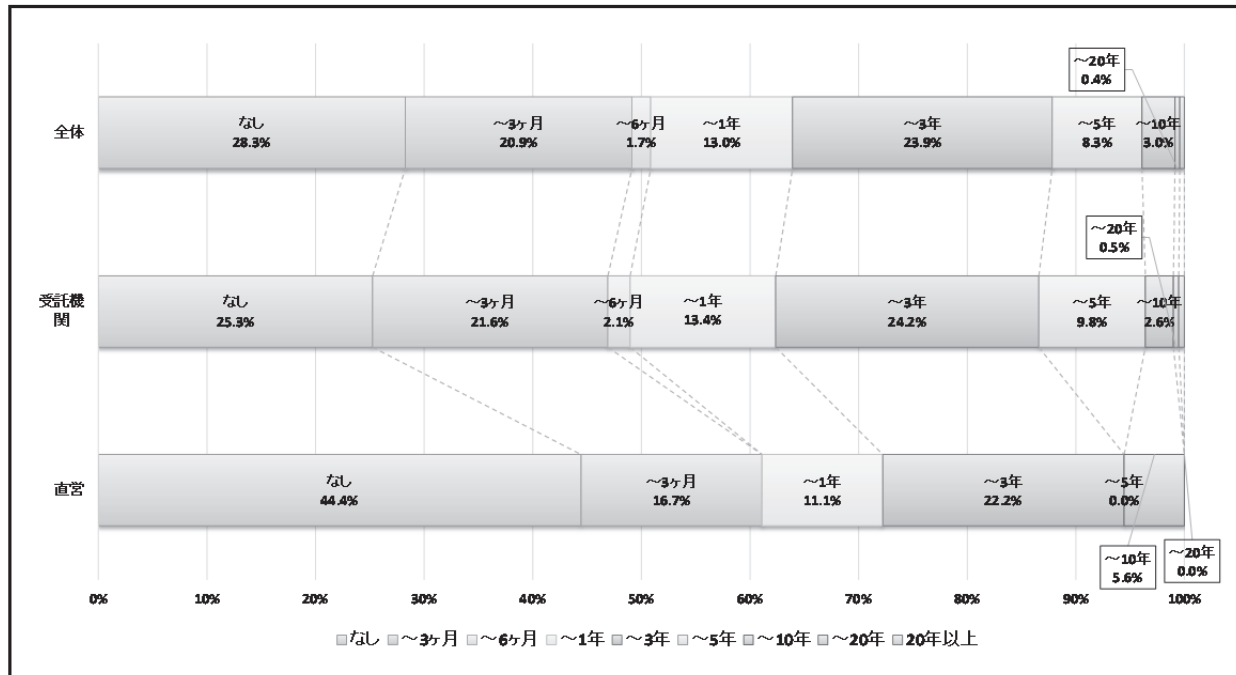
平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の勤務形態



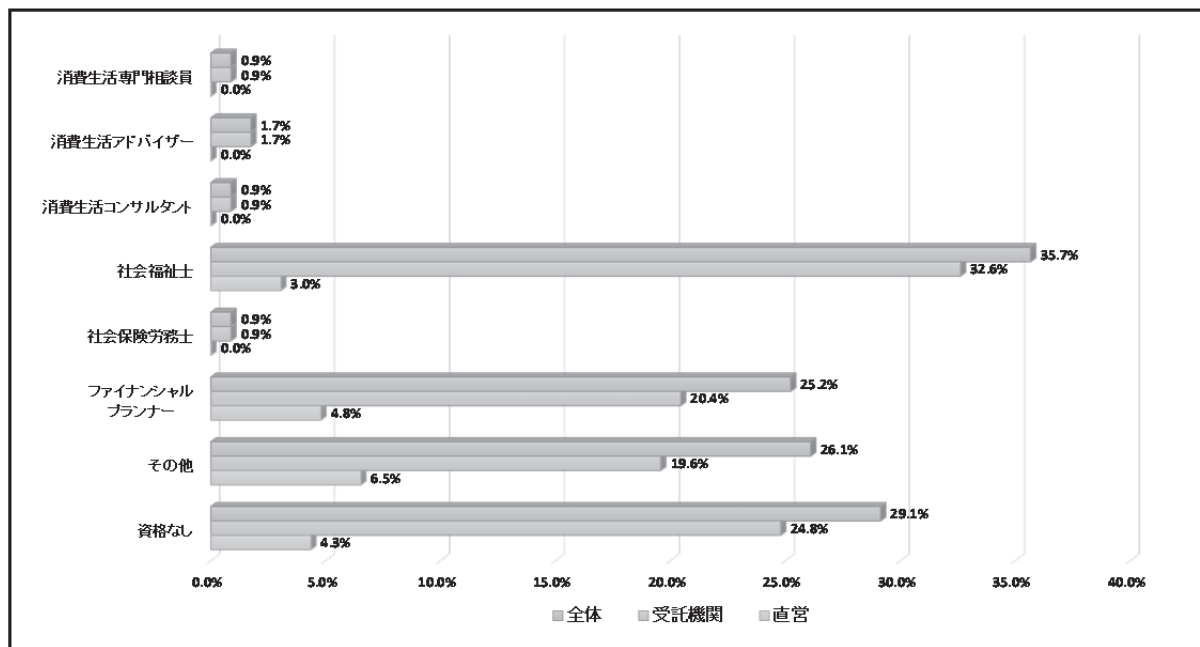
平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の現職経験年数



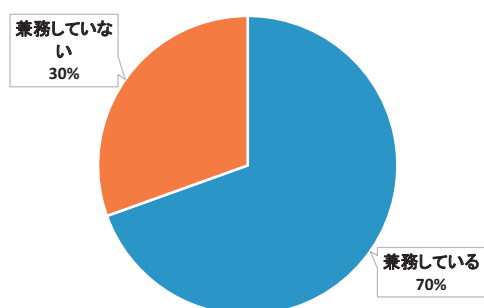
平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の家計相談支援通算経験年数



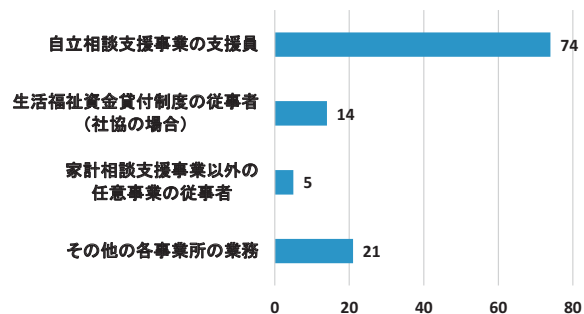
平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の資格保有状況



平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 兼務の状況



兼務の有無 N=164



兼務の職種

第2章 研修内容の企画

1 企画委員会の概要

委員名簿

氏名(敬称略)	所属	役職	備考
企画運営委員会			
奥田 知志	認定特定非営利活動法人 抱樸	理事長	
空閑 浩人	同志社大学	教授	
新保 美香	明治学院大学	教授	
高橋 良太	全国社会福祉協議会 地域福祉部	部長	
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	代表理事	
原田 正樹	日本福祉大学	教授・学長補佐	
行岡 みち子	グリーンコープ生活協同組合連合会	常務理事・生活再生事業推進室長	
和田 敏明	ルーテル学院大学	名誉教授	委員長
【後期】主任相談支援員養成研修 企画部会			
勝部 麗子	豊中市社会福祉協議会	福祉推進室長	
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
新保 美香	明治学院大学	教授	
原田 正樹	日本福祉大学	教授・学長補佐	部会長
和田 敏明	ルーテル学院大学	名誉教授	
【後期】相談支援員養成研修 企画部会			
朝比奈 ミカ	市川市生活サポートセンター そら (so-ra)	主任相談支援員	
上原 久	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センター つながり	所長	
空閑 浩人	同志社大学 社会学部 社会福祉学科	教授	部会長
高橋 良太	全国社会福祉協議会 地域福祉部	部長	

【後期】就労支援員養成研修 企画部会			
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
櫛部 武俊	一般社団法人釧路社会的企業創造協議会	副代表	
新保 美香	明治学院大学	教授	部会長
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	代表理事	
名嘉 泰	公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナルサポートセンター	統括責任者	
西岡 正次	A' ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）	就労支援室長	
就労準備支援事業従事者養成研修 企画部会			
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
櫛部 武俊	一般社団法人釧路社会的企業創造協議会	副代表	
新保 美香	明治学院大学	教授	
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポ ート・フェイス	代表理事	部会長
名嘉 泰	公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナルサポートセンター	総括責任者	
家計相談支援事業従事者養成研修 企画部会			
北島 千恵	福岡県家計相談支援事業所（筑紫郡・糟屋郡） くらし・しごと・家計 困りごと相談室	家計相談支援員	
高橋 良太	全国社会福祉協議会 地域福祉部	部長	
近岡 美由紀	日本司法支援センター	弁護士	
細野 淳子	東近江市社会福祉協議会	主幹	
行岡 みち子	グリーンコープ生活協同組合連合会	常務理事・生活再 生事業推進室長	部会長
和田 敏明	ルーテル学院大学	名誉教授	
都道府県研修に係る担当者研修 企画部会			
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
新保 美香	明治学院大学	教授	部会長
高橋 良太	全国社会福祉協議会 地域福祉部	部長	

2 企画に係る委員会・部会の実施状況

	開催日時・場所	主な議題（◆出席者）
企画運営委員会	平成 30 年 4 月 10 日（水） 13：30～15：30 全社協 第 3 会議室	1. 平成 30 年度 生活困窮者自立支援制度人材養成研全体について 2. 【前期】共通カリキュラムの検討 ◆奥田氏・高橋(良)・谷口氏・原田氏・行岡氏・和田氏・厚生労働省
主任相談企画部会	<第 1 回> 平成 30 年 5 月 7 日（月） 18：30～20：00 商工会館 会議室 7D	<第 1 回> 1. 平成 29 年度研修の振り返り 2. 平成 30 年度の研修プログラムについて ◆原田氏・高橋(良)・勝部氏・加留部氏・新保氏・和田氏・厚生労働省
	<第 2 回> 平成 30 年 6 月 14 日（月） 11：00～13：00 全社協 5 階 サロン	<第 2 回> 1. 平成 29 年度の講義・演習の振り返り 2. 平成 30 年度の講義・演習のプログラム内容について ①事例検討の意義と理解 ②スーパービジョンの実際 ◆朝比奈氏・上原氏・厚生労働省
	<第 3 回> 平成 30 年 7 月 18 日（水） 18：00～20：30 全社協 4 階 ミーティングルーム	<第 3 回> 1. 平成 30 年度の講義・演習のプログラム内容について ①個を支える地域づくり ②社会資源とネットワークの開発 ◆中氏・原田氏・古市氏・森脇氏
相談支援企画部会	<第 1 回> 平成 30 年 6 月 14 日（木） 13：30～15：30 全社協 5 階 第 2 会議室	<第 1 回> 1. 平成 29 年度研修の振り返り 2. 平成 30 年度の研修プログラムについて ◆空閑氏・朝比奈氏・上原氏・厚生労働省
	<第 2 回> 平成 30 年 7 月 4 日（水） 13：00～15：00 全社協 3 階 ホール会議室	<第 2 回> 1. 平成 30 年度の講義・演習のプログラム内容について ◆朝比奈氏・安達氏・石田氏・上原氏・及川氏・大戸氏・藤川氏・ムルカン氏・厚生労働省
	<第 3 回> 平成 30 年 9 月 5 日（水） 11：00～13：00 全社協 3 階ホール会議室	<第 3 回> 1. 「相談支援の展開」の進め方について ◆空閑氏・朝比奈氏・安達氏・石田氏・上原氏・及川氏・大戸氏・藤川氏・ムルカン氏・厚生労働省

就労支援 企画部会	<第1回> 平成30年9月18日(火) 13:30～15:30 全社協 第1会議室	<第1回> 1.平成29年度研修の振り返り 2.平成30年度の研修カリキュラムについて ◆新保氏・谷口氏・櫛部氏・西岡氏・名嘉氏・厚生労働省
	<第2回> 平成30年12月6日(木) 16:20～16:50	<第2回> 1.就労支援員養成研修プログラム内容について ◆新保氏・加留部氏・谷口氏
家計相談 企画部会	<第1回> 平成30年4月20日(金) 11:00～13:00 商工会館 7階7BC	<第1回> 1.平成29年度研修の振り返り 2.平成30年度の研修プログラムについて ◆行岡氏・北島氏・近岡氏・細野氏・和田氏・厚生労働省
	<第2回> 平成30年6月7日(木) 16:45～17:45 全社協 第6会議室	<第2回> 1.平成30年度の研修プログラムについて ◆行岡氏・北島氏・高橋(良)・厚生労働省
就労準備 企画部会	<第1回> 平成30年7月27日(金) 13:30～15:30 全社協 第1会議室	<第1回> 1.平成29年度研修の振り返り 2.平成30年度の研修カリキュラムについて ◆新保氏・谷口氏・名嘉氏・厚生労働省
	<第2回> 平成30年9月18日(火) 15:30～16:00 全社協 第1会議室	<第2回> 1.平成30年度就労準備支援事業従事者養成研修の進め方について ◆新保氏・谷口氏・櫛部氏・西岡氏・名嘉氏・厚生労働省
担当者研 修企画部 会	<第1回> 平成30年5月7日(月) 15:30～17:30 商工会館 7D	<第1回> 1.平成30年度の研修プログラムについて ◆加留部氏・新保氏・高橋(良)・厚生労働省
	<第2回> 平成30年12月7日(金) 10:30～11:30 ロフォス湘南	<第2回> 1.平成30年度 都道府県研修に係る担当者研修 企画について ◆加留部氏・新保氏・高橋(良)・厚生労働省
	<第3回> 平成31年1月29日(火) 17:00～19:00 全社協 第6会議室	<第3回> 1.平成30年度都道府県研修に係る担当者研修について ◆加留部氏・新保氏・高橋(良)・厚生労働省

3 個別打合せの実施状況

開催日時・場所	主な議題(◆出席者)
平成30年6月1日(金) 10:00～12:00 全社協 地域福祉部	【前期】打ち合わせ① ◆八木氏・及川氏
平成30年6月14日(木) 15:30～16:30 全社協 第2会議室	【前期】打ち合わせ② ◆朝比奈氏・遠藤氏

第3章 研修内容の詳細

1【前期】共通カリキュラム 養成研修

《【前期】共通カリキュラム プログラムシート》

■期日

【第1回】7月3日（火）～5日（木）

【第2回】7月30日（月）～8月1日（水）

【第3回】9月3日（月）～5日（水）

■研修の目標

- ①基本を学ぶ
- ②学んだことを実践できる
- ③伝達できる（講師になれる）

■各プログラムの詳細

◆科目：生活困窮者自立支援法の改正概要と今後の展望（研修 90 分）

日時：第1回目＜1日目＞7/3（火）9：30～11：00

第2回目＜1日目＞7/30（月）9：30～11：00

第3回目＜1日目＞9/3（月）9：30～11：00

登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

室長 本後 健 氏（第1.2回）

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

室長 野崎 伸一 氏（第3回）

講義のポイント：制度の動向と、これから目指す姿について

◆科目：他制度の活用・連携（研修 100 分）

日時：第1回目＜1日目＞7/3（火）11：10～12：50

第2回目＜1日目＞7/30（月）11：10～12：50

第3回目＜1日目＞9/3（月）11：10～12：50

登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

生活困窮者自立支援室 生活困窮者対策官 菊地 英人 氏（第1.2回）

野洲市役所 市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏（第1.2回）

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏（第3回）

野洲市役所 健康福祉部 障がい者自立支援課 地域生活支援室 主任 宇都宮 誠実 氏（第3回）

講義のポイント：各種制度の減免・給付制度の活用の実際、医療、介護、障害、年金、住居に関する制度との連携について※事例を用いて解説。

◆科目：支援員に求められる基本倫理と基本姿勢（研修 210 分+休憩 15 分）

日時：第 1 回目＜1 日目＞7/3（火）13：50～17：35

第 2 回目＜1 日目＞7/30（月）13：50～17：35

第 3 回目＜1 日目＞9/3（月）13：50～17：35

登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

講義のポイント：①3 つの基本倫理と 8 つの基本姿勢について演習を用いて説明【新保先生】

②より良い職場づくり、チームづくりについて【新保先生・加留部先生】

③職場や都道府県研修での伝達方法について（動機づけ）【加留部先生】

進行：

進行時刻	内容
13:50～14:50	<u>1. 新保先生の講義（60 分）</u> ・講義の導入で自己紹介フリップを活用する
14:50～15:05	<u>【休憩（15 分）】</u>
15:05～17:35	<u>2. 加留部先生の講義（150 分）</u>

◆科目：生活困窮者支援を通じた地域づくり（研修 180 分+休憩 15 分）

日時：第 1 回目＜2 日目＞7/3（水） 9：00～12：00

第 2 回目＜2 日目＞7/31（火） 9：00～12：00

第 3 回目＜2 日目＞9/4（火）9：00～12：00

登壇者：【講師】ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏

【コメンテーター】豊中市社会福祉協議会 勝部 麗子 氏

釧路社会的企業創造協議会 櫛部 武俊 氏

【修了者】日向市社会福祉協議会 生活相談・支援センター心から 松永 茂晃 氏（第 2.3 回）

学びのポイント：①地域づくりに関する概念や課題解決の糸口を学ぶ。

②先駆者の報告とともに受講者と近い立場にある国研修修了者の方にご報告いただくことで、自分が取り組むことができる地域づくりの具体的なイメージを持っていたく。

進行：

進行時刻	内容
9:00～9:20	<u>1. 講師（和田先生）によるプログラムの趣旨説明・講義（20分）</u>
9:20～9:50	<u>2. 修了者（松永氏）の報告（30分）</u> ①修了者の報告（15分） ②報告に対して、和田先生から参考になる点や疑問点等についてインタビュー（10分） ③和田先生のまとめ（5分）
9:50～10:05	<u>【休憩（15分）】</u>
10:05～11:45	<u>3. 実践者（①勝部氏、②櫛部氏）の報告（100分）</u>
① 勝部氏	<u>勝部 氏</u>
10:05～10:38	①実践者1人の報告（勝部氏から）（15分） ②報告に対して、講師から参考になる点や疑問点等についてインタビュー（15分） ※受講者は①報告、②インタビューを聞きながら、付箋に「参考になったこと」、「報告者に質問したいこと」をメモする。 ③個人ワークで上記を整理し付箋に記入する（3分）
② 櫛部氏	<u>櫛部 氏</u>
10:38～11:11	①実践者1人の報告（櫛部氏）（15分） ②報告に対して、講師から参考になる点や疑問点等についてインタビュー（15分） ※受講者は①報告、②インタビューを聞きながら、付箋に「参考になったこと」、「報告者に質問したいこと」をメモする。 ③ 個人ワークで上記を整理し付箋に記入する（3分） ④ 松永 氏 への質問もあれば 記入する
11:11～11:50	① 同じ机3人で付箋の内容を共有（9分） ② 会場からの質問を受ける（10分） ③実践者、講師それぞれからまとめのコメント（20分） 付箋は回収しない。
11:50～12:00	<u>4. 講師（和田先生）によるプログラムのまとめ（10分）</u>

◆科目：相談支援の展開と視点（研修 175 分+休憩 15 分）

日時：第 1 回目＜3 日目＞7/5（木）9:00～12:10

第 2 回目＜2 日目＞7/31（火）13:00～16:10

第 3 回目＜3 日目＞9/5（水）13:40～16:50

登壇者：【講師】福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子 氏（第 1.2.3 回）

同志社大学 教授 空閑 浩人 氏（第 3 回）

【修了者】四街道市社会福祉協議会/くらしサポートセンター 及川 哲 氏

講義のポイント：①相談支援の展開について基本的な流れ、構図を理解する。

②実践（事例）を通して支援の視点を理解する。

③本事業における終結を理解する。

資料構成：①相談支援のプロセス図

②事例シート 1、事例シート 2

③事例シート 3

④事例 3 ワークシート（帳票）

⑤事例シート 4

⑥事例 4 ワークシート

⑦帳票類標準様式を活用する意義（みずほ報告書 P. 44）

⑧「課題のまとめと支援の方向性」を導き出すためのポイント（みずほ報告書 PP. 64-65）

進行：※進行時間は第 3 回目のもの

進行時刻	内容
13:40～13:50 (10 分)	<u>1. 導入</u> ・本プログラムのねらいの説明（→事例を通じて学んでいくことを説明） ・相談支援のプロセス（資料①）
13:50～14:00 (10 分)	<u>2. 事例 1 検討（把握・アウトリーチ・相談受付）</u> ・事例の読み上げ、共有、ポイントの解説（資料②）
14:00～14:10 (10 分)	<u>3. 事例 2 検討（アセスメント・プラン作成（支援調整会議））</u> ・事例の読み上げ、共有、ポイントの解説（資料②）
14:10～15:30 (80 分)	<u>4. 事例 3 検討・ワーク（支援の実施・モニタリング（再アセスメント））</u> ・事例の読み上げ、共有、（資料③） （ワーク）帳票の記入（課題の背景要因等）、ポイント解説（④、⑦、⑧）

15:30～15:45 (15 分)	<u>【休憩 (15 分)】</u>
15:45～16:40 (55 分)	<u>5. 事例 4 検討・ワーク (プラン評価・終結)</u> ・事例の読み上げ、共有 (資料⑤) (ワーク) ワークシートを用いてバズセッション 「終結の根拠とは」(事例のどの部分に着目して「終結」とみなしたのか。(資料⑥))
16:40～16:50 (10 分)	<u>6. まとめ</u>

◆科目：つながりにくい相談者への支援 (研修 100 分)

日時：第 1 回目 <2 日目> 7/4 (水) 16:50～18:30

第 2 回目 <2 日目> 7/31 (火) 16:20～18:00

第 3 回目 <2 日目> 9/4 (火) 16:25～18:05

登壇者：【コーディネーター】市川市生活サポートセンターそら (so-ra) 朝比奈 ミカ 氏

【実践者】一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 遠藤 智子 氏

NPO 法人 BOND プロジェクト 橘 ジュン 氏

学びのポイント：実践者からつながりにくい相談者の特性や支援の方法について学ぶ

進行：※進行時間は第 3 回目のもの

進行時刻	内容
16:25～16:35	<u>1. 朝比奈氏によるプログラムの趣旨説明・講義 (10 分)</u>
16:35～17:05	<u>2. 遠藤氏の発表 (計 30 分)</u> ①遠藤氏の発表 (30 分)
17:05～17:35	<u>3. 橘氏の発表 (計 30 分)</u> ①橘氏の発表 (30 分)
17:35～18:05	<u>4. まとめ (30 分)</u> 遠藤氏、橘氏の発表の共有をする。

◆科目：対象者の特性を踏まえた支援のあり方（研修 205 分＋休憩 15 分）

日時：第 1 回目＜2 日目＞7/4（火） 13：00～16：40

第 2 回目＜3 日目＞8/1（水） 9：00～12：40

第 3 回目＜3 日目＞9/5（水） 9：00～12：40

登壇者：【講師】日本福祉大学 教授・学長補佐 原田 正樹 氏

【実践者】KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 上田 理香 氏

NPO 法人 自殺対策支援センター ライフリンク 根岸 親 氏

有限会社 SNOW DREAM 代表 山口 久美 氏

学びのポイント：対象者の特性に合った支援のあり方について学ぶ

テーマ① ひきこもりの人への支援（上田氏）

テーマ② 自殺予防（根岸氏）

テーマ③ 発達障害者への支援（山口氏）

進行：※進行時間は第 3 回目のもの

進行時刻	内容
9:00～9:05	原田先生 講義の目的等について説明（5 分）
9:05～9:35	報告① ひきこもり支援（上田氏）（30 分）
9:35～9:55	原田先生から報告者にインタビュー（20 分）
9:55～10:05	受講者が机 3 人でバズセッション（10 分） 「青（参考になった点）」と「ピンク（課題）」のカードを作って、話し合う。 全体としての質問や共有（5 分）
10:05～10:20	【休憩（15 分）】
10:20～10:50	報告② 自殺予防（根岸氏）（30 分）
10:50～11:10	原田先生から報告者にインタビュー（20 分）
11:10～11:20	受講者が机 3 人でバズセッション（10 分） 「青（参考になった点）」と「ピンク（課題）」のカードを作って、話し合う。 全体としての質問や共有（5 分）
11:20～11:50	報告③ 発達障害者支援（山口氏）（30 分）
11:50～12:10	原田先生から報告者にインタビュー（20 分）
12:10～12:20	受講者が机 3 人でバズセッション（10 分） 「青（参考になった点）」と「ピンク（課題）」のカードを作って、話し合う。 全体としての質問や共有（5 分休憩）

進行時刻	内容
12:20～12:40	まとめ 原田先生

◆科目：就労支援の考え方と実施方法（研修 180 分+休憩 15 分）

日時：第 1 回目 ＜3 日目＞ 7/5（水）13：10～16：25

第 2 回目 ＜3 日目＞ 8/1（水）13：40～16：55

第 3 回目 ＜3 日目＞ 9/5（木）13：00～16：15

登壇者：【コーディネーター】＜第 1 回目＞明治学院大学 教授 新保 美香 氏

＜第 2 回目＞厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

生活困窮者自立支援室 米丸 洋 氏

＜第 3 回目＞厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

生活困窮者自立支援室

自立支援専門調査員 平野 憲司 氏

【実践者】草の根ささえあいプロジェクト 渡辺 ゆりか 氏（第 1.3 回）

草の根ささえあいプロジェクト 竹内 明夫（第 2 回）

東近江圏域働き・暮らし応援センター 野々村 光子氏

青少年就労支援ネットワーク静岡 津富 宏 氏

学びのポイント：①就労支援の基本的な考え方について、テキスト 6 章第 1 節を中心に学ぶ

②実践者から基本的な考え方と実践方法について学ぶ

進行：※進行時間は第 3 回目のもの

進行時刻	内容
13:00～13:50	1. 「就労支援の考え方と実践方法」講義・演習（50 分）【基礎編】新保先生・平野氏
13:50～14:00	2. 実践事例紹介者の紹介（計 10 分）【実践編】 ①コーディネーターより実践編について趣旨説明（2 分） ②野々村氏・渡辺氏・津富氏の自己紹介（お一人 2 分程度：共通のスライド）
14:00～14:35	3. 野々村氏の時間（計 35 分）
14:00～14:30	①野々村氏の実践紹介（30 分）
～14:35	②参加者バズセッション（3 分）
	③補足のコメント・コーディネーターの一言等（2 分）
14:35～14:50	休憩（15 分）

14:50~15:25	<u>4. 渡辺氏・竹内氏の時間（計 35 分）</u>
14:50~15:20	①渡辺氏の実践紹介（30 分）
~15:25	②参加者バズセッション（3 分）
	③補足のコメント・コーディネーターの一言等（2 分）
15:25~16:00	<u>5. 津富氏の時間（計 35 分）</u>
15:25~15:55	①津富氏の実践紹介（30 分）
~16:00	②参加者バズセッション（3 分）
	③補足のコメント・コーディネーターの一言等（2 分）
16:00~16:15	<u>6. まとめのセッション（15 分）</u>
	<u>「ズバリ！それぞれの取組を各地で実践するためのポイント」</u>
	①野々村氏・渡辺氏・野々村氏それぞれに、「ズバリ！ポイント」をお伝え いただく。（お一人3分：スライドにもとづきお話いただく。）
	②コーディネーターまとめ（米丸氏／平野氏・新保先生）

【前期】共通カリキュラム 研修会の様子



2 【後期】主任相談支援員養成研修

《後期》主任相談支援員養成研修 プログラムシート》

■期日 8月22日（水）～24日（金） ■受講者数 217名 ■会場 全社協・中央福祉学院

■会場の着席形式 3日間終日グループ形式

最小単位を3人のグループとして、2つのグループ（計6人）で着席する。

1日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる

2日目：近隣地域

3日目 1日目の3人グループは同じメンバーで、組み合わせるグループを別にする

■各プログラムの詳細

◆科目：【講義と演習①】生活困窮者支援と地域づくりの意義

◆日時：＜1日目＞ 8/22（水） 10：40～11：40（60分）

◆登壇者：ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏

◆学びのポイント：○なぜ困窮者支援に地域づくりが必要なのか

○生活困窮者自立支援と地域福祉計画

○生活困窮者自立支援と他の分野との連携

◆講義形式

◆科目：【講義と演習②】職員の資質向上と職場（組織）づくり

◆日時：＜1日目＞ 8/22（水） 12：40～16：55（研修240分、昼食休憩60分、休憩15分 合計315分）

◆登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◆学びのポイント：○主任相談支援員の役割について理解する。

○職員の育成・教育に向けた方法を学ぶ。

○自立相談支援機関の職場特性を踏まえた職場づくりのあり方、スーパービジョンの仕組みづくりや組織マネジメントを考える。

○他機関との協働、チームづくりへの視点を学ぶ

○スーパービジョンの方法を学ぶ。支援における視点の偏りや、権利擁護の視点の必要性についても取り上げる。

◆進行

進行時刻	内容
12:40～13:25	1. 講義：新保先生（45 分） 前期研修の振り返り、事前課題（困難事例）について（支援を育てる等）、スーパービジョンの解説等
13:25～16:55	2. 演習：加留部先生（210 分【途中休憩 15 分】）
13:25～13:40	全体導入 説明（15 分）
13:40～14:05	演習「貿易ゲーム」（25 分）
14:05～14:25	結果全体シェア（20 分）
14:25～14:40	休憩（15 分）
14:40～15:40	ワールド・カフェによる振り返り（60 分）
15:40～16:50	講義「いっしょにやる、ということ」、ワールド・カフェ解説（70 分）
16:50～16:55	全体振り返り（5 分）

※13:25～ 6 人の島形式、備品あり（封筒に備品入れておく）

※14:40～ 6 人の島形式で、各島に模造紙 1 枚、プロッキー 1 セット、A4 用紙を人数分

◆科目：【講義と演習③】事例検討の意義と理解

◆日時：＜2 日目＞ 8/23（木） 9：00～12：15（研修 180 分、休憩 15 分 合計 195 分）

◆登壇者：ファシリテーター：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

スーパーバイザー：聖隷福祉事業団 在宅福祉サービス事業部 次長 上原 久 氏

実践（事例）報告：滋賀県湖東健康福祉事務所 主任相談支援員 ムルカン 美香 氏

◆位置づけ：研修のまとめ（個別支援、職場づくり、地域づくり）

◆学びのポイント：①事例検討の意義と考え方やその方法について学ぶ。

②主任研修であるため、個別支援とともに地域支援の視点も取り入れる。

※壇上（下手）上原氏（スクリーン・ホワイトボード※両面 6 枚）（上手）ムルカン氏

※ビデオカメラ撮影→スクリーン映写

◆事前準備 前日夜、ホワイトボードセット、事例情報をホワイトボードに整理。

◆進行

進行時刻	内 容
9:00-9:10 【10分】	<u>1. 導入：新保先生</u> (1) 事例検討とはなにか その意味と目的：事例検討の意義と、実際に受講者は事例検討をどの程度経験しているかの確認など。 (2) 研修で経験する事例検討の特徴と意義について
9:10-12:05 【2時間 55分】	<u>2. 事例検討会</u> 事例提供者：ムルカン 美香 氏（湖東健康福祉事務所困窮者自立相談支援員） 司会進行：上原 久 氏（聖隷福祉事業団） 上原氏進行のもと下記の内容を進める。休憩は進行状況をみながら決める。
9:10-9:20 (10分)	(1) 事例提供者・司会進行 自己紹介
9:20-10:00 (40分)	(2) 事例の概要把握（事例情報の提供） ①ホワイトボードに板書してある情報をもとに事例提供者が説明 ②司会者と事例提供者で情報交換しながら事例の輪郭を把握
10:00-10:30 (30分)	(3) 事例の全体像把握（質疑・応答） ①事例情報について G 内で共有 ②不足情報について G 内で整理し質問→事例提供者が答える
10:30-10:45 (15分)	(4) 見立て：事例の見立てを各グループで検討。 各 G 内で見立てを行う。 ①現状の査定、②背景の理解、③主要テーマの把握について司会者が補足
10:45-11:05 (20分)	(5) 支援目標の設定：見立てを基に各グループで手立て（支援目標）を考える。 ①「未来志向プラン」を G ごとに考える ②その際に連携や地域アセスメントなどにも配慮する。
11:05-11:30 (25分)	(6) 支援目標の発表：グループで発表（挙手制 3～4G。7分×4G=21分） ①1Gにつき 2～3 個のプランを提案→司会者が板書 ②ボード 1～2 枚程度に書き出したところで止める
11:30-12:05 (30分)	(6) 支援目標の策定：事例提供者による ①事例提供者：ボードに書き出されたプランの中から 4～5 個のプランを選ぶ ②事例提供者：選んだプランに優先順位をつける ③司会者：事例提供者が選んだプランを体系的に並べ替える

12:05-12:15 【10分】	Ⅲ. まとめ：新保先生 (1) 事例検討の意義の再確認、(2) 今後に向けてのまとめ、(3) その他などについて、新保先生を中心に司会者・事例提供者とともに振り返り＋まとめ。
----------------------	--

※6人の島形式、各島に模造紙1枚、A4用紙人数分、プロッキー1セット、付箋

◆科目：【④講義と演習】スーパービジョンの実際

◆日時：＜2日目＞ 8/23（木） 13：05～16：50（研修210分＋休憩15分）

◆登壇者：・市川市生活サポートセンター そら（so-ra）主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏
・聖隷福祉事業団 在宅福祉サービス事業部 次長 上原 久 氏
・いちばら生活相談サポートセンター 主任相談支援員 大戸 優子 氏

◆学びのポイント：○主任相談支援員の役割や視点、スーパービジョンについて学ぶ。

○事例を通して主任相談支援員としての「考え」と「対応」について実践的に学ぶ。

※壇上（下手）朝比奈氏、大戸氏、上原氏（スクリーン）（上手）

◆進行

進行時刻	内容
13:05～13:25 (20分)	1. 解説：主任の視点・スーパービジョンについて学ぶ：上原氏（20分） ①レジュメに基づき解説（20分）
13:25～13:35	2. 演習：主任の役割とスーパービジョンの実践（190分＋休憩15分） ①導入（朝比奈氏）（10分） 演習の趣旨、進め方とグループの役割分担（発表者）等を説明する。
13:35～14:15	②事例シートの紹介（大戸氏）（40分）
14:15～15:05	③グループ協議（50分） 事例をもとに主任としての「考え」と「対応」について協議する。 協議内容についてワークシート（個人）として整理する。
15:05～15:20	【休憩（15分）】
15:20～16:20 (60分)	④グループ発表（3～4グループ×5分＝15～20分）＋解説（40分） グループ協議の発表をもとに、主任としての役割やスーパービジョンの実践方法等の理解を深める。 →助言は朝比奈氏が上原氏と大戸氏に振り分ける。
16:20～16:50	⑤演習全体のまとめ（30分） 主任相談支援員の視点・スーパービジョンについて解説（上原氏）10分 まとめ・コメント（朝比奈氏、大戸氏）20分

◆研修資料

- ①自立相談支援事業における使用標準様式の実用化に向けた調査研究 報告書（みずほ情報総研 平成 26 年度）PP. 64-65 「課題のまとめと支援の方向性」を導き出すための実践上のポイント（事務局）
- ②事例から学ぶ自立相談支援の基本（みずほ情報総研 平成 27 年度）PP. 2-3 本人理解にもとづく相談支援の考え方（事務局）
- ③解説レジュメ（上原氏）
- ③事例シート（大戸氏）
- ④演習：個人ワークシート（事務局）※当日配布
* テーマ「主任相談支援員であるあなたは、どのように考え、どのように対応しますか」

◆科目：【講義と演習⑤】個を支える地域づくり

◆日時：＜3 日目＞ 8/24（金） 9：00～11：45（研修 150 分＋休憩 10 分）

◆登壇者：【講師】日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏

【コメンテーター】愛知教育大学 教授 川島 ゆり子 氏

【実践者】・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏

・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こずえ 氏

・金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏

◆学びのポイント：○ソーシャルサポートネットワークづくりのプロセスとその作り方を学ぶ。

○個と地域の一体的支援や地域住民への福祉教育の推進等において、主任相談支援員としての関わりや働きかけをするプロセスを学ぶ。

○事例を通して地域づくりの必要性や地域における包括的な支援体制づくりに自立支援相談支援機関として、また、主任相談支援員として主体的に取り組むことの必要性を理解する。

※壇上 （下手）原田先生、川島先生 （スクリーン） 森脇氏、中氏、古市氏（上手）

◆進行

進行時刻	内容
	<u>前半：ソーシャルサポートネットワークを作るプロセスを学ぶ（85 分）</u>
9:00～9:10	1. 講義の目的（原田先生）+事例紹介①「会う前」（森脇氏） 10 分 事例概略シートで紹介する
9:10～9:20	2. 個人ワーク エコマップ①書き方説明（原田先生）+作成 10 分
9:20～9:30	3. 事例紹介②「会ってから現在」（森脇氏） 10 分
9:30～9:35	4. 個人ワーク エコマップ②作成 5 分
9:35～9:45	5. 個人ワーク プロセスレコードシートの整理 10 分
9:45～10:00	6. グループワーク プロセスレコードシート共有 15 分 <u>7. の前にエコマップ、プロセスレコードシート記入済みを配付する</u>
10:00～10:10	7. グループワーク 支援のポイント共有 10 分
10:10～10:25	8. 全体共有 グループ発表+解説（原田先生）、コメント（川島先生）15 分

10:25～10:35	◆休憩 10 分
	<u>後半：ソーシャルサポートネットワークの作り方を学ぶ（65 分）</u>
10:35～10:37	1. 講義の目的（原田先生） 2 分
10:37～10:46	2. 事例紹介（①子ども：古市氏、②障害者：森脇氏、③高齢者：中氏）3 分×3（9 分） ※ワークする事例（A～B）については、原田先生が指定する。
10:46～10:51	3. 個人ワーク ワークシート記入 5 分
10:51～11:11	4. グループワーク 支援内容について討議 20 分
11:11～11:26	5. グループワーク 報告・ディスカッション 5 分×3 グループ（15 分）
11:26～	6. 解説・コメント：（原田先生、川島先生、古市氏、森脇氏、中氏）20 分程度
11:45	<u>（午後プログラムの準備・説明）</u> ★「事前課題」（参加者持参）をグループ内で配布、午後の演習までに各自確認する。

※6 人の島形式で、ワークシート（A1 版）1 枚、プロッキー1 セット（なお、付箋（赤、青）は事前配付済）

◆研修資料

（前半）

- ①ケースの概略シート（エコマップ記入シート付）（森脇氏）
- ②プロセスレコードシート個人記入用 A3
- ③エコマップパワーポイント ※当日配布（森脇氏）
- ④プロセスレコードシート記入済み※当日配布（森脇氏）

（後半）

- ①ケースメソッド 3 つの事例

（事例作成：①子ども分野：古市氏、②障害者分野：森脇氏、③高齢者分野：中氏）

※事例検討ではないため、各事例は 5 行程度で簡潔に整理する。

- ②予防と新しい支援の仕組みを考えるワークシート（個人用 A3）
- ③予防と新しい支援の仕組みを考えるワークシート（グループ用 A1）

（共通）

- ①解説・コメントに必要となる資料（川島先生）

◆科目：【講義と演習⑥】社会資源とネットワークの開発

◆日時：＜3日目＞ 8/24（金） 12：30～15：45（研修 180分＋休憩 15分）

◆登壇者：【講師】日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏

【コメンテーター】愛知教育大学 教授 川島 ゆり子 氏

【実践者】・氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏

・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長 古市 こずえ 氏

・金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏

◆学びのポイント：○社会資源開発や創出の必要性和、多機関協働や幅広い関連分野との具体的な連携の方法、自立相談支援機関として担う協働の中核としての役割を学ぶ。

○ニーズにもとづく社会資源の開発、ネットワークづくり（多層的なネットワーク、多機関協働、多職種連携等）における主任相談支援員の役割を学ぶ。

※受講者は6人1組のグループ

※壇上（下手）原田先生、川島先生（スクリーン） 森脇氏、中氏、古市氏（上手）

◆進行

【前半：実践報告】（計 90 分）

進行時刻	内容
12:30～12:35	1. 講義の目的等について説明：原田先生（5分）※5名登壇
12:35～12:55	2. 【実践報告・テーマ1】多職種連携・チームとしての支援：中氏（15分） ⇒実践報告を踏まえたテーマに対するコメント：古市氏、森脇氏（5分）（計 20分）
12:55～13:15	3. 【実践報告・テーマ2】多機関協働、協働の中核を担う役割：古市氏（15分） ⇒実践報告を踏まえたテーマに対するコメント：森脇氏、中氏（5分）（計 20分）
13:15～13:35	4. 【実践報告・テーマ3】「地域セーフティネット」の構築と実践：森脇氏（15分） ⇒実践報告を踏まえたテーマに対するコメント：中氏、古市氏（5分）（計 20分）
13:35～13:45	5. 会場からの質問対応（10分）
13:45～14:00	6. コメント、まとめ：川島先生（15分）

14:00～14:15	【休憩(15分)】
-------------	-----------

【後半：演習・事前課題の検討】（計 90 分）

◎事前課題をもとに、社会資源とネットワーク開発（出口づくり）について検討する。

14:15～14:20	1. 演習の目的・進め方：原田先生（5 分）
14:20～14:35	2. 各グループでの事前課題の報告・共有、検討事例の選定（2 分×6 人+α：15 分）
14:35～15:25	3. グループ協議：社会資源とネットワーク開発〔出口づくり〕を考える（50 分）
15:25～15:45	4. グループ協議の発表、コメント：原田先生、川島先生、森脇氏、古市氏、中氏 (20 分)

※6 人の島形式で、ワークシート（A1 版）1 枚、プロッキー1 セット、（付箋（赤、青）は事前配付済）

◆研修資料：

①実践報告資料（各 15 分）

- ・実践報告・テーマ 1：多職種連携・チームとしての支援（中氏）
- ・実践報告・テーマ 2：多機関協働、協働の中核を担う役割（古市氏）
- ・実践報告・テーマ 3：「地域セーフティネット」の構築と実践（森脇氏）

②演習（後半）におけるグループ協議のワークシート（原田先生）

③コメントに必要な資料（川島先生）

④事前課題シート（参加者各位が持参、グループで配布）

◆科目：【講義と演習⑦】研修の振り返り・まとめ

◆日時：＜3 日目＞ 8/24（金） 15：55～16：55 （60 分）

◆登壇者：日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏

◆学びのポイント：○3 日間の研修を振り返り・まとめ

- 生活困窮者自立支援制度の理念
- 地域共生社会の実現に向けた社会福祉法の改正
- 求められるソーシャルワーク

◆講義形式

生活困窮者自立支援制度における主任相談支援員の役割

- 個人への丁寧な相談支援とともに、地域づくりを視野に入れた、チームによる包括的な支援体制を整備する視点を持つ必要がある。
 - 社会資源が不足している場合には、地域の関係機関のネットワークを強化したり、新たに社会資源を開発することが求められる。
 - なお、支援困難事例に対応するとともに、スーパービジョンや人材養成を通して、支援の抜け漏れや偏りを防ぐことも重要である。
 - また、支援員一人一人が自らの専門性を発揮し、より良い実践を展開していけるよう、職場づくりやリスクマネジメントにも取り組む必要がある。
- ⇒ 主任相談支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践しよう。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 支援困難な事案への対応
- ・ 高度な相談支援の展開
- ・ 包括的、個別的、早期的、継続的、創造的な支援の実施

“しっかり”

相談業務のマネジメント

- ・ スーパービジョンや人材育成
- ・ 支援内容及び進捗状況の確認、助言、指導
- ・ 業務全体のリスクマネジメント
- ・ 理念の共有に向けた働き掛け
- ・ リーダーシップの発揮

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 関係機関との連携、協働
- ・ 自立相談支援事業と任意事業との一体的支援
- ・ より良い職場づくり
- ・ 相談支援員、就労支援員との協働・支援

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者とのネットワークの構築
- ・ 働く場、参加する場の開拓
- ・ 地域住民への普及、啓発活動
- ・ 地域の支援レベルの向上に向けた取組

平成30年度【後期】主任相談支援員養成研修 学びの見取り図

“きちんと”			“しっかり”				“みんな”				“つながる・つくる”				
丁寧な相談支援			相談業務のマネジメント				チームによる支援				社会資源の活用と開発				
支援困難な事 案への対応	高度な相談 支援の展開	包括的、個別化、 継続的、創造的な支援の実施	スーパービジョ ンや人材育成	支援内容及び進 捗状況の確認、助 言、指導	業務全体 のリスク マネジメント	資金の共有に 向けた働きかけ	リーダー シップの 発揮	関係機関との 連携、協働	自立相談支援事業と任意事 業との一体的支援	より良い職 場づくり	相談支援員、就労 支援員との協働・支 援	関係機関・若と のネットワークの 構築	地域住民への音 及、啓発活動	働く場、参加 する場の開 拓	地域の支援レベルの向 上に向けた取り組み
1 日目	【講義と演習①】 生活困窮者支援と地域づ くりの意義					○		○	○			○	○	○	○
	【講義と演習②】 職員の資質向上と職場 (組織)づくり		○	○	○	○	○			○					
2 日目	【講義と演習③】 事例検討の意義と理解	○	○				○	○	○			○		○	○
	【講義と演習④】 スーパービジョンの実際	○	○	○	○	○	○			○					
3 日目	【講義と演習⑤】 個を支える地域づくり			○				○				○	○		○
	【講義と演習⑥】 社会資源とネットワークの 開発		○			○		○				○	○	○	○
	【講義と演習⑦】 研修の振り返り・まとめ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3【後期】相談支援員養成研修

≪【後期】相談支援員養成研修【第1回 プログラムシート】≫

■期日 10月17日（水）～10月19日（金） ■受講者数 230名 ■会場 全社協・中央福祉学院

■会場の着席形式 3日間終日6人のグループ形式で着席する。全39グループ。

（基本3人組（一部2人組）で1テーブル・No.1～78）

1日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく（ストレンジャー）

2,3日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる（2,3日目は同じグループ）

*人口規模別のグループ・・・人口30万人以上の市区（No.1～20）

人口10万人以上30万人未満の市区（No.21～40）

人口10万人未満の市区（No.41～68）

町村および県や郡などの広域対象（No.69～78）

■備品 受講者には予め青の付箋を配付している

■各プログラムの詳細

◆科目：【講義と演習①】個別支援の基本

◆日時等：【第1日目】10月17日（水）13:40-14:40（研修60分）

◆登壇者：市川市生活サポートセンターそら（so-ra） 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏

◆学びのポイント：○個別支援の基本姿勢について学ぶ。

○援助関係を構築するとはどういう意味を持つのか、構築することでどういう援助が可能になるのかを学ぶ。

○【前期共通】の振り返りと、【後期】相談支援員研修の導入の位置づけで行う。

◆ステージ：（下手側）演台

◆備品：なし

◆研修資料：〔第1回〕朝比奈氏レジュメ

◆科目：【講義と演習②】個を支える地域づくり

◆日時等：【第1日目】10月17日（水）14:50-18:05（研修180分+休憩15分）

◆登壇者：武庫川女子大学 文学部心理・社会福祉学科 教授 松端 克文 氏

静岡県社会福祉協議会 静岡市暮らし・しごと相談支援センター 所長 安藤 千晶 氏

◆学びのポイント：○個別支援から地域を面で捉えた支援につなげていくために必要な視点や技法を学ぶ。

○支援の実践例をもとに、地域のインフォーマルな資源の展開や、コミュニティアセスメントの視点を学ぶ。

◆ステージ：（下手側）演台、机2本

◆進行

①予め配布する資料：

講義レジュメ、報告レジュメ、事例（1～4枚目まで）

②休憩後に配布する資料： 事例（スライド5・6枚目）

進行時刻	内容
14:55-15:15	① 事務局より プログラムの趣旨説明（5分） 以降、松端先生進行
	② 松端氏より「個を支える地域づくり」についての概要を講義（15分）
15:15-15:30	③ 安藤氏より「地域を基盤とした相談支援のあり方」について、暮らし・しごと相談支援センターの紹介も兼ねて講義（15分）
15:30-15:35	④ アイスブレイクとグループごとの自己紹介（5分） <u>松端先生</u>
15:35-15:45	⑤ 「事例」の共有（10分） <u>安藤氏</u> 事例の概要を紹介（PP4枚目まで）
15:45-15:55	⑥ 個人ワーク（10分）【ワーク1】 この事例をどのように診立てるか（アセスメント） ・この事例を世帯の今後の生活を見据えて、見立てる（アセスメントする） ・専門職としてどのように支援していくべきだと考えるか →ワークシート（ワーク1）に記入する
15:55-16:25	⑦ グループワーク（25分）【ワーク2】 <u>6人</u> グループで、アセスメントについて共有し、新たに気づいたことをワークシート（ワーク2）に記入する。 ——休憩（15分）——
16:40-16:50	⑧ 事例 その後の展開についての報告（10分） <u>安藤氏</u> PP後半の2枚に基づいて
16:55-17:15	⑨ グループワーク（20分）【ワーク3】 事例における実際の展開をふまえて、「個を支える地域づくり」に必要な支援について、「多職種連携」と「インフォーマルな資源」をキーワードにして話し合い、グループとしての意見をまとめる
17:15-17:35	⑩ グループごとの発表（20分） *4グループ程度
17:35-17:45	⑪ 提示した事例での地域を基盤とした相談支援のポイントについての解説（10分） <u>安藤氏</u>
17:45-18:05	⑩ まとめ（20分） <u>松端先生</u>

◆科目：【講義と演習③】「相談支援の展開」

◆日時：＜2日目＞10/18（木）9：00～16：15

＜3日目＞10/19（金）9：00～15：05

◆登壇者：

【コーディネーター】

- ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏

【コメンテーター】

- ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏
- ・福島県立医科大学 特任准教授 八木 亜紀子 氏

【演習協力者】

- ・四街道市社会福祉協議会 及川 哲 氏
- ・いちほら生活相談サポートセンター 大戸 優子 氏
- ・鶴ヶ島市社会福祉協議会 藤川 雄一 氏

◆講義のポイント

○相談支援における考え方や必要な視点について、事例を通じて学ぶ

◆進行

時間	展開	担当
9:00～9:10	導入（プログラムのねらい、進め方について等）	空閑先生
9:10～9:25	《セッション0：各グループの地域設定》 ◆事例の地域設定 ワーク0 ①各グループでこれから進めていく事例の地域設定を行い、 シート0① に人口規模、高齢化率等を記入し、 シート0② に、 設定した地域にある社会資源について記入する。	空閑先生
9:25～10:30	《セッション1：包括的な相談受付》 ◆初回面談でのポイント ワーク1（65分）	ワーク1、2
9:25～9:40	① 事例シート1 を読んで、 ワークシート1 を記入 （個人ワーク）（15分）	【コーディネーター】 空閑先生
9:40～10:00	②グループのなかで共有（グループワーク）（20分）	【コメント】
10:00～10:20	③発表（20分）	（第1回）
10:20～10:30	④まとめ（10分）	朝比奈氏、八木先生 （第2回）
	*相談受付・申し込み票配布（④まとめ時）	朝比奈氏、上原氏

時間	展開	担当
10:30～10:45	休憩（15分） *事例シート2、ワークシート2配布（セッション2①開始前）	
10:45～12:35	《セッション2：アセスメント》 ◆①面接過程と今後の支援 ワーク2（110分） ①セッションのねらいについて（10分） ②事例シート2を聞いて、ワークシート2を記入（個人ワーク）（20分+15分） ③グループのなかで共有（グループワーク）（25分） ④発表（25分） ⑤まとめ（15分）	
12:35～13:35	昼食休憩（60分） *事例シート3、ワークシート3、インテーク・アセスメントシート（個人用（A4））、グループ用（A1）配布	
13:35～13:55	◆ ミニ講義1 援助関係（20分） ※みずほ情報総研資料（「本人理解にもとづく相談支援の考え方」）の説明 ※事例のここまでの展開の振り返り	ミニ講義1 朝比奈氏
13:55～16:50	◆②インテーク・アセスメントシートの記入 ワーク3（160分+休憩15分） ①事例シート3を聞いて、インテーク・アセスメントシートの「本人の主訴・状況」、「課題と背景要因」を記入（個人ワーク）（20分） ②グループでA1のインテーク・アセスメントシートの「課題と背景要因」をグループで検討する。（20分） ③「※課題のまとめと支援の方向性」、「※チェック項目」に記入（グループワーク）（60分） ⇒（休憩時間：15分）発表グループを演習協力者から各2グループ推薦してもらい、デジカメで撮影。 ④発表（6グループ程度）（25分） ⑤「課題のまとめと支援の方向性のポイント」の解説（15分）	ワーク3 【コーディネート】 空閑先生 ワーク3 【コメント】 （第1回） 朝比奈氏、八木先生 （第2回） 朝比奈氏、上原氏

時間	展開	担当
16:30～16:50	※プランシートとともに事例のその後の展開について説明し、アセスメントしてきた事例が、どのような経緯、考えて提示しているプランとなったのかを説明する。 ⑥まとめ（20分） *記入済みインテーク・アセスメントシート(参考資料)、プランシート配布（⑥解説時）	

研修3日目

時間	展開	担当
9:00～10:45	*ワークシート4 配布(受付にて配布) 《セッション3：プラン実行》 ◆プランシートの作成 ワーク4（110分） ①ワークの進め方、プランシートの説明（15分） ②プランをもとに、ワークシート4を記入（個人ワーク）（20分） ③グループのなかで共有（グループワーク）（30分） ④発表（25分） ⑤まとめ（15分）	ワーク4 【コーディネート】 （第1回）空閑先生 （第2回）上原氏 【コメント】 （第1回） 朝比奈氏、八木先生 （第2回） 空閑先生、上原氏
10:45～11:00	休憩（15分）	
11:00～11:20	◆ ミニ講義2 多機関との連携（20分）	
11:20～11:30	《セッション4：評価・終結》 ◆ミニ講義3終結について（10分） 個から地域へ、資源探し・開発	ミニ講義2 第1回：空閑先生 第2回：上原氏
11:30～12:20	屋食休憩(50分) *事例シート④、ワークシート⑤(個人ワーク用)、模造紙配布（セッション4開始前）	ミニ講義3 第1回：朝比奈氏 第2回：上原氏
12:20～14:50	◆終結について ワーク5（135分+休憩15分） ①事例シート4を読んで、ワークシート5を記入（個人ワーク）（25分） ②グループのなかで共有（グループワーク） *模造紙（60分）⇒適宜休憩（13:55～14:10）	ワーク5 【コーディネート】 第1回：空閑先生

14:10～14:30	③発表（20 分）	第 2 回：上原氏
14:30～14:50	④まとめ（20 分）	【コメント】
		（第 1 回）
14:50～15:05	《全体まとめ》（15 分）	朝比奈氏、八木先生
		（第 2 回）
		朝比奈氏

生活困窮者自立支援制度における相談支援員の役割

- 相談者は自尊心や自己有用感を喪失していることから、相談者との信頼関係を構築し、ストレングス視点を持って支援を展開していくことが重要である。
 - また、良い支援を支援者に提供するためには、関係機関と連携しチームアプローチによる支援を展開していくことが求められる。
 - なお、社会資源が不足している場合には、地域の関係機関のネットワークを強化したり、新たに社会資源を開発していく視点を持つ必要がある。
- ⇒ 相談支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践しよう。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- ・ 支援のコーディネートと適切な支援の提供
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングスに着目した本人主体の支援

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 主任相談支援員、就労支援員との協働
- ・ 関係機関との連携、協働
- ・ 自立相談支援事業と任意事業との一体的支援

“ずっと”

切れ目のない支援

- ・ アウトリーチによる発見・支援
- ・ 寄り添いながらの包括的、継続的支援
- ・ 定着支援や終結後のフォローアップ
- ・ 見守りのネットワークの構築

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 各種制度や地域資源に関する情報収集と活用
- ・ 関係機関・者のネットワークの構築
- ・ 働く場、参加する場の開拓

【後期】相談支援員養成研修 学びの見取り図

平成30年度【後期】相談支援員養成研修 学びの見取り図

	“まちゃん”				“ずっど”				“みんな”		“つながる”		
	丁寧な相談支援				切れ目のない支援				チームによる支援		社会資源の活用と開発		
科目	包括的な相談 受付、アセス メント、プラン 作成	支援のコー ディネートと適 切な支援の提 供	信頼関係の構 築と自尊感、 自己有用感、 自己有用感の 回復に向けた 支援	ストレスに 着目した本人 主体の支援	アウトリーチに 寄り添いなが らの包括的、 継続的支援	定着支援や終 結後のフォ ローアップ	見守りのネッ トワークの構 築	主任相談支援 員、就労支援 員との協働	関係機関との連 携、協働	自立相談支援事 業と任意事業と の一体的支援	関係機関・者 とのネットワーク の構築	各種制度や地 域資源に関す る情報収集と 活用	働く場、参加 する場の開拓
1日目	【講義と演習①】 個別支援の基本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日目	【講義と演習②】 個を支える地域づくり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日目	【講義と演習③】 相談支援の展開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【後期】相談支援員養成研修（第1回） 研修会の様子



《【後期】相談支援員養成研修【第2回】プログラムシート》

■期日 11月19日（月）～11月21日（水） ■受講者数 197名 ■会場 OMM・Aホール

■会場の着席形式 3日間終日6人のグループ形式で着席する。全34グループ。

（基本6人組（一部5人組）でNo.1～34）

1日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく（ストレンジャー）

2,3日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる（2,3日目は同じグループ）

*人口規模別のグループ・・・人口30万人以上の市区（No.1～7）

人口10万人以上30万人未満の市区（No.8～15）

人口10万人未満の市区（No.16～29）

町村（No.30～31）

県や郡などの広域対象（No.32～34）

■備品 受講者には予め青の付箋を配付している

■各プログラムの詳細

◆科目：【講義と演習①】個別支援の基本

◆日時等：11月19日（月）13:40-14:40（研修60分）

◆登壇者：同志社大学 教授 空閑 浩人 氏

◆学びのポイント：○個別支援の基本姿勢について学ぶ。

○援助関係を構築するとはどういう意味を持つのか、構築することでどういう援助が可能になるのかを学ぶ。

○【前期共通】の振り返りと、【後期】相談支援員研修の導入の位置づけで行う。

◆ステージ：（下手側）演台

◆備品：なし

◆研修資料：〔第2回〕空閑氏レジュメ

◆科目：【講義と演習②】個を支える地域づくり

◆日時等：11月19日（月） 14:50-18:05（OMM・Aホール）研修 180分＋休憩 15分

◆登壇者：武庫川女子大学 文学部心理・社会福祉学科 教授 松端 克文 氏

静岡市社会福祉協議会 静岡市暮らし・しごと相談支援センター 所長 安藤 千晶 氏

◆学びのポイント：○個別支援から地域を面で捉えた支援につなげていくために必要な視点や技法を学ぶ。

○支援の実践例をもとに、地域のインフォーマルな資源の展開や、コミュニティアセスメントの視点を学ぶ。

◆ステージ：（下手側）演台、机2本

◆進行

①予め配布する資料：

講義レジュメ、報告レジュメ、事例（1～4枚目まで）

②休憩後に配布する資料： 事例（スライド5・6枚目）

進行時刻	内容
14:55-15:15	① 事務局より プログラムの趣旨説明（5分） 以降、松端先生進行
	② 松端氏より「個を支える地域づくり」についての概要を講義（15分）
15:15-15:30	③ 安藤氏より「地域を基盤とした相談支援のあり方」について、暮らし・しごと相談支援センターの紹介も兼ねて講義（15分）
15:30-15:35	④ アイスブレイクとグループごとの自己紹介（5分） <u>松端先生</u>
15:35-15:45	⑤ 「事例」の共有（10分） <u>安藤氏</u> 事例の概要を紹介（PP4枚目まで）
15:45-15:55	⑥ 個人ワーク（10分）【ワーク1】 この事例をどのように診立てるか（アセスメント） ・この事例を世帯の今後の生活を見据えて、見立てる（アセスメントする） ・専門職としてどのように支援していくべきだと考えるか →ワークシート（ワーク1）に記入する
15:55-16:25	⑦ グループワーク（25分）【ワーク2】 <u>6人</u> グループで、アセスメントについて共有し、新たに気づいたことをワークシート（ワーク2）に記入する。 ——休憩（15分）——
16:40-16:50	⑧ 事例 その後の展開についての報告（10分） <u>安藤氏</u> PP後半の2枚に基づいて
16:55-17:15	⑨ グループワーク（20分）【ワーク3】 事例における実際の展開をふまえて、「個を支える地域づくり」に必要な支援について、「多職種連携」と「インフォーマルな資源」をキーワードにして話し合い、グループとしての意見をまとめる
17:15-17:35	⑩ グループごとの発表（20分） *4グループ程度
17:35-17:45	⑪ 提示した事例での地域を基盤とした相談支援のポイントについての解説（10分） <u>安藤氏</u>
17:45-18:05	⑫ まとめ（20分） <u>松端先生</u>

◆科目：【講義と演習③】「相談支援の展開」

◆日時：＜2日目＞11/20（火）9：00～16：15

＜3日目＞11/21（水）9：00～15：05

◆登壇者：

【コーディネーター】

- ・同志社大学 教授 空閑 浩人 氏（3日目は朝比奈氏）

【コメンテーター】

- ・市川市生活サポートセンターそら（so-ra） 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏
- ・聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり所長 上原 久 氏

【演習協力者】

- ・福岡市就労自立支援センター 安達 一徳 氏
- ・米原市役所 石田 育子 氏
- ・滋賀県湖東健康福祉事務所 ムルカン 実香 氏

◆講義のポイント

○相談支援における考え方や必要な視点について、事例を通じて学ぶ

◆進行

時間	展開	担当
9:00～9:10	導入（プログラムのねらい、進め方について等）	空閑先生
9:10～9:25	《セッション0：各グループの地域設定》 ◆事例の地域設定 ワーク0 ①各グループでこれから進めていく事例の地域設定を行い、 シート0① に人口規模、高齢化率等を記入し、 シート0② に、 設定した地域にある社会資源について記入する。	空閑先生
9:25～10:30	《セッション1：包括的な相談受付》 ◆初回面談でのポイント ワーク1（65分）	ワーク1、2
9:25～9:40	① 事例シート1 を読んで、 ワークシート1 を記入 （個人ワーク）（15分）	【コーディネーター】 空閑先生
9:40～10:00	②グループのなかで共有（グループワーク）（20分）	【コメント】
10:00～10:20	③発表（20分）	（第1回）
10:20～10:30	④まとめ（10分）	朝比奈氏、八木先生 （第2回）
	*相談受付・申し込み票配布（④まとめ時）	朝比奈氏、上原氏

時間	展開	担当
10:30～10:45	休憩（15分） *事例シート2、ワークシート2配布（セッション2①開始前）	
10:45～12:35	《セッション2：アセスメント》 ◆①面接過程と今後の支援 ワーク2（110分） ①セッションのねらいについて（10分） ②事例シート2を聞いて、ワークシート2を記入 （個人ワーク）（20分+15分） ③グループのなかで共有（グループワーク）（25分） ④発表（25分） ⑤まとめ（15分）	
12:35～13:35	昼食休憩（60分） *事例シート3、ワークシート3、インテーク・アセスメントシート（個人用（A4））、グループ用（A1）配布	
13:35～13:55	◆ミニ講義1 援助関係（20分） ※みずほ情報総研資料（「本人理解にもとづく相談支援の考え方」）の説明 ※事例のここまでの展開の振り返り	ミニ講義1 朝比奈氏
13:55～16:50	◆②インテーク・アセスメントシートの記入 ワーク3（160分+休憩15分）	
13:55～14:15	①事例シート3を聞いて、インテーク・アセスメントシートの「本人の主訴・状況」、「課題と背景要因」を記入（個人ワーク）（20分）	ワーク3 【コーディネート】 空閑先生
14:15～14:35	②グループでA1のインテーク・アセスメントシートの「課題と背景要因」をグループで検討する。（20分）	ワーク3 【コメント】 （第1回）
14:35～15:35	③「※課題のまとめと支援の方向性」、「※チェック項目」に記入（グループワーク）（60分）	朝比奈氏、八木先生
15:35～15:50	⇒（休憩時間：15分）発表グループを演習協力者から各2グループ推薦してもらい、デジカメで撮影。	（第2回） 朝比奈氏、上原氏
15:50～16:15	④発表（6グループ程度）（25分）	
16:15～16:30	⑤「課題のまとめと支援の方向性のポイント」の解説（15分） ※プランシートとともに事例のその後の展開について説明	

時間	展開	担当
16:30～16:50	し、アセスメントしてきた事例が、どのような経緯、考えて提示しているプランとなったのかを説明する。 ⑥まとめ（20分） * 記入済みインテーク・アセスメントシート(参考資料)、プランシート配布（⑥解説時）	

研修3日目

時間	展開	担当
9:00～10:45	*ワークシート4 配布(受付にて配布) 《セッション3：プラン実行》 ◆プランシートの作成 ワーク4（110分）	ワーク4
9:00～9:15	①ワークの進め方、 プランシート の説明（15分）	【コーディネート】
9:15～9:35	②プランをもとに、 ワークシート4 を記入（個人ワーク）（20分）	（第1回）空閑先生 （第2回）上原氏
9:35～10:05	③グループのなかで共有（グループワーク）（30分）	
10:05～10:30	④発表（25分）	【コメント】
10:30～10:45	⑤まとめ（15分）	（第1回） 朝比奈氏、八木先生
10:45～11:00	休憩（15分）	（第2回） 空閑先生、上原氏
11:00～11:20	◆ ミニ講義2 多機関との連携（20分）	
11:20～11:30	《セッション4：評価・終結》	ミニ講義2
11:30～12:20	◆ミニ講義3終結について（10分） 個から地域へ、資源探し・開発 屋食休憩(50分) * 事例シート④、ワークシート⑤(個人ワーク用)、模造紙配布（セッション4開始前）	第1回：空閑先生 第2回：上原氏 ミニ講義3 第1回：朝比奈氏 第2回：上原氏
12:20～14:50	◆終結について ワーク5（135分+休憩15分）	
12:20～12:30	① 事例シート4 を読んで、 ワークシート5 を記入	ワーク5
12:30～12:55	（個人ワーク）（25分）	【コーディネート】
12:55～13:55	②グループのなかで共有（グループワーク） *模造紙 （60分）⇒適宜休憩（13:55～14:10）	（第1回）空閑先生 （第2回）上原氏
14:10～14:30	③発表（20分）	

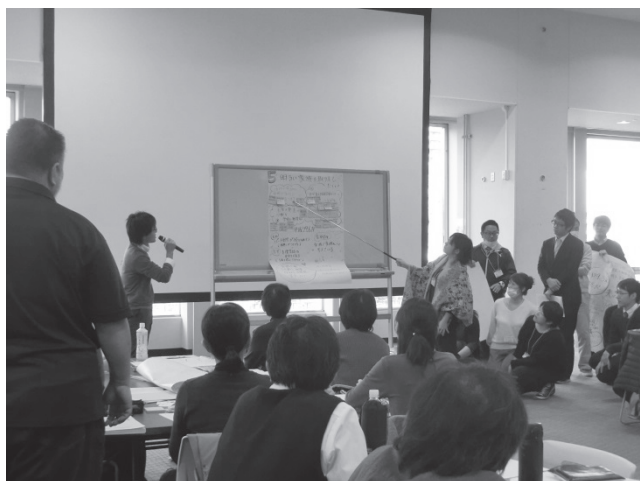
14:30～14:50	④まとめ（20 分）	【コメント】
14:50～15:05	《全体まとめ》（15 分）	（第 1 回） 朝比奈氏、八木先生 （第 2 回） 朝比奈氏

【後期】相談支援員養成研修(第2回) 学びの見取り図

平成30年度【後期】相談支援員養成研修 学びの見取り図

		“きちんと”				“ずっと”				“みんな”			“つながる・つくる”		
		丁寧な相談支援				切れ目のない支援				チームによる支援			社会資源の活用と開発		
科目	講師	包括的な相談 受付、アセス メント、プラン 作成	支援のコー ディネートと適 切な支援の提 供	信頼関係の構 築と自尊心 情、自己有用 性の回復に向 けた支援	スレンダスに 着目した本人 主体の支援	アウトリーチに よる発見・支 援	らに寄り添いなが らに包括的、 継続的支援	定着支援や終 結後のフォ ローアップ	見守りのネッ トワークの構 築	主任相談支援 員、就労支援 員との協働	関係機関との連 携、協働	自立相談支援 員と任意事業 との一体的支援	関係機関・者 とのネットワー クの構築	各種制度や地 域資源に関す る情報収集と 活用	働く場、参加 する場の開拓
【講義と演習①】 個別支援の基本	同志社大学 教授 空閑 浩人 氏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	武庫川女子大学 教授 松端 克文 氏 静岡市社会福祉協議会 静岡市暮らしごと相談支援 センター 所長 安藤 千晶 氏														
【講義と演習②】 働きを支える地域づくり	同志社大学 教授 空閑 浩人 氏 市川市生涯サポートセンターそら (sora) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センタ つながり 所長 上原 久 氏 福岡市就労自立支援センタ センター長 安達 一徳 氏 米原市役所 健康福祉社会福祉課 主幹 石田 育子 氏 滋賀県健康福祉事務所 主任相談支援員 ムルカン 実希 氏														
【講義と演習③】 相談支援の展開		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【後期】相談支援員養成研修（第2回） 研修会の様子



《【後期】就労支援員養成研修 プログラムシート》

■期日：12月5日（水）～12月7日（金） ■受講者数：180名 ■会場：中央福祉学院（ロフォス湘南）

■会場の着席形式：机1本に3人のグループで着席する。3日間終日机を2本合わせたグループ形式で進行。

1,3日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる。1,3日目は同じグループ。

2日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく

■各プログラムの詳細

◆科目：【講義と演習①】はじめに

◆日時等：12月5日（水）13:10-14:40（90分）

◆登壇者：【講師】 明治学院大学 教授 新保 美香 氏

◆学びのポイント：○前期の振り返り

○生活困窮者自立支援制度における就労支援の内容の確認

○後期研修の目的

○「支援を育てる」事例の確認と共有（事前課題に基づき事例を共有する）

◆科目：【行政説明】生活困窮者自立支援制度における就労支援について

◆日時等：12月5日（水）14:55-15:40（45分）

◆登壇者：【講師】 厚生労働省社会・援護局 地域福祉課生活困窮者自立支援室
室長補佐 米丸 洋 氏

◆学びのポイント：○生活困窮者自立支援における就労支援

◆科目：【講義と演習②】アウトリーチの実際と危機管理

◆日時：12月5日（水）15:55～18:05（130分）

◆登壇者：【講師】 NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏

◆学びのポイント：○アウトリーチの実際

○危機管理の視点など

◆科目：【講義と演習③】地域づくり、自治体による就労支援について

◆日時等：12月6日（木）9:00～11:00（120分）

◆登壇者：【コーディネーター】九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

【報告者】・釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏

・A' ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）就労支援室長 西岡 正次 氏

◆学びのポイント：○就労支援を通じた地域づくりや自治体の役割について、考え方と実践を学ぶ。

◆ステージレイアウト：（下手）加留部先生（スクリーン）櫛部氏、西岡氏（上手）

◆進行

進行時刻	内容
9:00～9:05	<u>1 導入:趣旨説明及び登壇者紹介:加留部先生(5分)</u>
9:05～9:20	<u>2 櫛部氏報告(15分)</u>
9:20～9:35	<u>3 西岡氏報告(15分)</u>
9:35～10:55	<u>4 コメンテーターのやり取り、バズセッション、質疑応答(80分)</u>
10:55～11:00	<u>6 まとめ(5分)</u> ・講師より受講者へメッセージ

◆科目:【講義と演習④】多様なメニューづくり

◆日時等:12月6日(木)11:10～12:35(85分)

◆登壇者:【講師】 沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナルサポートセンター
統括責任者 名嘉 泰 氏

◆学びのポイント:○プログラム作りの方法や考え方
○スモールステップを意識した支援の考え方
○就労準備支援事業所との連携についても触れる

◆科目:【講義と演習⑤】企業訪問、開拓について

◆日時等:12月6日(木)14:35～14:55(55分)

◆登壇者:【講師】 一般社団法人 パーソナルサポートセンター
常務理事 立岡 学 氏

◆学びのポイント:○企業開拓について
○就労支援員の心構え

◆科目:【講義と演習⑥】「環境支援型」就労支援 ～企業とのチーム支援の手法～

◆日時等:12月6日(木)14:45～17:00(135分)(休憩含む)

◆登壇者:【報告者】一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏

◆学びのポイント:○企業開拓の手法について
○企業の選択、本人のプロフィールシートや顔合わせの方法について

◆進行

分		内容	テキスト	演習
10	1	生活困窮者の就労支援における基本姿勢	○	
14:45 － 14:55		◇理念： 生活困窮者を社会にとって 「なくてはならない人」と捉える就労支援 ◇基本姿勢 ① 本人を変えない、「環境」を合わせる ② 企業と本人の「文化」を大切にする ② 「働きたい」という想いを叶えるために 「生活支援」も視野に入れる	・ 解説資料（PP）	
15	2	「環境支援型」就労支援の流れの説明	○	
14:55 － 15:10		①インテークによる動機付け ②面談等による本人アセスメント ③プロフィールシートの作成（本人アセスメントの落とし込み） ④企業選択（ハローワーク訪問）と企業開拓 ⑤企業訪問による企業文化のアセスメント ⑥顔合わせによる環境支援の調整（実習シートの作成） ⑦実習等による最終調整 ⑧定着支援	・ 従来型キャリア支援 と環境支援型の違い（解説） ・ 企業文化チェックシート	
35	3	本人のアセスメント		○
15:10 － 15:45		①本人のアセスメント a. 困難さの見極め / b. ストレngthsの発見 / c. 生活環境のチェック ②プロフィールシートの作成 ③企業文化の見極め		・ 7つの困難タイプ ・ 生活支援チェックリスト ・ プロフィールシート ・ ストレngths発見シート ・ 企業文化見極めシート
30	4	企業開拓と企業アセスメント		○
15:45 － 16:15		①企業選択の方法（優先順位のつけかた） ②企業開拓トークの作成 ③4つの企業文化の見極め（企業訪問）		・ 企業事例（表紙） ・ トークマニュアル ・ 企業事例（内容） ・ 企業文化チェックシート
5		休憩		
25	5	マッチングと環境設定 ～企業と本人の文化を大切にした環境支援～		○
16:20 － 16:45		①ストレngthsから見る業務の選択 ②業務から見た本人の困難抽出 ③環境設定のアイデア出し		・ 情報出しシート&ふせん ・ 環境設定対応表
16:45 － 17:00	6	まとめ		

◆科目：【講義と演習⑦】就労支援における出口づくり～企業へのアプローチ

◆日時等：12月8日（金）9:00-10:05（65分）

◆登壇者：東近江圏域 働き・暮らし応援センター “Tekito-”

センター長 野々村 光子 氏

主任補佐 辻村 達久 氏

職長 松原 武男 氏

◆学びのポイント：○企業支援の視点について

○企業との関わり方について

◆科目：【講義と演習⑧】地域をつくる就労支援

◆日時等：12月8日（金）10:20～11:25（65分）

◆登壇者：NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡

理事長 津富 宏 氏

◆学びのポイント：就労支援を通じた地域づくりを学ぶ。

◆科目：【講義と演習⑨】研修全体のまとめ

◆日時等：12月8日（金）12:25-14:25（120分）

◆登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◆学びのポイント：総合演習 受講者自ら就労支援を組み立てる

◆備品：付箋、模造紙（6人グループ1枚）、プロッキー（6人グループ1つ）

◆進行：

進行時刻	内容
12:25～12:35	1. 導入 趣旨説明（10分）
	2. 振り返り演習（合計35分）
12:35～12:45	①個人ワーク（10分）支援検討シートに支援を育てるシートの内容を追記する
12:45～12:55	②個人ワーク（10分）1年後、半年後、3か月後の見通し記入（各3分×3回）
12:55～13:10	③グループワーク（15分）支援の見通し（タイムマシーン法）を3名で共有
	3. これからに向けた演習（ワールドカフェ方式）（合計75分）
	テーマ：これからの就労支援であなたが踏み出したい第一歩は何ですか？
13:10～13:30	①グループワーク1（20分）模造紙に記入
13:30～13:50	②グループワーク2（20分）一人を残して他グループに移動して模造紙に記入
13:50～14:05	③グループワーク3（15分）グループに戻り、情報を共有して模造紙に記入
14:05～14:10	④個人ワーク（5分）「あなたが持ち帰って、他職員に伝えたいキーワードは何ですか」を付箋に記入
14:10～14:25	① 講師まとめ（15分）

生活困窮者自立支援制度における就労支援

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊心や自己有用感を喪失している。

このため、本制度における就労支援は、常に本人を起点とし、

- ・ 就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、包括的な支援の一環として展開する。
- ・ 本人の状態に合わせ、必要に応じてステップアップも意識しながら支援する。

⇒ 就労支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングズに着目した支援
- ・ 就労意欲の喚起

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 主任相談支援員、相談支援員との協働
- ・ 就労準備支援事業等の活用
- ・ ハローワークその他の関係機関・者との協働

“ずっと”

切れ目のない支援

- ・ アウトリーチによる発見・支援
- ・ 多様なプログラムの用意
- ・ 個別のニーズに応じた職業紹介
- ・ 定着支援と企業支援

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者のネットワークの構築
- ・ 企業との関係づくり
- ・ 中間的就労や実習場所等の開拓
- ・ 居場所づくり
- ・ 町おこし、地域づくり

【後期】就労支援員養成研修 学びの見取り図

平成30年度【後期】就労支援員養成研修 学びの見取り図																		
	科目	講師	“きちんと”			“みんなで”			“すっど”			“つながる、つくる”						
			丁寧な相談支援	包括的な相談受付け、アセスメント、プラン作成	信頼関係の構築と自尊感情、自己有用感の回復に向けた支援	就労意欲の喚起	主任相談支援員、相談支援員との協働	チームによる支援	ハローワークその他の関係機関・者との協働	アウトリーチによる発見・支援	多様なプログラムへの留意	切れ目のない支援	定着支援と企業支援	関係機関・者のネットワークの構築	企業との関係づくり	中間的就労や実習場所等の開拓	居場所づくり	町おこし、地域づくり
1日目	【講義と演習①】はじめに	明治学院大学 新保美香氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【行政説明】生活困窮者自立支援制度における就労支援について	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 米丸洋氏																
	【講義と演習②】アウトリーチの実際と危機管理	NPOスチューデント・サポート・フェイス 谷口仁史氏	○			○				○			○			○		
	【講義と演習③】地域づくり、自治体による就労支援について	・九州大学 加留部貴行氏 ・創設社会的企業創造協議会 榎部武俊氏 ・A'ワーク創造館(大阪)地域職業訓練センター 就労支援室 西岡正次氏																
2日目	【講義と演習④】多様なメニューづくり	沖縄県労働者福祉基金協会 那覇市パーソナルサポートセンター 名嘉泰氏	○	○		○												
	【講義⑤】企業訪問、開拓について	一般社団法人 パーソナルサポートセンター 立岡学氏																
	【講義と演習⑥】「環境支援型」就労支援～企業とのチーム支援の手法～	草の根ささえあいプロジェクト 渡辺ゆかり氏																
	【講義⑦】就労支援における出口づくり～企業へのアプローチ～	東近江圏域 働き・暮らし応援センター 野々村光子氏																
3日目	【講義⑧】地域をつくる就労支援	NPO法人 青少年就労支援ネットワーク静岡 津富宏氏																
	【講義と演習⑨】研修全体のまとめ	・明治学院大学 新保美香氏 ・九州大学 加留部貴行氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【後期】就労支援員養成研修 研修会の様子



5 就労準備支援事業従事者養成研修

《就労準備支援事業従事者養成研修 プログラムシート》

■期日 10月3日（水）～5日（金） ■受講者数 135名 ■会場 タイム 24ビル

■会場の着席形式

最小単位を3人のグループとして、2つのグループ（計6人）で着席する。

■各科目の内容について

◆科目：【講義①】生活困窮者自立支援法と就労準備支援事業の基本的な考え方

◆日時：＜1日目＞ 10/3（水） 13：20～14：20（60分）

◆登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
室長補佐 米丸 洋氏

◆学びのポイント：○生活困窮者自立支援制度の創設背景、理念、事業概要等について簡単に説明する
○就労準備支援事業の目的と必要性を理解してもらうとともに、支援の内容と流れを説明する。
○具体的な実践例を紹介する。

◆科目：【講義②】これまでの取組実績と考え方

◆日時：＜1日目＞10/3（水） 14:20～15:05（45分）

◆登壇者：釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊氏

◆学びのポイント：○生活保護行政から生活困窮者制度に至るこれまでの取組と、その中で見えてきた就労準備支援事業の役割や意義について説明する。
○就労準備支援事業の基本的考え方や姿勢を理解するセッションとする

◆科目：【事例発表③】自立相談支援機関との連携

◆日時：＜1日目＞ 10/3（水） 15：25～16：50（85分）

◆登壇者：【コーディネーター】

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
生活困窮者対策官 菊地 英人 氏

【実践報告者】

・沖縄県労働者福祉基金協会

那覇市パーソナルサポートセンター 総括責任者 名嘉 泰 氏

・豊島区くらし・しごと相談支援センター 主任就労準備支援員 八木 孝道 氏

◆学びのポイント：○具体的な実践事例について学ぶ。

○自立相談支援機関との連携のあり方について考える機会とする。

進行：

進行時刻	内容
15:25～15:30	<u>1 導入：趣旨説明及び登壇者紹介（5分）</u>
15:30～16:10	<u>2 登壇者の取組紹介（お一人20分×2 計40分）</u> まず、それぞれの取組（プログラム内容や支援における工夫など）を紹介していただく。（順番は名嘉氏→八木氏）
16:10～16:20	<u>3 インタビュー（お一人5分×2 計10分）</u> ・コーディネーターより登壇者のお二人に質問（名嘉氏） ・意欲のない方へのアプローチ方法 ・集団プログラムのメリット ・送迎について（八木氏） ・意欲のない方へのアプローチ事例（成功例、失敗例） ・就労体験受入先企業へのアプローチ法 ・進路選択支援事業の利点と課題
16:20～16:40	<u>4 登壇者から追加で紹介（お一人10分×2 計20分）</u> ・自立相談支援機関との連携について工夫されていることを紹介
16:40～16:50	<u>5 まとめ（10分）</u> ・講師より受講者へメッセージ （菊地氏）まとめ 4分 （名嘉氏）メッセージ 3分 （八木氏）メッセージ 3分

◆科目：【事例発表④】就労体験を中心とした取り組み

◆日時：〈2日目〉10/4（木）9:30～10:55（85分）

◆登壇者：【コーディネーター】

厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室

自立支援専門調査員 平野 憲司 氏

【報告者】

・福岡県うきは市社会福祉協議会 地域福祉課 相談支援係 権藤 俊介 氏

・千葉県佐倉市 生活困窮者自立支援事業共同事業体

就労支援員兼就労準備支援員 小林 雄一 氏

◆学びのポイント：○具体的な実践事例について学ぶ。

○就労体験を中心とした取組について考える機会とする。

進行：

進行時刻	内容
9:30～9:35	1 導入：趣旨説明及び登壇者紹介（5分）
9:35～10:35	2 登壇者の取組紹介（お一人25分＋バズ5分）×2 計60分
10:35～10:45	3 登壇者から追加で紹介（お一人5分）×2 計10分 ・就労体験について工夫されていることを紹介
10:45～10:55	4 まとめ（10分） ・コーディネーターより登壇者へ質問及び受講者へメッセージ

◆科目：【講義と演習⑤】アウトリーチの実際と危機管理

◆日時：＜2日目＞ 10/4（木） 11：10～14：40（研修150分＋昼食60分）

◆登壇者：NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史氏

◆学びのポイント：○ひきこもりだった若者等を含めた支援の在り方や支援の視点について学ぶ。

○支援の過程における、アセスメントの方法について説明する。

◆科目：【講義⑥】対象者別の特性理解

◆日時：＜2日目＞ 10/4（木） 14：55～15：55（60分）

◆登壇者：レター・ポスト・フレンド 相談ネットワーク 理事長 田中 敦氏

◆学びのポイント：○40代、50代の大人のひきこもりの人の状況特性を理解する。

○心理状況やひきこもりに至るプロセスを理解する。

○ひきこもり脱却に向けた支援の方法やその現場の実態などを理解する。

◆科目【講義と演習⑪】本人の状態に応じた多様なメニュー開発

◆日時：＜3日目＞10/4（木） 16：05～17：55（110分）

◆登壇者：沖縄県労働者福祉基金協会

沖縄県おしごと応援センター One×One（ワンバイワン）

次長 岡野 みゆき 氏

◆学びのポイント：○就労準備支援プログラムの作成と多様な支援メニューの準備と開発について学ぶ。

○対象者の状態に合わせた支援メニューの必要性について理解する。

◆科目：【講義と演習⑧】企業開拓について

◆日時：＜3日目＞ 10/5（金）9：30～11：00（90分）

◆登壇者：【コーディネーター】

厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室 室長補佐 米丸 洋 氏

【実践報告者】

・ 京都自立就労サポートセンター 主任就労支援相談員 高橋 尚子 氏

◆学びのポイント：○企業開拓の手法及び実施するにあたってのポイントを理解する。

（就労体験の場所や実習先の発見・開拓において工夫している点など）

進行：

進行時刻	内容
9:30～9:35	1. <u>講演者紹介（5分）（コーディネーター 米丸氏より）</u> ・ 京都自立就労サポートセンター 主任就労支援相談員 高橋 尚子 氏
9:35～10:35	2. <u>実践発表（60分）</u> 高橋氏の講義（60分）
10:35 ～ 11:00	3. <u>質疑・意見交換（25分）</u> （質疑の内容について） ① 参加者に事前にアンケートを実施し頂いた質問から選定（5分×3地域（15分）） （事前に頂いた質問） ○ 業種、職種等の求人情報の収集方法や、開拓時のポイント等について ○ 企業開拓の効果的な手法について ○ 協力企業と長期的に関わるためのアプローチについて ② コーディネーターより追加質問（10分） ○ 合宿型就労体験を実施するメリット、工夫している点 ○ 自立相談支援事業と就労準備支援事業との連携について → 自立と準備で実施主体が異なる場合どのように連携・役割分担を図っているか ・ 対象者の特性、ステップアップの状況把握など情報共有の方法 ・ 自立相談支援事業実施機関と就労準備支援事業実施機関との役割分担

◆科目：【講義と演習⑨】支援関係の構築

◆日時：＜3日目＞ 10/5（木） 11：15～13：55（研修100分＋昼食60分）

◆登壇者：【講義・演習】

明治学院大学 教授 新保 美香 氏

【コメンテーター】

・沖縄県労働者福祉基金協会

沖縄県おしごと応援センター One×One

次長 岡野 みゆき 氏

・NP0 スチューデント・サポート・フェイス 代表 谷口 仁史 氏

◆学びのポイント：○就労自立の前段階にいる人、まだ就労意欲が低い等、就労に向けた準備がほとんど整っていない段階の人への支援のあり方について理解する。

進行：

進行時刻	内容
11:15～12:00	<u>1. 講義＋演習（45分） ※新保担当</u> ・支援関係の構築に関する講義・演習 ・ストレングス視点を学ぶ
12:00～13:00	＜昼食休憩＞
13:00～13:20	<u>2. 支援のあり方を考える①（20分）</u> ・インシデントにもとづき、受講生に対応を検討してもらい、最後に岡野氏、谷口氏だったらどうするかコメントを頂く。 ① 「インシデント1」の説明（2分） ② 個人での検討（3分） ③ チームによるわかちあい（5分） ④ 岡野氏のお話（5分）→谷口氏のお話（5分）
13:20～13:40	<u>3. 支援のあり方を考える②（20分）</u> ・インシデントにもとづき、受講生に対応を検討してもらい、最後に岡野氏・谷口氏だったらどうするかコメントを頂く。 ① 「インシデント2」の説明（2分） ② 個人での検討（3分） ③ チームによるわかちあい（5分） ④ 岡野氏のお話（5分）→谷口氏のお話（5分）
13:40～13:50	<u>4. 就労に向けたモチベーションを高めるために</u> <u>「支援に生かせる3つのポイント」（10分）</u>

	・「支援に生かせる3つのポイント」として、就労意欲が低い方や、準備が必要な方への支援にあたりポイントとなることを3つに絞り、お話していただく。（ポイントはスライド1枚にまとめていただく） ① 岡野氏（5分） ② 谷口氏（5分） ⇒平成29年度までは、ここでコメンテーターの講義をお願いしていたが、今年度は時間短縮のため、5分でポイントのみお話いただく。
13:50～13:55	<u>5. まとめ（5分）</u> ・新保先生が全体を振り返ってのコメントを伝える

岡野氏・谷口氏にお願いしたいこと：

①「インシデント1」「インシデント2」に対するコメントの準備

それぞれ、5分ずつ、ご自身だったらどのように対応するか、お話いただきたいと思います。その準備をお願いいたします。

③「支援に生かせる3つのポイント」の準備

就労意欲が低い方や、準備が必要な方への支援にあたり、ポイントと思われることを3つに絞り、スライドを準備していただくとともに、5分でコメントをお願いします。

◆科目：【講義と演習⑩】3日間の振り返りとまとめ

◆日時：＜3日目＞ 10/5（金）14：10～16：10（120分）

◆登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香先生

厚生労働省 社会・援護局地域福祉課地域福祉課 生活困窮者自立支援室 森川 千滉氏

◆学びのポイント：①今回の研修で学んだことを整理し、それを今後どのように生かすことができるか考える。

②参加者同士で、互いのストレングスを見いだしていく。

◆進行

進行時刻	内容
14:10~14:20 (10 分)	<u>1. 導入 (10分)</u> (1) 新保先生・森川氏 自己紹介、本講義・演習のすすめかたの説明 (3分) (2) 参加者自己紹介 (7分)
14:20~15:20 (60 分)	<u>2. グループでのワーク ワールドカフェ (60分)</u> (1) 問い：「就労準備事業であなたがこれから取り組んでみたいことは何でしょうか」(50分) ①はじめのグループでのセッション (20分) ②近くのテーブルを移動してのセッション (20分) ③元のテーブルに戻っていただく。(10分) (2) 「あなたが持ち帰って実行したいことを3つ記入してください」 →A4 用紙配布 (記入：3分、共有：7分)
15:20~16:00	<u>3. 色紙ワーク (40分)</u> 受講者全員に色紙1枚を配付する。 ①「自分にとっての就労準備支援とは」を漢字一文字で記入する。文字を選んだそのココロ、日付、氏名も併せて記入する。(10分) ②受講者同士で、一文字を紹介し合いながら相手のストレングスを相手の色紙に記入し合う。最終的に自分のストレングスの寄せ書きが完成させる。(30分)
16:00~16:10 (10 分)	<u>5. まとめ</u> ① 参加者振り返り (色紙を見せながら、ひとことフィードバック) ③ 本講義・演習を振り返り、締めくくりのメッセージを伝える (森川氏・新保先生)

生活困窮者自立支援制度における就労準備支援事業

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊心や自己有用感を喪失している。

このため、常に本人を中心としながら、

- ・ 就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、日常生活自立・社会生活自立・就労自立に関する支援を行う。
- ・ 本人の状況に応じた多様な支援メニューを用意し、必要に応じてステップアップを意識しながら支援を展開する。

⇒ 支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ アセスメントに基づくプログラムの作成
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングスに着目した支援
- ・ 就労意欲の喚起

“ぴったり”

きめの細かい支援

- ・ 本人の状態像に応じた多様なメニューの用意
- ・ 職場定着支援
- ・ 居場所づくり

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 自立相談支援機関との一体的支援
- ・ 協力関係事業所やハローワーク、地域の企業等との協働

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者とのネットワークの構築
- ・ 企業との関係づくり
- ・ 就労体験場所や実習場所等の開拓

平成30年度 就労準備支援事業従事者養成研修 学びの見取り図

		“きちんと”		“ぴったりに”			“みんなで”		“つながる・つくる”				
		丁寧な相談支援		きめの細かい支援			チームによる支援		社会資源の活用と開発				
		アセスメントに基づくプログラムの作成	信頼関係の構築、自尊心、自信の回復に向けた支援	ストレス、自グスに着目した支援	就業意欲の喚起	本人の状況に応じた多様なメニューの用意	職場定着支援	居場所づくり	自立相談支援機関との一体的支援	協力関係事業所やハローワーク、地域の企業等との協働	関係機関・若手のネットワークの構築	企業との関係づくり	就業体験場所や実習場所等の開拓
1 日目	生活困窮者自立支援法と就労準備支援事業の基本的な考え方	厚生労働省 室長補佐 米丸氏											
	これまでの取り組み実績と考え方	一般社団法人 創路社 会長の企業創造協議会 副代表 柳部 武俊氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自立相談支援機関との連携	厚生労働省 生活困窮者自立支援対策官 菊地 英人氏 那覇市バーンサポートセンター 総括責任者 名嘉 泰氏 NPO法人 インクルージョンセンター 東京オレンヂ 主任就労準備支援員 八木 孝道氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 日目	就労体験を中心とした取組	厚生労働省 自立支援専門調査員 平野 憲司氏 うきは市社会福祉協議会 地域福祉活動専門員 梅藤 俊介氏 佐倉市生活困窮者自立支援事業共同事業体 就労支援員 兼 就労準備支援員 小林 雄一氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アウトリーチの実践と危機管理	NPOスチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	対象者別の特性理解	レター・ポスト・フレンド 相談ネットワーク 理事長 田中 敦氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 日目	本人の状況に応じた多様なメニュー開発	沖縄県おしごと応援センター One × One (ワンバイワン) 次長 岡野 みゆき氏					○	○	○	○	○	○	○
	企業開拓について	厚生労働省 室長補佐 米丸 洋氏 京都自立就労サポートセンター 主任就労支援相談員 高橋 尚子氏					○	○	○	○	○	○	○
	支援関係の構築	明治学院大学 教授 新保 美香氏 NPOスチューデント・サポート・フェイス 代表 谷口 仁史氏 沖縄県おしごと応援センター One × One (ワンバイワン) 次長 岡野 みゆき氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3日間の振り返りとまとめ	明治学院大学 教授 新保 美香氏 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 森川 千晃氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

就労準備支援事業従事者養成研修 研修会の様子



6 家計相談支援事業従事者養成研修

《家計相談支援事業従事者養成研修 プログラムシート》

■期日：【第1回】6月5日（火）～7日（木） ■受講者数：58名 ■会場：全社協・会議室

■期日：【第2回】9月10日（月）～12日（水） ■受講者数：64名 ■会場：全社協・会議室

■期日：【第3回】9月25日（火）～27日（木） ■受講者数：54名 ■会場：OMM（大阪市内）

■期日：【第4回】12月19日（水）～21日（金） ■受講者数：53名 ■会場：全社協・会議室

【第1日目】 【第1回】6月5日（火） 【第2回】9月10日（月） 【第3回】9月25日（火） 【第4回】12月19日（水）

時間	科目	目標	進め方	講義のポイント	講師
12:40～13:20	受付				
13:20～13:40 (20分)	挨拶 オリエンテーショ ン		・全社協挨拶(5分) ・グリーンコープ講師紹介(5分) ・事務連絡(10分)		
13:40～14:10 (30分)	【講義①】 行政説明「家計 改善支援事業 の動向」	生活困窮者自立支援法の 改正と家計改善支援事業 の内容について理解する	講義形式	○生活困窮者自立支援制度の創設背景、理念、事業概要等について説明する ○家計改善支援事業の目的と必要性を理解してもらうとともに、支援の内容と流れを説明する。 ○自立相談支援事業及び就労準備支援事業等と家計改善支援事業との関係性や連携のあり方について事例を交えながら理解を促す ○生活困窮者自立支援制度に携わる支援員に求められる基本理念、基本姿勢について説明する ○加えて、家計相談支援員が特に配慮すべき、基本姿勢や倫理等について説明する ○厚生労働省の制度担当者および実施主体である社会福祉協議会の担当者から、制度について説明する。	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 【1・2・4回目】 室長補佐 三浦 正樹 氏 【3回目】 主査 藤村 貴俊 氏 全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司 氏 厚生労働省 社会・援護局 保護課 保護事業室 【1・2・4回目】 室長補佐 清水 修 氏 【3回目】 生活保護自立助長専門官 福田 和生 氏
14:10～14:40 (30分)	【講義②】 生活福祉資金 貸付制度につ いて	生活福祉資金貸付制度に ついて理解する			
14:40～15:30 (50分)	【講義③】 生活保護制度 について	生活保護制度について理 解する			
15:30～15:45	休憩				
15:45～16:45 (60分)	【講義④】 利用できる制度 および多重・過 剰債務の解決 方法の理解	多重・過剰債務問題の理解 と、給付、適正化による減 免、留保等の利用できる制 度や法律など自治体との連 携について学ぶ	講義形式	○多重・過剰債務を理解するために、債務整理等の基礎や多重・過剰債務問題の要因を説明する ○活用できる各種の減免、給付制度、生活福祉資金の貸付、その他活用できる制度等について説明する 【備考】 ○事例を交えながら弁護士等へのつなぎ方を示し、具体的にイメージできるようにする	法テラス 近岡 美由紀 氏
16:45～16:50 (5分)	振り返り				
16:50～17:50 (60分)	交流会				

※第2日目以降はグリーンコープ連合が主体となって講義を行う。プログラムの概要案は、日程表に記載のとおりである。

◆科目：【講義⑤】「家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れ」～一連の流れを理解する～

◆日時：第1回 <2日目> 6/6（水）9：30～10：30（60分）

第2回 <2日目> 9/11（火）9：30～10：30（60分）

第3回 <2日目> 9/26（水）9：30～10：30（60分）

第4回 <2日目> 12/20（木）9：30～10：30（60分）

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

グリーンコープ生活協同組合ふくおか生活再生相談室相談員 県域(朝倉郡・三井郡・三潴郡・八女郡)

・久留米市・大牟田市・みやま市・小郡市家計相談支援員 藤浦 久美 氏

講義5 60分	9:30 ~ 10:30	60 分	講義5「家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れ」 ～一連の流れを理解する～ ・家計相談の前提となる考え方、相談のプロセス	藤浦 氏 行岡 氏
------------	--------------	------	---	--------------

◆科目：【講義⑥】「相談者に学ぶ家計改善支援のあり方」～相談者のエンパワメントを～

- ◆日時：第1回 <2日目> 6/6（水）10：40～11：50（70分）
第2回 <2日目> 9/11（火）10：40～11：50（70分）
第3回 <2日目> 9/26（水）10：40～11：50（70分）
第4回 <2日目> 12/20（木）10：40～11：50（70分）

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏
グリーンコープ生活協同組合ふくおか生活再生相談室相談員 福岡県域（筑紫郡・糟屋郡）
家計相談支援事務所 家計相談支援員 北島 千恵 氏

講義6 70分	10:40 ~ 11:50	70 分	講義6「相談者に学ぶ家計改善支援のあり方」 ～相談者のエンパワメントを～ ・相談者理解 ・家計相談支援員のあり方 ・コミュニケーションをしっかりとる	北島 氏 行岡 氏
------------	---------------	------	---	--------------

◆科目：【実習①】「家計改善支援の実務に必要な帳票と家計表作成」

- ◆日時：第1回 <2日目> 6/6（水）12：50～13：50（60分）
第2回 <2日目> 9/11（火）12：50～13：50（60分）
第3回 <2日目> 9/26（水）12：50～13：50（60分）
第4回 <2日目> 12/20（木）12：50～13：50（60分）

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏
グリーンコープ生活協同組合おおい生活再生相談室相談員 大分県域（姫島村、日出町、九重町、玖珠町）、
大分市・臼杵市・宇佐市・佐伯市・豊後大野市・豊後高田市・由布市 家計相談支援員 近澤 和子氏
東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏

実習1 60分	12:50 ~ 13:50	60 分	実習1「家計改善支援の実務に必要な帳票と家計表作成」 ・相談時家計表と家計計画表、キャッシュフロー表の意味と役割 ・家計表作成時の質問項目と聞き取り方	行岡 氏 近澤 氏 細野 氏
------------	---------------	------	---	----------------------

◆科目：【演習①】「家計相談の流れとポイントを理解する」

- ◆日時：第1回 <2日目> 6/6（水）14：00～15：25（研修80分＋休憩5分、計85分）
第2回 <2日目> 9/11（火）14：00～15：25（研修80分＋休憩5分、計85分）
第3回 <2日目> 9/26（水）14：00～15：25（研修80分＋休憩5分、計85分）
第4回 <2日目> 12/20（木）14：00～15：25（研修80分＋休憩5分、計85分）

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏
グリーンコープ生活協同組合ふくおか生活再生相談室相談員 県域（朝倉郡・三井郡・三潁郡・八女郡）・久留米市・大牟田市・みやま市・小郡市家計相談支援員 藤浦 久美 氏
福岡県域（朝倉郡・三井郡・三潁郡・八女郡）自立相談支援事務所 主任相談支援員 一丸 直子 氏
東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏

演習1 80分 (途中休憩5分)	14:00 ~ 15:25	85 分	演習1「家計相談の流れとポイントを理解する」 ・相談者への声かけ ・主訴の確認 ・相談支援の流れと大切にしたいこと ・支援の意図と気を付けたいこと相談者に気付いてもらうためには ・プランが策定できた時と出来なかった時 ※途中休憩5分含む	行岡 氏 藤浦 氏 一丸 氏 細野 氏
------------------------	---------------	------	--	------------------------------

◆科目：【講義⑦】「家計改善支援でうまくいかなかったのは何故か」～相談の留意点や連携のあり方～

- ◆日時：第1回 <2日目> 6/6（水）15：40～16：45（60分）
 第2回 <2日目> 9/11（火）15：40～16：45（60分）
 第3回 <2日目> 9/26（水）15：40～16：45（60分）
 第4回 <2日目> 12/20（木）15：40～16：45（60分）

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

グリーンコープ生活協同組合おおい生活再生相談室相談員 大分県域（姫島村、日出町、九重町、玖珠町）、
 大分市・臼杵市・宇佐市・佐伯市・豊後大野市・豊後高田市・由布市家計相談支援員 近澤 和子氏
 東近江市社会福祉協議会 相談支援課主幹 細野 淳子 氏

講義7 60分	15:40 ~ 16:40	60 分	講義7「家計改善支援でうまくいかなかったのは何故か」 ～相談の留意点や連携のあり方～ ・家計相談が途切れてうまくいかなかったのは何故か ・相談者はどのように感じていたのだろうか。 ・連携先はどう繋いでいくのか。	近澤 氏 細野 氏 運営：行岡 氏
------------	---------------	------	---	-------------------------

◆科目：【実習②】家計表とライフイベント表の作成

- ◆日時：第1回 <2日目> 6/6（水）16：50～18：00（70分）
 <3日目> 6/7（木）9：30～10：10（40分）
 第2回 <2日目> 9/11（火）16：50～18：00（70分）
 <3日目> 9/12（水）9：30～10：10（40分）
 第3回 <2日目> 9/26（水）16：50～18：00（70分）
 <3日目> 9/27（木）9：30～10：10（40分）
 第4回 <2日目> 12/20（木）16：50～18：00（70分）
 <3日目> 12/21（金）9：30～10：10（40分）

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

グリーンコープ生活協同組合ふくおか生活再生相談室相談員 北九州市家計相談支援事業所
 家計相談支援員 丸山 恵子 氏

実習2 70分	16:50 ~ 18:00	70 分	実習2「家計表とライフイベント表の作成」 ～相談時家計表と家計計画表の作成～	丸山 氏 行岡 氏
------------	---------------	------	---	--------------

実習2 40分	9:30 ~ 10:10	40 分	実習2「家計表とライフイベント表の作成」 ～ライフイベント表の作成～ ・ライフイベントとは何か ・どのようなライフイベントがあるか	丸山 氏 行岡 氏
------------	--------------	------	---	--------------

◆科目：【実習③-1】「家計表の入力」

- ◆日時：第1回 <3日目> 6/7（木）10：20～12：00（100分）

第2回 <3日目> 9/12(水) 10:20~12:00(100分)

第3回 <3日目> 9/27(木) 10:20~12:00(100分)

第4回 <3日目> 12/21(金) 10:20~12:00(100分)

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

グリーンコープ生活協同組合くまもと生活再生相談室相談員 熊本県域（熊本市、玉名市、水俣市、天草市を除く全域）家計相談支援員 中島 明美 氏

実習3-1 100分	10:20 ~ 12:00	100 分	実習3-1「家計表の入力」 実習3-2「キャッシュフロー表の作成」	中島 氏 行岡 氏
---------------	---------------	-------	--------------------------------------	--------------

◆科目：【実習③-2】「キャッシュフロー表の作成」

◆日時：第1回 <3日目> 6/7(木) 13:00~13:40(40分)

第2回 <3日目> 9/12(水) 13:00~13:40(40分)

第3回 <3日目> 9/27(木) 13:00~13:40(40分)

第4回 <3日目> 12/21(金) 13:00~13:40(40分)

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

グリーンコープ生活協同組合くまもと生活再生相談室相談員 熊本県域（熊本市、玉名市、水俣市、天草市を除く全域）家計相談支援員 中島 明美 氏

実習3-2 40分	13:00 ~ 13:40	40 分	実習3-2「キャッシュフロー表の作成」	中島 氏 行岡 氏
--------------	---------------	------	---------------------	--------------

◆科目：【実習③-3】「家計再生プランの作成」

◆日時：第1回 <3日目> 6/7(木) 13:55~14:45(50分)

第2回 <3日目> 9/12(水) 13:55~14:45(50分)

第3回 <3日目> 9/27(木) 13:55~14:45(50分)

第4回 <3日目> 12/21(金) 13:55~14:45(50分)

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

グリーンコープ生活協同組合くまもと生活再生相談室相談員 熊本県域（熊本市、玉名市、水俣市、天草市を除く全域）家計相談支援員 中島 明美 氏

実習3-3 50分	13:55 ~ 14:45	50 分	実習3-3「家計再生プランの作成」	北島 氏 行岡 氏
--------------	---------------	------	-------------------	--------------

◆科目：【講義⑧】「グリーンコープの取り組み事例紹介」～家計管理と資金繰りの違い～

◆日時：第1回 <3日目> 6/7(木) 14:55~15:45(50分)

第2回 <3日目> 9/12(水) 14:55~15:45(50分)

第3回 <3日目> 9/27(木) 14:55~15:45(50分)

第4回 <3日目> 12/21(金) 14:55~15:45(50分)

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

福岡県域（朝倉郡・三井郡・三潁郡・八女郡）自立相談支援事務所 主任相談支援員 一丸 直子 氏

講義8 50分	14:55 ～ 15:45	50 分	講義8「グリーンコープの取り組み事例紹介」 ～家計管理と資金繰りの違い～ ・日計表を使った支援の紹介	一丸 氏 行岡 氏
------------	---------------	------	--	--------------

◆科目：質疑・応答

◆日時：第1回 ＜3日目＞ 6/7（木）15：45～16：25（40分）

第2回 ＜3日目＞ 9/12（水）15：45～16：25（40分）

第3回 ＜3日目＞ 9/27（木）15：45～16：25（40分）

第4回 ＜3日目＞ 12/21（金）15：45～16：25（40分）

◆登壇者：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子氏

質疑・応答 40分	15:45 ～ 16:25	40 分	全体の質疑・応答 ・グループで3日間を振り返り、質問事項をまとめる。	講師全員 運営：行岡 氏
--------------	---------------	------	---------------------------------------	-----------------

生活困窮者自立支援制度における家計相談支援員の役割

- 家計に課題のある人に対し、信頼関係を構築しながら、相談者自身が家計の状況を理解し、家計管理に向けて前向きに取り組めるよう支援する。
- 家計に関する専門的知識に基づき、適切な情報を提供したり、家計表やキャッシュフロー表等の帳票を作成する。
- 各種帳票を活用し、家計の課題を明らかにし、支援の方向性を整理する。
- 家計相談支援機関だけでなく、自立相談支援機関や法テラス、多重債務相談窓口、公的給付や減免等の担当部局等と連携する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 対象者の把握
- ・ 信頼関係の構築
- ・ 本人主体による丁寧なアセスメント
- ・ 家計の現状理解に向けた支援
- ・ 家計管理に向けた意欲喚起

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 自立相談支援事業との連携
- ・ 他事業との連携による効果的な支援の推進
- ・ 各種貸付機関との連携
- ・ 法テラスや多重債務相談窓口、消費生活相談窓口など関係機関との連携
- ・ 公的給付窓口（減免等）との連携

“しっかり”

専門的な支援技術の活用

- ・ 一般的な家計の支出額に関する知識の活用
- ・ 家計表やキャッシュフロー表等の作成を通じた家計状況の「見える化」
- ・ 各種帳票の読み解きと課題の整理
- ・ 家計の視点からの情報提供や助言
- ・ 債務整理全般や改正貸金業法、消費者安全法等の基礎的把握と活用

家計相談支援事業従事者養成研修 学びの見取り図

平成30年度 家計相談支援事業従事者養成研修 学びの見取り図												
	日程	講師のポイント	“きちん”で			“みんな”で			“しかり” 専門的な支援技術の活用			
			対象者の把握	信頼関係の構築	本人主体による丁寧なアセスメント	家計の現状理解に向けた支援	他事業との連携 「による効果的な支援の推進」	法テラスや多重債務相談窓口、消費生活相談窓口など関係機関との連携		一般的な家計の支出額に関する知識の活用	家計表やキャッシュフロー表等各種資料の活用（研修修習の成果を活かす）	債務整理や除却申告書の提出や、消費者安全法、消費者安全法の活用
＜研修＞を理念制度の理解			＜研修＞グループワークで相談支援の方法			＜研修＞を理念制度の理解			＜研修＞を理念制度の理解			
1日目		【研修①】 ○家計改善支援事業の動向	厚生労働省 社会・福祉政策局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 三浦 正樹 氏 主査 藤村 貴俊 氏	講師								
		【研修②】 ○生活福祉資金貸付制度について	全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司 氏									
		【研修③】 ○生活保護制度について	厚生労働省 社会・福祉政策局 保護課 生活保護課 室長補佐 清水 修 氏									
		【研修④】 ○利用できる制度および多量・過剰債務の解決方法の理解	日本司法支援センター 弁護士 近岡 東田紀 氏									
		【研修⑤】 ○家計改善支援の基本的な考え方や相談の流れ ～一連の流れを理解する～	グリーンコープ連合 常務理事・生活困窮者自立支援室長 行間 みち子 氏									
		【研修⑥】 ○相談者に学ぶ家計改善支援のあり方 ～相談者のエンパワメントを～	グリーンコープ連合 行間 みち子 氏 藤浦 久美 氏 丸山 直子 氏 近藤 和子 氏									
		【実習①】 ○家計改善支援の実践に必要な帳簿と家計表作成	グリーンコープ連合 行間 みち子 氏 藤浦 久美 氏 丸山 直子 氏 中島 明美 氏 北島 千恵 氏 東近江工作社 倉持 仙雄 氏 相談支援課 主管 細野 京子 氏									
		【実習②】 ○家計相談の流れとポイントを理解する	グリーンコープ連合 行間 みち子 氏 近藤 和子 氏									
		【研修⑦】 ○家計改善支援でうまくいかなかったのは何故か ～相談の質や連携のあり方～	グリーンコープ連合 行間 みち子 氏 北島 千恵 氏 丸山 直子 氏									
		【実習③】 ○家計表とライフイベント表の作成 ～相談時家計表と家計相談の作成～ ～ライフイベント表の作成～	グリーンコープ連合 行間 みち子 氏 丸山 直子 氏									
		【実習④-1】 ○家計表の入力 【実習④-2】 ○キャッシュフロー表の作成 【実習④-3】 ○家計管理と資金繰りの違い	グリーンコープ連合 行間 みち子 氏 丸山 直子 氏 中島 明美 氏									
		【研修⑧】 ○グリーンコープの取り組み事例紹介 ～家計管理と資金繰りの違い～	グリーンコープ連合 行間 みち子 氏 北島 千恵 氏									

家計相談支援事業従事者養成研修 研修会の様子



7 都道府県研修に係る担当者研修

《【前期】都道府県研修に係る担当者研修 プログラムシート》

■期日：5月29日（火） ■受講者数：72名 ■会場：全社協 灘尾ホール

■受講対象者：都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者

①都道府県の研修担当者 41名

②研修企画チームメンバー 31名

■会場の着席形式 終日5～6名のグループ形式で進行（地域、所属、性別、研修経験を偏りなく）

■配布資料：生活困窮者自立支援事業における都道府県研修実施のための手引（みずほ情報総研）

■各プログラムの詳細

◆科目：行政説明

◆時間：10:40～11:00（20分）

◆登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏

◆科目：【講義と演習】生活困窮者自立支援における人材養成について

◆時間：11:00～11:30（30分）

◆登壇者：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
明治学院大学 教授 新保 美香 氏

進行時刻	内容
11:00～11:30（30分）	生活困窮者支援における人材養成について（手引き第1章を中心に） 【新保先生】 ※グループの自己紹介等もこの時間に済ませる

◆科目：【講義と演習】都道府県における研修の取り組みについて

◆時間：12:30～13:40（70分）

◆登壇者：【コーディネーター】厚生労働省 社会・援護局地域福祉課

生活困窮者自立支援室 生活困窮者対策官 菊地 英人 氏

厚生労働省 社会・援護局地域福祉課

生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏

【コメンテーター】九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

明治学院大学 教授 新保 美香 氏

【事例発表】沖縄県 子ども生活福祉部福祉政策課 主任 石原 綾子 氏

大分県 福祉保健部福祉保健企画課地域福祉班 主事 河野 愛 氏

進行時刻	内容
12:30～12:35（5分）	<u>実践発表の進め方の説明</u> 【菊地対策官】
12:35～12:50（15分）	<u>実践報告①</u> 【沖縄県・石原氏】
12:50～12:55（5分）	沖縄県の発表についてバズセッション
12:55～13:05（10分）	講師からのコメント【加留部先生】と発表者と講師のやりとり
13:05～13:20（15分）	<u>実践報告②</u> 【大分県・河野氏】
13:20～13:25（5分）	大分県の発表についてバズセッション
13:25～13:35（10分）	講師からのコメント【新保先生】と発表者と講師のやりとり
13:35～13:40（5分）	<u>まとめ</u> 【平野調査員】

◆科目：【講義と演習】効果的な研修の企画・立案

◆時間：13:55～16:45（170分）

◆登壇者：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

進行時刻	内容
13:55～15:30（95分）	人材養成のあり方、やり方、研修の要件（3本柱）、手引き
15:30～15:40（10分）	休憩
15:40～16:45（65分）	全体振り返り（ワールドカフェ体験とその解説を兼ねて）

※16:55～17:55 個別相談会（任意参加）

《【後期】都道府県研修に係る担当者研修 プログラムシート》

■期日：1月29日（火） ■受講者数：71名

■会場：全社協 5階会議室

■受講対象者：都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者

①都道府県の研修担当者 41名

②研修企画チームメンバー 30名

■会場の着席形式 終日5～6名のグループ形式で進行（地域、所属、性別、研修経験を偏りなく）

■各科目の内容について

◆科目：行政説明

◆時間：11:15～11:30（15分）

◆登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏

◆科目：【講義と演習】今年度実施した研修の振り返り

◆時間：11:30～12:30（60分）

◆登壇者：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
明治学院大学 教授 新保 美香 氏

* 3本柱に照らし合わせたチェック、事前提出課題から見えた課題の共有

進行時刻	内容
11:30～11:50（20分）	ペアワーク①
11:50～12:10（20分）	ペアワーク②
12:10～12:30（20分）	まとめ

◆科目：【講義と演習】都道府県における研修の取り組みについて

◆時間：13:30～14:40（70分）

◆登壇者：【コーディネーター】厚生労働省 社会・援護局地域福祉課
生活困窮者自立支援室 自立支援専門調査員 平野 憲司 氏
【コメンテーター】九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
明治学院大学 教授 新保 美香 氏
【事例発表】島根県健康福祉部地域福祉課 企画官 規家 幸枝 氏
長崎県 上五島福祉事務所福祉課長 三浦 一国 氏

進行時刻	内容
13:30～13:35（5分）	実践発表の進め方の説明【平野調査員】
13:35～13:50（15分）	実践報告①【島根県・規家氏】
13:50～13:55（5分）	島根県の発表についてバズセッション
13:55～14:05（10分）	講師からのコメント【加留部先生、新保先生】

14:05～14:20 (15分)	<u>実践報告②【長崎県・三浦氏】</u>
14:20～14:25 (5分)	長崎県の発表についてバズセッション
14:25～14:35 (10分)	講師からのコメント【加留部先生、新保先生】
14:35～14:40 (5分)	<u>まとめ【平野調査員】</u>

【休憩】14:40～14:55 (15分)

◆科目：【講義と演習】効果的な研修の企画・立案

◆時間：14:55～16:50 (115分)

◆登壇者：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
 明治学院大学 教授 新保 美香 氏

進行時刻	内容
14:55～15:00 (5分)	進め方の説明
15:00～15:20 (20分)	個人ワーク（ワークシートの記入）
15:20～15:40 (20分)	ペアワーク①
15:40～16:00 (20分)	ペアワーク②
16:00～16:15 (15分)	休憩（質問を付箋に書いてもらう）
16:15～16:50 (35分)	Q&A（参加者からの質問に講師が答える）

都道府県研修に係る担当者研修 研修会の様子



第4章 受講者からの評価

受講者研修事後アンケートの定量評価（5点満点）を示す。

1 【前期】共通カリキュラム 養成研修

	全体値 平均	所屬先									地域の規模						経験年数			
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 510万人	③ 530万人	④ 550万人	⑤ 5100万人	⑥ 100万人以上	① 1年未満	② 1年～3年	③ 3年～5年	④ 5年以上
【第1回】 前期	該当人数	5	75	111	9	9	5	15	8	7	60	54	70	29	13	13	117	28	40	56
	講義① 本後氏	4.40	4.16	4.19	3.89	4.33	3.80	3.87	4.13	4.14	4.05	4.20	4.24	4.28	4.08	3.69	4.02	4.50	3.88	4.17
	講義② 菊地氏・生水氏	4.75	4.52	4.58	4.67	4.50	4.20	4.27	4.13	4.57	4.55	4.50	4.51	4.71	4.38	4.15	4.51	4.74	4.33	4.40
	講義と演習③ 新保氏・加留部氏	5.00	4.51	4.63	4.67	4.89	4.40	4.33	4.50	4.86	4.53	4.62	4.65	4.72	4.23	4.38	4.61	4.50	4.53	4.55
	講義と演習④ 和田氏	4.75	4.18	4.37	3.89	4.22	3.40	3.92	4.00	4.29	4.07	4.17	4.36	4.34	4.38	3.83	4.14	4.35	4.16	4.04
	講義と演習⑤ 原田氏	4.75	4.24	4.45	4.22	4.33	3.60	4.29	4.38	4.67	4.29	4.34	4.38	4.31	4.23	4.45	4.28	4.61	4.24	4.21
	講義と演習⑥ 朝比奈氏	4.75	4.51	4.70	4.33	4.67	4.40	4.46	4.75	4.67	4.64	4.67	4.53	4.54	4.62	4.55	4.55	4.74	4.53	4.60
	講義と演習⑦ 八木氏・及川氏	4.50	4.53	4.57	4.38	4.38	4.00	4.46	4.63	4.33	4.49	4.65	4.48	4.56	4.58	3.92	4.43	4.63	4.14	4.51
	講義と演習⑧ 新保氏	4.50	4.49	4.73	4.67	4.33	4.40	4.64	4.71	4.57	4.71	4.65	4.44	4.68	4.55	4.42	4.54	4.79	4.47	4.53
	研修全般	4.75	4.43	4.58	4.57	4.44	3.60	4.29	4.57	4.60	4.46	4.57	4.40	4.59	4.54	4.08	4.33	4.76	4.48	4.15

	全体値 平均	所属先								地域の規模						経験年数			
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 10万人	③ 130万人	④ 150万人	⑤ 100万人以上	① 1年未満	② 1年～3年	③ 3年～5年	④ 5年以上
【第2回】 前期	該当人数	7	66	90	5	8	6	7	4	3	51	39	57	28	13	97	56	21	20
	講義① 本後氏	4.29	4.32	4.15	4.00	4.63	4.20	3.86	4.75	4.33	4.18	4.37	4.18	4.50	4.00	4.05	4.35	4.29	4.36
	講義② 菊地氏・生水氏	4.43	4.45	4.36	4.20	4.71	4.80	4.33	4.75	4.00	4.42	4.69	4.38	4.26	4.31	4.42	4.46	4.38	4.37
	講義と演習③ 新保氏・加留部氏	4.43	4.68	4.59	4.60	5.00	4.80	4.67	4.75	4.33	4.57	4.84	4.61	4.74	4.63	4.60	4.65	4.71	4.58
	講義と演習④ 和田氏	4.00	4.05	4.24	3.80	4.57	3.80	4.00	4.25	3.67	4.10	4.24	4.09	4.32	3.75	4.03	4.08	4.33	4.30
	講義と演習⑤ 八木氏・及川氏	4.00	4.48	4.39	4.20	4.50	4.25	4.60	4.75	4.00	4.48	4.49	4.40	4.32	4.17	4.43	4.48	4.48	4.13
	講義と演習⑥ 朝比奈氏	4.33	4.55	4.51	4.20	4.71	4.60	4.60	5.00	4.33	4.33	4.63	4.55	4.70	4.29	4.44	4.46	4.52	4.62
	講義と演習⑦ 原田氏	4.17	4.47	4.55	4.40	4.71	4.80	4.33	4.75	4.33	4.45	4.55	4.49	4.69	4.57	4.56	4.46	4.47	4.69
	講義と演習⑧ 新保氏・米丸氏	4.40	4.38	4.51	4.40	4.88	4.80	4.29	4.50	4.67	4.51	4.54	4.38	4.56	4.25	4.50	4.48	4.53	4.54
	研修全般	4.43	4.48	4.41	4.20	4.86	4.60	4.40	4.75	4.67	4.48	4.69	4.35	4.40	4.55	4.51	4.49	4.52	4.42

	全体値 平均	所 属 先									地 域 の 規 模						① 1 年 未 満	② 1 年 以 上 3 年 未 満	③ 3 年 以 上 5 年 未 満	④ 5 年 以 上
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 5 万 人 以 上 1 0 万 人 未 満	③ 1 0 万 人 以 上 3 0 万 人 未 満	④ 3 0 万 人 以 上 5 0 万 人 未 満	⑤ 5 0 万 人 以 上 1 0 0 万 人 未 満	⑥ 1 0 0 万 人 以 上				
【第3回】 前期	該当人数	7	69	80	10	19	11	9	6	7	44	61	59	25	16	12	91	47	33	46
	講義① 野崎氏	4.29	4.09	4.09	3.80	3.89	4.09	3.78	4.00	4.00	4.18	4.11	3.97	3.92	3.63	4.25	4.40	3.72	4.03	3.98
	講義② 平野氏・宇都宮氏	4.71	4.46	4.53	4.40	4.47	3.64	4.00	4.17	4.71	4.48	4.57	4.29	4.38	4.38	4.25	4.56	4.43	4.36	4.08
	講義と演習③ 新保氏・加留部氏	4.86	4.77	4.63	4.70	4.68	4.45	4.44	4.50	4.43	4.74	4.72	4.64	4.68	4.31	4.58	4.86	4.51	4.70	4.52
	講義と演習④ 和田氏	3.80	4.37	4.35	4.29	4.28	3.90	3.78	4.20	4.00	4.40	4.30	4.33	4.23	3.77	4.18	4.42	4.16	4.32	4.10
	講義と演習⑤ 平野氏	4.50	4.57	4.51	4.43	4.47	4.33	4.00	4.67	4.43	4.53	4.56	4.52	4.36	4.27	4.45	4.60	4.34	4.61	4.28
	講義と演習⑥ 朝比奈氏	4.20	4.48	4.25	4.11	4.56	4.30	4.13	4.33	4.00	4.28	4.33	4.47	4.23	4.00	4.18	4.33	4.13	4.44	4.26
	講義と演習⑦ 原田氏	4.43	4.53	4.60	4.29	4.33	4.30	4.33	4.33	4.29	4.54	4.50	4.42	4.57	4.33	4.55	4.64	4.38	4.47	4.35
	講義と演習⑧ 八木氏・空閑氏	4.33	4.55	4.51	4.50	4.56	4.40	4.25	4.33	4.57	4.51	4.53	4.50	4.33	4.47	4.40	4.70	4.34	4.61	4.19
	研修全般	4.33	4.68	4.51	4.67	4.33	4.56	3.75	4.33	4.80	4.57	4.57	4.54	4.50	4.38	4.27	4.82	4.37	4.43	4.21

2 【後期】主任相談支援員養成研修

	全体値 平均	所属先									地域の規模						経験年数			
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ N P O 法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 10万人	③ 30万人	④ 50万人	⑤ 100万人	⑥ 100万人以上	① 1年未満	② 1年～3年	③ 3年～5年	④ 5年以上
【後期】 主任	該当人数	7	58	90	7	6	7	8	7	6	54	49	54	20	7	11	59	28	43	62
	講義と演習① 和田氏	4.29	3.67	3.93	3.29	4.60	4.14	3.38	3.71	3.83	3.94	3.80	3.89	3.55	4.14	3.60	3.56	4.07	4.05	3.56
	講義と演習② 新保氏・加留部氏	4.71	4.63	4.67	4.71	5.00	5.00	4.25	4.71	4.50	4.68	4.66	4.56	4.75	4.71	4.73	4.52	4.85	4.57	4.78
	講義と演習③ 新保氏・上原氏・ ムルカン氏	4.14	4.18	4.13	4.14	4.60	4.00	3.88	4.57	3.83	4.24	4.38	3.98	3.80	4.43	3.82	4.03	4.33	4.21	4.28
	講義と演習④ 朝比奈氏・上原氏・ 大戸氏	4.33	4.41	4.43	4.14	4.50	4.57	4.38	4.71	4.17	4.38	4.46	4.38	4.40	4.71	4.36	4.27	4.59	4.50	4.46
	講義と演習⑤ 原田氏・川島氏	4.29	4.09	4.19	4.00	4.50	4.00	4.13	4.29	3.83	4.21	4.10	4.06	4.20	4.43	4.18	3.98	4.30	4.26	4.06
	講義と演習⑥ 原田氏・川島氏	4.29	4.17	4.21	4.00	4.33	4.67	4.25	4.17	4.00	4.29	4.15	4.17	4.32	4.33	4.00	3.84	4.48	4.28	4.04
	講義と演習⑦ 原田氏	4.40	4.11	4.54	4.17	4.67	4.60	3.33	4.57	4.33	4.48	4.19	4.29	4.35	4.71	4.33	4.04	4.53	4.36	4.33
	研修全般	4.43	4.27	4.51	4.29	4.67	4.33	4.25	4.57	4.17	4.47	4.47	4.31	4.44	4.57	4.10	4.33	4.60	4.53	4.30

3 【後期】相談支援員養成研修

	全体値 平均	所 属 先								地 域 の 規 模						経 験 年 数				
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 3 0 万 人	④ 5 0 万 人	⑤ 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① 1 年 未 満	② 1 年 1 年 未 満	③ 3 年 1 年 未 満	④ 5 年 以 上
【後期】 相談 第1回	該 当 人 数	4	53	99	14	9	3	15	8	8	42	50	30	13	13	13	88	55	37	27
	講 義 と 演 習 ① 朝 比 奈 氏	3.75	4.02	3.88	4.50	4.44	4.67	4.33	4.00	3.88	4.24	3.94	3.97	3.62	4.31	4.38	4.15	3.76	3.78	
	講 義 と 演 習 ② 松 端 氏 ・ 安 藤 氏	3.25	4.15	4.12	4.62	4.44	4.33	4.21	4.25	4.25	4.21	4.11	4.50	4.00	3.92	4.46	4.24	4.06	3.91	
	講 義 と 演 習 ③-1 空 閑 氏 ・ 朝 比 奈 氏 ・ 八 木 氏	4.50	4.38	4.37	4.57	4.78	4.33	4.64	4.75	4.25	4.55	4.31	4.63	4.00	4.31	4.68	4.52	4.31	4.24	
	講 義 と 演 習 ③-2 空 閑 氏 ・ 朝 比 奈 氏 ・ 八 木 氏	4.75	4.38	4.40	4.46	4.78	4.33	4.57	4.75	4.25	4.52	4.43	4.52	4.08	4.23	4.71	4.43	4.28	4.36	
	講 義 と 演 習 ③-3 空 閑 氏 ・ 朝 比 奈 氏 ・ 八 木 氏	4.49	4.52	4.42	4.50	4.67	4.33	4.47	4.63	4.38	4.62	4.50	4.55	4.15	4.31	4.74	4.57	4.24	4.26	
	講 義 と 演 習 ③-4 空 閑 氏 ・ 朝 比 奈 氏 ・ 八 木 氏	4.51	4.42	4.38	4.54	4.75	4.33	4.43	5.00	4.50	4.55	4.50	4.55	4.15	4.15	4.71	4.53	4.38	4.29	
	研 修 全 股	4.48	4.30	4.39	4.67	4.89	4.33	4.53	4.71	4.50	4.59	4.42	4.57	4.27	4.23	4.70	4.47	4.35	4.22	

	全体値 平均	所 属 先								地 域 の 規 模						経 験 年 数				
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 5 1 0 万 人	③ 5 3 0 万 人	④ 5 5 0 万 人	⑤ 5 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① 1 年 未 満	② 1 年 5 3 年	③ 3 年 5 年	④ 5 年 以 上
【後期】 相談 第2回	該当人数	5	66	87	4	6	4	6	5	2	59	42	45	22	11	7	92	48	27	17
	講義と演習① 空閑氏	4.20	4.38	4.10	3.50	4.17	4.33	4.33	4.20	5.00	4.09	4.44	4.20	4.10	4.45	4.00	4.16	4.24	4.33	4.08
	講義と演習② 松端氏・安藤氏	3.85	3.98	3.89	4.00	3.50	3.67	3.17	4.00	5.00	3.93	4.10	3.76	3.90	3.45	3.83	3.89	3.88	3.96	3.86
	講義と演習③-1 空閑氏・朝比奈氏 ・上原氏	4.21	4.35	4.28	4.50	4.00	4.33	3.67	4.80	4.00	4.22	4.49	4.23	4.23	4.45	4.00	4.12	4.24	4.27	4.12
	講義と演習③-2 空閑氏・朝比奈氏 ・上原氏	4.29	4.58	4.34	4.75	3.50	4.33	3.67	5.00	4.50	4.39	4.64	4.28	4.29	4.45	4.00	4.30	4.40	4.23	4.16
	講義と演習③-3 空閑氏・朝比奈氏 ・上原氏	4.24	4.48	4.29	3.67	3.80	4.00	4.00	5.00	5.00	4.28	4.44	4.43	4.20	4.55	3.83	4.21	4.29	4.35	4.04
	講義と演習③-4 空閑氏・朝比奈氏 ・上原氏	4.34	4.57	4.34	4.00	3.83	4.67	4.00	5.00	5.00	4.27	4.61	4.45	4.38	4.30	4.33	4.28	4.43	4.29	4.11
	研修全般	4.26	4.52	4.20	4.25	3.60	4.67	3.83	4.75	4.50	4.18	4.56	4.36	4.35	4.18	3.83	4.42	4.30	4.43	3.95

4 【後期】就労支援員養成研修

	全体値 平均	所 属 先									地 域 の 規 模						経 験 年 数			
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 3 0 万 人	④ 5 0 万 人	⑤ 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① 1 年 未 満	② 1 年 ～ 3 年	③ 3 年 ～ 5 年	④ 5 年 以 上
【後期】 就 労	該 当 人 数	4	42	65	0	13	12	7	5	5	36	41	45	18	11	8	61	35	33	32
	講義と演習① 新保氏	4.00	4.51	4.36	—	4.54	4.50	4.71	4.60	4.20	4.42	4.48	4.43	4.28	4.45	4.38	4.43	4.53	4.58	4.16
	行政説明 米丸氏	3.25	3.58	3.42	—	4.08	3.50	4.14	3.80	3.80	3.37	3.75	3.60	3.22	3.45	3.88	3.65	3.71	3.85	3.37
	講義と演習② 谷口氏	4.50	4.78	4.73	—	4.62	4.75	4.29	4.80	4.60	4.92	4.67	4.53	4.76	4.60	4.63	4.87	4.54	4.70	4.73
	講義と演習③ 加留部氏・榎部氏 ・西岡氏	5.00	4.36	4.25	—	4.08	4.00	4.57	5.00	4.75	4.50	4.38	4.23	4.29	4.11	3.88	4.25	4.30	4.43	4.12
	講義と演習④(名嘉)	4.00	4.31	4.25	—	4.15	4.27	4.57	4.50	4.67	4.42	4.18	4.31	4.06	4.11	4.00	4.36	4.33	4.33	4.09
	講義⑤ 立岡氏	4.00	4.31	4.15	—	4.15	4.09	3.86	4.75	4.00	4.26	4.39	4.00	3.94	4.10	3.63	4.27	4.13	4.19	4.05
	講義と演習⑥(渡辺)	5.00	4.45	4.75	—	4.77	4.18	4.29	4.67	4.50	4.82	4.68	4.49	4.50	4.44	4.13	4.83	4.64	4.56	4.47
	講義⑦ 野々村氏	4.25	4.45	4.69	—	4.67	4.58	4.86	4.75	4.20	4.71	4.62	4.56	4.44	4.60	4.38	4.81	4.62	4.61	4.46
	講義⑧ 津富氏	4.25	4.07	4.10	—	3.91	4.00	4.29	4.25	3.80	4.14	4.20	3.90	4.22	4.00	3.86	4.11	4.15	4.18	3.83
	講義と演習⑨ 新保氏・加留部氏	4.75	4.78	4.75	—	4.75	4.55	4.57	5.00	4.00	4.79	4.76	4.66	4.59	4.80	4.38	4.79	4.85	4.72	4.53
	研修全般	4.59	4.54	4.57	—	4.62	4.64	4.43	4.60	4.60	4.73	4.64	4.43	4.53	4.45	4.43	4.76	4.56	4.66	4.48

5 就労準備支援事業従事者養成研修

	全体値 平均	所属先								地域の規模						経験年数			
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 10万人	③ 13万人	④ 15万人	⑤ 100万人以上	① 1年未満	② 1年～3年	③ 3年～5年	④ 5年以上
就労準備	該当人数	0	16	26	14	11	18	24	3	9	21	27	37	18	13	72	34	10	200
	講義① 米丸氏	—	4.47	4.00	3.93	4.56	4.11	4.00	4.00	4.11	3.95	4.04	4.25	4.28	4.00	4.06	4.22	4.00	3.50
	講義② 櫛部氏	—	4.56	4.40	4.57	4.40	4.28	4.35	4.33	4.22	4.33	4.31	4.44	4.44	4.00	4.43	4.38	4.44	3.00
	事例発表③ 菊地氏・名嘉氏 ・八木氏	—	4.25	4.44	4.36	4.60	4.72	4.26	4.33	4.50	4.40	4.40	4.44	4.44	4.67	4.42	4.33	4.70	3.50
	事例発表④ 平野氏・権藤氏 ・小林氏	—	4.36	4.54	4.50	4.64	4.29	4.09	4.00	4.56	4.25	4.44	4.35	4.50	4.33	4.37	4.41	4.44	4.00
	講義と演習⑤ 谷口氏	—	4.80	4.81	4.71	4.91	4.61	4.78	5.00	4.89	4.95	4.67	4.84	4.83	4.33	4.80	4.91	4.60	4.00
	講義⑥ 田中氏	—	3.94	4.15	4.62	4.40	3.94	3.83	4.00	3.89	4.00	3.92	4.14	4.18	5.00	4.09	4.12	4.20	4.00
	講義と演習⑦ 岡野氏	—	4.56	4.36	4.21	4.27	4.28	4.35	4.67	4.33	4.10	4.62	4.32	4.44	4.33	4.31	4.39	4.40	4.50
	講義と演習⑧ 米丸氏・高橋氏	—	4.25	4.65	4.69	4.64	4.22	4.41	4.67	4.56	4.24	4.56	4.51	4.61	4.00	4.43	4.47	4.75	5.00
	講義と演習⑨ 新保氏・谷口氏 ・岡野氏	—	4.56	4.56	4.57	4.44	4.61	4.41	5.00	4.63	4.30	4.50	4.69	4.71	4.00	4.52	4.63	4.56	4.00
	講義と演習⑩ 新保氏・森川氏	—	4.60	4.67	4.69	4.63	4.75	4.82	4.67	4.67	4.63	4.71	4.66	4.83	4.33	4.69	4.74	4.70	4.00
	研修全般	—	4.57	4.69	4.69	4.38	4.59	4.76	4.67	4.63	4.68	4.67	4.58	4.65	5.00	4.63	4.62	4.70	4.00

6 家計相談支援事業従事者養成研修

	全体値 平均	所属先									地域の規模						経験年数			
		① 直営・都道府県庁	② 直営・市区町村	③ 社協	④ 社協以外の社福	⑤ 社団財団法人	⑥ 株式会社等	⑦ NPO法人	⑧ 協同組合	⑨ その他	① 5万人未満	② 5～10万人	③ 10～30万人	④ 30～50万人	⑤ 50～100万人	⑥ 100万人以上	① 1年未満	② 1～3年	③ 3～5年	④ 5年以上
【第1回】 家計																				
	当該人数	58	1	9	29	2	2	5	2	3	5	2				5	43	8	5	0
	講義① 三浦氏	4.30	5.00	4.44	4.04	4.50	5.00	4.20	5.00	3.67	4.20	5.00	4.00	4.17	4.60	4.00	4.29	4.00	3.80	—
	講義② 伊藤氏	4.08	5.00	4.33	3.79	3.50	4.50	4.00	4.50	3.33	4.40	5.00	3.92	3.67	4.40	4.20	4.18	3.25	3.80	—
	講義③ 清水氏	4.23	5.00	3.88	4.41	5.00	4.00	4.20	4.00	2.33	4.20	5.00	4.23	4.50	4.50	4.20	4.23	4.13	4.00	—
	講義④ 近岡氏	4.68	5.00	4.56	4.62	5.00	5.00	4.60	5.00	4.00	4.80	5.00	4.85	4.67	4.60	4.60	4.70	4.50	4.60	—
	講義⑤ 行岡氏	4.49	5.00	4.38	4.48	3.50	5.00	4.80	5.00	4.00	4.60	5.00	4.08	4.83	4.75	4.40	4.51	4.00	4.40	—
	実習① 行岡氏	4.45	5.00	4.50	4.64	3.00	4.00	4.80	4.00	4.40	5.00	4.40	4.46	4.83	4.75	4.00	4.55	4.38	4.40	—
	講義⑥ グリーンコープ講師	4.27	5.00	3.63	4.54	3.00	4.00	4.80	4.00	5.00	4.17	4.08	4.36	4.83	4.75	4.20	4.28	4.38	4.20	—
	講義⑦ 行岡氏・近澤氏・細野氏	4.57	5.00	4.50	4.42	5.00	4.50	4.80	4.50	4.33	4.80	4.50	4.67	4.83	4.75	4.25	4.56	4.38	4.20	—
	実習② グリーンコープ講師	4.40	5.00	4.38	4.32	4.50	4.00	4.75	4.00	3.33	4.60	5.00	4.38	4.40	4.75	3.80	4.28	4.57	4.40	—
	実習③-1 グリーンコープ講師	4.41	5.00	4.38	4.50	3.50	4.50	4.67	4.50	3.33	4.60	5.00	4.25	4.83	4.75	4.20	4.45	4.14	4.40	—
	実習③-2 グリーンコープ講師	4.46	5.00	4.63	4.44	4.50	4.00	4.67	4.00	3.50	4.50	5.00	4.42	4.80	4.67	4.00	4.41	4.43	4.40	—
	実習③-3 グリーンコープ講師	4.09	0.00	4.38	4.43	2.00	4.50	4.67	4.50	5.00	4.60	5.00	4.25	5.00	4.67	4.00	4.41	4.38	4.20	—
	講義⑧ 行岡氏	4.36	5.00	4.50	4.42	1.00	4.00	4.75	4.00	5.00	4.80	5.00	4.08	4.83	4.75	4.20	4.46	4.13	4.40	—
研修全般	4.45	5.00	4.00	4.54	3.50	5.00	4.75	5.00	4.50	4.00	4.75	4.08	4.80	4.67	4.33	4.47	4.33	4.25	—	

	全体値 平均	所 属 先									地 域 の 規 模						経 験 年 数			
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 3 0 万 人	④ 5 0 万 人	⑤ 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① 1 年 未 満	② 1 年 ～ 3 年	③ 3 年 ～ 5 年	④ 5 年 以 上
【第2回】 家計	該当人数	1	13	30	1	3	0	5	6	4	12	17	17	7	5	3	38	10	1	2
	講義① 三浦氏	3.00	4.15	4.17	3.00	4.00	—	4.00	4.67	4.25	4.17	4.24	3.81	4.14	4.60	4.67	4.03	4.58	5.00	4.00
	講義② 伊藤氏	2.00	3.92	4.10	3.00	3.33	—	3.80	4.50	4.50	3.92	4.12	3.56	4.00	4.80	4.67	4.03	4.08	5.00	4.00
	講義③ 清水氏	2.00	4.31	4.07	3.00	3.50	—	4.00	4.67	4.50	4.08	4.41	3.63	4.17	4.60	4.33	3.94	4.50	5.00	4.00
	講義④ 近岡氏	1.00	4.54	4.45	4.00	4.50	—	4.60	4.83	4.50	4.17	4.59	4.38	4.33	4.60	5.00	4.32	4.67	5.00	3.50
	講義⑤ グリーンコープ講師	3.00	4.38	4.28	3.00	4.67	—	4.00	4.83	4.00	4.42	4.25	4.00	4.29	4.80	4.33	4.18	4.64	5.00	3.50
	講義⑥ グリーンコープ講師	3.00	4.38	4.36	4.00	4.67	—	4.25	4.83	4.50	4.25	4.44	4.33	4.29	4.80	4.33	4.31	4.64	5.00	3.50
	実習①(近澤・行岡)	4.00	4.31	4.39	3.00	5.00	—	4.40	5.00	4.25	4.42	4.31	4.38	4.29	4.80	4.67	4.33	4.82	5.00	3.50
	演習① グリーンコープ講師	4.00	4.42	4.33	4.00	4.00	—	4.25	4.83	4.25	4.33	4.25	4.13	4.57	4.75	5.00	4.25	4.73	5.00	4.00
	講義⑦ 行岡氏・近澤氏・細野氏	4.00	4.62	4.48	4.00	4.33	—	3.80	5.00	4.33	4.50	4.53	4.19	4.86	4.50	4.33	4.36	4.82	5.00	4.50
	実習② グリーンコープ講師	4.00	4.58	4.68	3.00	4.67	—	4.20	5.00	4.50	4.67	4.69	4.44	4.57	4.75	4.33	4.51	4.91	5.00	4.00
	実習② グリーンコープ講師	4.00	4.54	4.61	3.00	4.67	—	4.40	5.00	4.25	4.58	4.63	4.44	4.43	4.60	4.50	4.49	4.82	5.00	3.50
	実習③-1 グリーンコープ講師	4.00	4.54	4.71	4.00	4.67	—	4.20	5.00	4.50	4.67	4.63	4.44	4.71	4.80	4.50	4.58	4.82	5.00	4.00
	実習③-2 グリーンコープ講師	4.00	4.58	4.52	4.00	5.00	—	4.40	5.00	5.00	4.50	4.64	4.56	4.71	4.60	4.67	4.48	5.00	5.00	4.50
	実習③-3 グリーンコープ講師	4.00	4.67	4.52	4.00	4.67	—	4.25	5.00	4.33	4.45	4.73	4.31	4.57	4.75	5.00	4.50	4.90	5.00	4.00
	講義⑧ グリーンコープ講師	4.00	4.58	4.64	4.00	4.67	—	4.75	5.00	4.50	4.67	4.67	4.44	4.67	4.80	5.00	4.55	4.90	5.00	4.50

	全体値 平均	所 属 先									地 域 の 規 模						経 験 年 数				
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 3 0 万 人	④ 5 0 万 人	⑤ 1 0 0 万 人	⑥ 1 0 0 万 人 以 上	① 1 年 未 満	② 1 年 以 上 3 年 未 満	③ 3 年 以 上 5 年 未 満	④ 5 年 以 上	
		0	8	37	1	0	2	0	5	0	4	3	21	3	19	2	45	2	1	0	
【第3回】 家計	該当人数	54																			
	講義① 藤村氏	4.00	—	4.00	3.73	4.00	—	4.00	—	4.20	—	3.50	5.00	3.57	4.33	3.84	4.50	3.82	3.50	4.00	—
	講義② 伊藤氏	4.04	—	4.13	3.76	4.00	—	4.00	—	4.40	—	3.25	4.67	3.76	4.33	3.89	4.50	3.91	4.00	4.00	—
	講義③ 福田氏	3.88	—	3.88	3.49	4.00	—	4.00	—	3.80	—	2.75	4.33	3.52	4.33	3.58	4.50	3.62	4.50	4.00	—
	講義④ 近岡氏	4.72	—	4.38	4.51	5.00	—	5.00	—	4.80	—	4.00	5.00	4.57	5.00	4.44	5.00	4.44	5.00	5.00	—
	講義⑤ グリーンコープ講師	4.70	—	4.38	4.35	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.00	5.00	4.43	5.00	4.32	5.00	4.37	5.00	5.00	—
	講義⑥ グリーンコープ講師	4.76	—	4.38	4.50	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.25	5.00	4.62	5.00	4.33	5.00	4.52	5.00	5.00	—
	実習① グリーンコープ講師	4.79	—	4.63	4.43	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.75	5.00	4.43	5.00	4.42	5.00	4.46	5.00	5.00	—
	演習① グリーンコープ講師	4.81	—	4.57	4.56	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.50	5.00	4.57	5.00	4.50	5.00	4.58	5.00	5.00	—
	講義⑦ 行岡氏・近澤氏・細野氏	4.67	—	4.71	4.24	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.25	5.00	4.21	4.67	4.50	5.00	4.30	4.50	5.00	—
	実習② グリーンコープ講師	4.63	—	4.50	4.29	5.00	—	5.00	—	5.00	—	3.75	5.00	4.35	4.67	4.47	5.00	4.32	4.50	5.00	—
	実習③-1 グリーンコープ講師	4.76	—	4.63	4.40	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.25	5.00	4.53	5.00	4.37	5.00	4.41	5.00	5.00	—
	実習③-2 グリーンコープ講師	4.77	—	4.63	4.39	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.25	5.00	4.60	5.00	4.42	5.00	4.51	5.00	5.00	—
	実習③-3 グリーンコープ講師	4.66	—	4.50	4.11	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.00	5.00	4.19	5.00	4.26	5.00	4.20	5.00	5.00	—
	講義⑧ グリーンコープ講師	4.39	—	4.50	4.18	4.00	—	5.00	—	5.00	—	3.50	4.33	4.29	4.33	4.50	5.00	4.27	4.50	4.00	—
	研修全般	4.79	—	5.00	4.34	5.00	—	5.00	—	5.00	—	4.25	5.00	4.47	5.00	4.53	5.00	4.54	5.00	5.00	—

	全体値 平均	所 属 先								地 域 の 規 模						経 験 年 数					
		① 直 営 ・ 都 道 府 県 庁	② 直 営 ・ 市 区 町 村	③ 社 協	④ 社 協 以 外 の 社 福	⑤ 社 団 財 団 法 人	⑥ 株 式 会 社 等	⑦ N P O 法 人	⑧ 協 同 組 合	⑨ そ の 他	① 5 万 人 未 満	② 1 0 万 人	③ 1 0 万 人	④ 1 0 万 人	⑤ 1 0 万 人	⑥ 1 0 万 人 以 上	① 1 年 未 満	② 1 年 ～ 3 年	③ 3 年 ～ 5 年	④ 5 年 以 上	
		該 当 人 数	64	2	6	26	4	1	1	4	5	14	13	14	4	2	1	31	19	2	0
【第4回】 家 計		講義① 三浦氏	3.88	4.00	4.00	3.92	4.25	3.00	4.00	4.50	4.00	3.71	3.69	4.14	3.75	3.50	4.00	4.10	3.84	4.50	—
		講義② 伊藤氏	3.72	4.00	4.00	3.78	4.25	2.00	4.00	4.50	2.80	3.86	3.92	3.86	4.00	4.00	4.00	4.00	3.89	4.50	—
		講義③ 清水氏	3.90	4.50	3.83	3.83	4.50	4.00	4.00	4.50	4.00	3.71	3.23	3.79	3.75	4.50	4.00	3.74	3.58	4.50	—
		講義④ 近岡氏	4.69	5.00	4.67	4.64	5.00	5.00	5.00	4.50	5.00	4.54	4.54	4.69	4.00	5.00	5.00	4.64	4.44	5.00	—
		講義⑤ グリーンコープ講師	4.42	4.50	4.50	4.25	4.25	3.00	5.00	4.75	4.20	4.57	4.15	4.50	4.25	5.00	5.00	4.61	4.32	5.00	—
		講義⑥ グリーンコープ講師	4.67	5.00	4.83	4.58	5.00	5.00	5.00	4.75	4.50	4.50	4.50	4.57	4.50	5.00	5.00	4.72	4.33	5.00	—
		実習① グリーンコープ講師	4.61	5.00	4.00	4.36	4.25	5.00	4.00	4.75	3.80	4.50	4.46	4.64	4.25	5.00	5.00	4.79	4.42	5.00	—
		演習① グリーンコープ講師	4.63	5.00	4.40	4.32	4.75	4.00	5.00	4.67	4.00	4.62	4.42	4.77	4.50	5.00	5.00	4.77	4.50	5.00	—
		講義⑦ 行岡氏・近澤氏・細野氏	4.49	4.50	4.83	4.44	4.50	3.00	5.00	5.00	4.75	4.33	4.55	4.57	3.75	4.50	5.00	4.53	4.50	5.00	—
		実習② グリーンコープ講師	4.50	4.50	4.80	4.46	4.25	5.00	5.00	4.75	4.75	4.62	4.33	4.57	3.75	4.50	5.00	4.44	4.47	5.00	—
		実習③-1 グリーンコープ講師	4.58	4.40	4.40	4.48	4.50	5.00	5.00	4.75	4.75	4.46	4.54	4.64	4.00	5.00	5.00	4.69	4.37	5.00	—
		実習③-2 グリーンコープ講師	4.65	5.00	4.50	4.61	4.75	5.00	5.00	4.75	4.60	4.46	4.62	4.71	4.25	5.00	5.00	4.71	4.42	5.00	—
		実習③-3 グリーンコープ講師	4.29	4.00	4.17	4.58	4.50	0.00	5.00	4.75	4.50	4.21	4.23	4.36	4.00	5.00	5.00	4.55	4.26	5.00	—
		講義⑧ グリーンコープ講師	4.35	4.50	4.80	4.09	4.00	4.00	5.00	4.60	4.60	4.43	4.33	4.33	4.00	4.50	4.00	4.11	4.50	5.00	—
		研修全般	4.62	4.50	4.80	4.46	4.75	4.00	5.00	4.75	4.20	4.46	4.54	4.64	4.50	5.00	5.00	4.68	4.53	5.00	—

7 都道府県研修に係る担当者研修

		全体値 平均	所属先									立場		
			① 直営・ 都道府県庁	② 直営・ 市区町村	③ 社協	④ 社協以外 の社福	⑤ 社団財団 法人	⑥ 株式会 社等	⑦ N P O 法人	⑧ 協同組 合	⑨ その他	① 都道府 県の研 修担当 者	② 企画 検討メ ンバー	③ その他
【前期】 担当者	該当人数	71	44	1	14	2	7	0	0	0	1	44	13	8
	講義と演習1 加留部氏・新保氏	4.21	4.30	4.00	4.36	4.00	4.43	—	—	—	4.00	4.30	4.67	3.88
	講義と演習2 平野氏・加留部氏・新保氏 ・石原氏・河野氏	4.37	4.39	5.00	4.50	4.00	4.29	—	—	—	4.00	4.39	4.62	4.13
	講義と演習3 加留部氏	4.59	4.67	5.00	4.64	4.50	4.57	—	—	—	4.00	4.67	4.62	4.63
	研修全般	4.58	4.60	5.00	4.50	5.00	4.57	—	—	—	4.00	4.62	4.54	4.43

		全体値 平均	所属先									立場		
			① 行政・ 都道府 県	② 行政・ 市区町 村	③ 社協	④ 社協以外 の社福	⑤ 社団財団 法人	⑥ 株式会 社等	⑦ N P O 法人	⑧ 協同組 合	⑨ その他	① 都道府 県の研 修担当 者	② 企画 検討メ ンバー	③ その他
【後期】 担当者	当該人数	64	38	2	15	2	7	0	0	0	0	38	16	2
	講義と演習1 加留部氏・新保氏	4.32	4.26	4.00	4.40	4.00	4.71	—	—	—	—	4.24	4.44	4.50
	講義と演習2 平野氏・加留部氏・新保氏 ・規家氏・三浦氏	4.62	4.62	4.50	4.43	4.50	4.83	—	—	—	—	4.57	4.53	5.00
	講義と演習3 加留部氏・新保氏	4.41	4.42	4.00	4.27	4.00	4.86	—	—	—	—	4.34	4.40	5.00
	研修全般	4.55	4.45	4.50	4.43	4.00	5.00	—	—	—	—	4.39	4.63	5.00

第5章 研修の評価

1 本研修の特色

企画・運営委員会および各研修企画部会における議論を受けて、次の特色を持たせるべく研修講師と協議して研修を実施した。

(1) 事業従事者の役割や求められる力量を踏まえたカリキュラムづくり

①自立相談支援事業従事者養成研修【前期】共通研修

主任相談支援員、相談支援員、就労支援員を対象とした前期共通研修は、理念、地域づくり、対象者の特性、相談支援の展開、就労支援の基礎を深める研修内容に留意した。また、これまでの研修内容を踏襲しつつ、若年女性など相談窓口につながりにくい人たちへの支援についてのプログラムを盛り込んだほか、就労支援や地域づくりに関する新たな実践報告を加えるなど、研修ニーズを考慮したプログラムを実施した。

②自立相談支援事業従事者養成研修【後期】研修

各職種の後期研修については、それぞれの役割を理解し、必要とされる知識、技術、態度を獲得できるよう演習を中心としたプログラムづくりを行い、より専門性を高める内容とした。それぞれの後期研修企画部会としての考え方の整理は次のとおりである。

ア) 主任相談支援員

生活困窮者への相談に関し高度な相談支援能力を持ち、支援困難ケースに対応するとともに、相談業務のマネジメントや相談支援員へのスーパービジョン、社会資源開発と地域づくりなどを行う能力を獲得するプログラムとした。

イ) 相談支援員

生活困窮者への個別的・継続的・包括的な支援（アセスメント、自立支援計画の策定、支援調整会議の実施、終結等の一連の支援プロセス）や、個を支える地域づくりについて学ぶプログラムとした。

ウ) 就労支援員

自立相談支援機関において、生活困窮者への就労支援（就労支援を通じた地域づくり、就労支援のプログラムづくり、企業開拓や企業へのアプローチ等）を行うための知識や技術を学ぶプログラムとした。

③就労準備支援事業従事者養成研修

就労準備支援事業担当者に求められる基本理念や責務、役割について理解するとともに、利用者との支援関係の構築、アウトリーチと危機管理、就労準備支援プログラムの作成、支援方法を教示した。また、自立相談支援機関との連携、企業開拓、就労体験を中心とした取り組み等、就労準備支援を効果的に進めていくための取り組みについて実践報告も交えながら学ぶプログラムとした。

④家計相談支援事業従事者養成研修

相談者の状況・背景や家計相談支援員に求められる倫理・責務・役割を理解し、相談者自身が主体

的に家計を管理する意欲を引き出すような支援のあり方について教示した。また、多重・過重債務問題の理解と、利用できる制度や法律を教示した。さらに、初回面接から終結に至るまでの一連の流れを学ぶとともに、家計表等の作成において求められる情報収集の方法や分析視点を理解するプログラムとした。なお、研修実施については、昨年度と同様にグリーンコープ連合に一部業務を再委託した。

⑤都道府県研修に係る担当者研修

都道府県が実施する研修の企画立案・運営に携わる中核的な役割を担う者を養成することを目的に、昨年度同様前後期の2回開催とした。平成32年度から生活困窮者支援に従事する支援員の修了要件となる研修が都道府県に移管されることを踏まえ、厚労省が示した3つのポイントに沿って取り組みを振り返り、今後の検討を行った。前期研修では、県内研修についての実践報告や、本制度に関する研修運営の方法等について教示し、後期研修では、前期研修で学んだ内容を踏まえて実践した各都道府県における研修に関する取り組みを参加者同士で共有し、振り返りを行うとともに、次年度の計画を具体的に考えるプログラムとした。

(2) 多様な演習（グループワーク）による学習

多様な演習（グループワーク）を通じて問題意識を深めることや事例の見立ての際の重要な視点などについて共通理解を図った。また、多様な演習手法を経験することで、参加者自身のファシリテーション技術の向上に寄与した。

(3) 地域に戻って研修内容を伝える機会づくりを受講者に求めた

自立相談支援事業従事者養成研修【前期】における研修会の目標として、①基本を学ぶ、②学んだことを実践できる、③伝達できる（講師になれる）の3点を受講者に伝え、伝達できるようになることを前提として学習することを促した。各講師も受講者自身が講師になることを意識して、講義・演習の組み立てや資料作成を行った。

(4) 振り返り時間の設定と学びのポイントの可視化

昨年度に引き続き、研修期間中毎日、「振り返り時間」を設けた。これは、個々の受講者が、その日の学びや気づきについてのディスカッションやアンケート記入などの時間を設けることで、一日の学習の整理と翌日への心構えやモチベーション向上を図る意図から導入したものである。

また、全研修において「学びの見取り図」を作成した。研修で何をどう学ぶのか、プログラム別に講師が伝えたいことを可視化し、その日の開始時や振り返り時間にて共通理解を図った。

(5) 受講者向けの課題の設定

研修の学びの効果や相談員としての意識の醸成を図るため、適宜、事前課題を受講者に課した。【前期】共通研修、就労準備支援事業従事者養成研修、家計相談支援研修においては、日ごろの業務・支援のなかで感じている課題や、本研修で学びたいと思っていることをまとめるものとした。【前期】共通研修では、研修冒頭に事前課題を利用し、参加者同士が自己紹介をする時間を設定するなど、参加者同士の交流が生まれやすい工夫をした。

また、【後期】主任相談支援員研修、【後期】就労支援員研修においては、実際の事例を整理したシートを参加者が事前に作成して持参し、グループワークをはじめとした研修プログラムにて活用した。

(6) テーマ別交流会の設定

一部の研修について、研修終了後に自由参加のテーマ別交流会を開催した。講師の専門分野に応じたのテーマを設け、日ごろの業務・支援における課題や悩みの相談、講義内容をより深く理解するための質疑応答機会を提供した。あわせて、情報や課題の共有などを行い、受講者同士のつながりを築く場とした。

2 成果と課題

各企画部会委員、研修会講師より出された意見と、受講生への事後アンケートからみる本研修の成果と課題について以下にまとめる。

(1) 自立相談支援事業従事者養成研修 【前期】共通カリキュラム

<成果>

- 受講生の事後アンケートより、研修の目標①基本を学ぶ、②学んだことを実践できる、③伝達できる（講師になれる）について、達成できたと考える受講生が多かったことから、研修の目標は達成できたと考えられる。
- 相談窓口に来ることができない人も含めて本事業の利用対象者であることの気づきを促すため、「つながりにくい相談者への支援」のプログラムを新設した。事後アンケートでは、「窓口に来ることができない人たちは具体的にどのような課題を抱えているケースがあるのか分かり、アウトリーチの重要性を改めて知った」、「SNSの活用や支援方法について学べた」といった声があり、意識してもらうのに効果的だったと考えられる。

<課題>

- 事後アンケートより、研修中の講義においてもテキストを活用してほしいとの声があったことから、今後伝達していくうえでもテキストの活用を検討する必要がある。
- 先駆的な事例とともに、もう少し身近な事例があると参考にしやすいとの意見があり、例えば修了生の実践報告を増やす等事例の選定について検討する必要がある。

(2) 自立相談支援事業従事者養成研修 【後期】主任相談支援員養成研修

<成果>

- 事後アンケートより、地域づくりやスーパービジョンといった主任相談支援員の役割について、改めて理解を深めることができ、研修受講の大きな成果だったと考える受講生が多く見られた。
- 支援についてのみならず、チームのなかで情報共有を行うことの重要性や、よりよい職場づくりについて再認識したという受講生が多く、職員の資質向上と職場づくりについて意識を高めることができた。
- 昨年度は一つのプログラムに①事例理解を深めることを目的とする事例検討、②スーパービジョンを理解するための事例検討の両方を盛り込んでいたが、今年度は別々のプログラムとした。特にスーパービジョンについて、実践にひきよせて考えられたという意見が多く見られた。
- テーマ別交流会では、主任相談支援員の役割・スーパービジョン、個を支える地域づくり、社会資源ネットワークづくり等のテーマに分かれて、日ごろの悩みや課題を共有し、学びを深めることができた。

＜課題＞

- 研修日程短縮の関係で、「主任相談支援員の役割と実践」に関する独立したプログラムが盛り込めなかった。主任相談支援員の役割等を解説するプログラムについて検討する必要がある。
- 「事例検討の意義と理解」や「スーパービジョンの実際」については、実践者としての事例等へのコメントに加えて、学識者からの全体的なまとめがあると更に良い。

（３）自立相談支援事業従事者養成研修 【後期】相談支援員養成研修

＜成果＞

- 事後アンケートより、相談受付、インテーク・アセスメント、プラン策定、評価・終結までの一連の支援プロセスについて、事例に基づき帳票を用いて学ぶことができ、さまざまな可能性を考えて支援することや、相談者主体で支援を考えるなど、支援のポイントが分かったと回答する受講生が多くいた。
- 研修修了生に演習協力者として登壇をしていただき、より受講生に近い立場からコメントをしてもらうことができた。
- 日程を短縮するとともに、昨年度までのプログラムを見直し、プログラム間の内容の重複が整理された。

＜課題＞

- 事後アンケートにおいて、支援調整会議等の運営方法などについても事例を聞いてみたいという要望があった。
- 事後アンケートでは、多機関との連携、職場内の連携といったチームによる支援の重要性を述べる受講者が多かった。また、そうした連携について相談支援員という立場でどこまで実践できるのか不安に感じる意見が一定数みられた。

（４）自立相談支援事業従事者養成研修 【後期】就労支援員養成研修

＜成果＞

- 支援対象者の事例概要を記入する事前課題を提出したうえで研修に参加してもらうことで、研修期間中、常に支援対象者を意識しながら取り組むことができた。
- 「環境支援型就労支援～企業とのチーム支援の手法～」においては企業文化や相談者の状況が見える化する手法を学ぶことができ、具体的に考えられたという意見が多くあった。また、後日、事務局を通じて受講生に講師が開発した「就労支援ツール」を配布し、それぞれの現場ですぐに使えるツールを提供することができた。
- テーマ別交流会では、組織づくり・マネジメント、地域づくり、企業開拓・アプローチ、何でもお悩み共有の４つのテーマに分かれて日ごろの悩みや課題を深めて共有できた。

＜課題＞

- 福祉以外の分野の企業等の開拓方法や協力関係づくりについてもう少し具体的に事例を聞きたいという意見があった。

- 事後アンケートより、全体的にプログラムの内容に対して研修時間が足りず、少し消化不良に感じている受講生も多かった。
- テーマ別交流会のなかで、多機関との連携に加えて、組織内での人材育成に課題を抱えているとの声が多く出された。プログラムのなかで組織マネジメントについて触れることも考えられる。

(5) 就労準備支援事業従事者養成研修

<成果>

- 事前に受講生に日程表を送り、各講師への質問を受け付け、プログラム内でその質問に回答していただくようにすることで、受講生のニーズにより応えられた。
- 支援においては、就労準備支援と自立相談支援事業の連携が不可欠である。昨年度は各プログラムの中で連携の重要性を伝えていたが、今年度は一つのプログラムとすることで、より受講生に意識的に伝えることができた。
- ワールド・カフェ方式など、受講生同士のつながりを構築できるような演習手法を取り入れ、受講生の事後アンケートにおいても好評だった。

<課題>

- 実践報告については、現在の取り組みに加えて事業の最初の仕組みづくりや経過など、事業が軌道に乗る前の話について詳しく聞きたいという声があった、次年度の実践報告の際には、現在の取り組みに加え、活動を始めた時の苦労やネットワークの組み方などについて触れてもらえると、より受講生の参考になるのではないかと。
- 研修日程を4日間から2.5日間に短縮して参加しやすくなったと考える受講生がいる一方、もう少し研修期間を長くして企業開拓の具体的な方法等もう少し学びたいという要望もあった。

(6) 家計相談支援事業従事者養成研修

<成果>

- 今年度から4回開催することにより、これまで以上に多くの受講生に参加してもらえた。
- パソコンを用いてキャッシュフロー表等を作成する実習を行ったことで、ツールの正しい使い方や活用方法について学ぶことができた、という感想が多く見られた。
- 生活福祉資金貸付事業や生活保護制度、債務整理について学ぶことにより、利用者への説明や関係機関への相談がしやすくなったという意見が寄せられた。

<課題>

- 自立相談支援関係の相談支援員と兼務している受講生が一定数おり、家計相談支援事業と自立相談支援事業との役割分担に関する意見などが見受けられた。
- 家計相談支援事業について学べる場が少ないこともあり、事後アンケートからも受講者の勤務年数や経験値の違いによって研修ニーズが異なっていることがうかがえる。よりニーズに

応えるプログラムについて検討が必要。

（７）都道府県研修に係る担当者研修

＜成果＞

- 前期で学んだ内容や、得た情報を各都道府県の研修企画等に活かしていただき、その報告を後期で行うことで、行った研修の課題や成果を具体的に振り返り、共有することができた。
- 後期研修では、事前提出課題として各都道府県の研修の取り組みを提出していただき、その結果をフィードバックした。また、各都道府県の研修会資料等を会場で閲覧できるようにすることで、実践報告に加えて、具体的に各都道府県の取り組みを共有できた。
- 厚労省が示した３つのポイント（①参加型研修の形式を取り入れる ②研修企画チームをつくり企画立案する ③制度の理念と基本姿勢を伝える）に沿って各都道府県の取り組みを振り返ってもらい、具体的に来年度の研修計画を立てることができた。
- 行政の担当者と研修企画チームのメンバーが一緒に参加している都道府県もあり、各都道府県で研修の企画にむけて行政担当者だけでなく、チームでの検討が進められていることが分かった。
- 多くの参加者が、前期研修での内容をふまえて、研修の企画・実施に取り組んでいた。様々な工夫があり、今後の都道府県での研修実施にむけての参考となる情報が多く得られる研修であった。

＜課題＞

- 本研修に参加していない（できなかった）都道府県の参加を、今後どのように促すかが課題である。
- 本研修では交流会は実施していないが、平成 32 年度から都道府県が研修の実施主体になるにあたり、近隣やブロック内の意見交換や連携もより重要になることから、参加者同士の交流の場を要望する声もあげられていた。

（８）研修事業全体について

①研修カリキュラムについて

○研修の目的の明確化について

- ・全ての研修において制度の理念を大切に伝えているが、伝達等を繰り返しているうちに理念の重要性は薄まっていってしまう可能性もある。制度の理念については、繰り返し、何度も学ぶ機会をつくる必要がある。

○プログラムについて

- ・都道府県での研修実施に向け、カリキュラムと各プログラムの内容の標準化を意識することが必要。e ラーニングや映像教材の作成なども含めて検討することが考えられる。
- ・課題が複雑・多様化し、解決が難しいケースも増えてきており、現場では事例検討が非常に重要である。各地域で事例検討ができるようにしていく必要がある。
- ・平成 32 年度から都道府県が研修の実施主体になることを勘案すると、国研修受講者を企画チームや講師の担い手としていく必要がある。その意味でも、今年度の研修で実施したように、研修修了者に国研修の実践報告や、演習協力者として関わってもらうことは有効と考えられる。

○実践報告事例の選定について

- ・先駆的な取り組みの中においても「失敗したこと」や「苦労したこと」に触れていただくことで、それぞれが地元に戻ったあとにより支援に活かせるのではないかと。
- ・非常に進んでいる取り組みは理想を見せる意味でも重要である。一方で、標準的なものを発表してもらうことで、汎用性のある事例となり、受講生がそれぞれで参考となる点を見出すことにつながり、どちらも重要である。

○研修運営について

- ・講義を聴くだけの時間が続くことのないよう、短時間のバズセッションを入れることなどで、受講生自身も主体的に参加する意識が強まり、集中力が維持された。

②研修事業について

- 平成 32 年度から都道府県が研修の実施主体になるが、現状では、各都道府県の取り組みにはかなり差がある。今後の研修における都道府県と国の役割についても明確にしていく必要がある。
- 来年度に向けては、都道府県の研修リーダーを具体的に育成できるかが課題である。また、各都道府県が具体的に研修事業を進められるような具体的なツールの開発等について、引き続き推進していく必要がある。

第6章 業務の運営

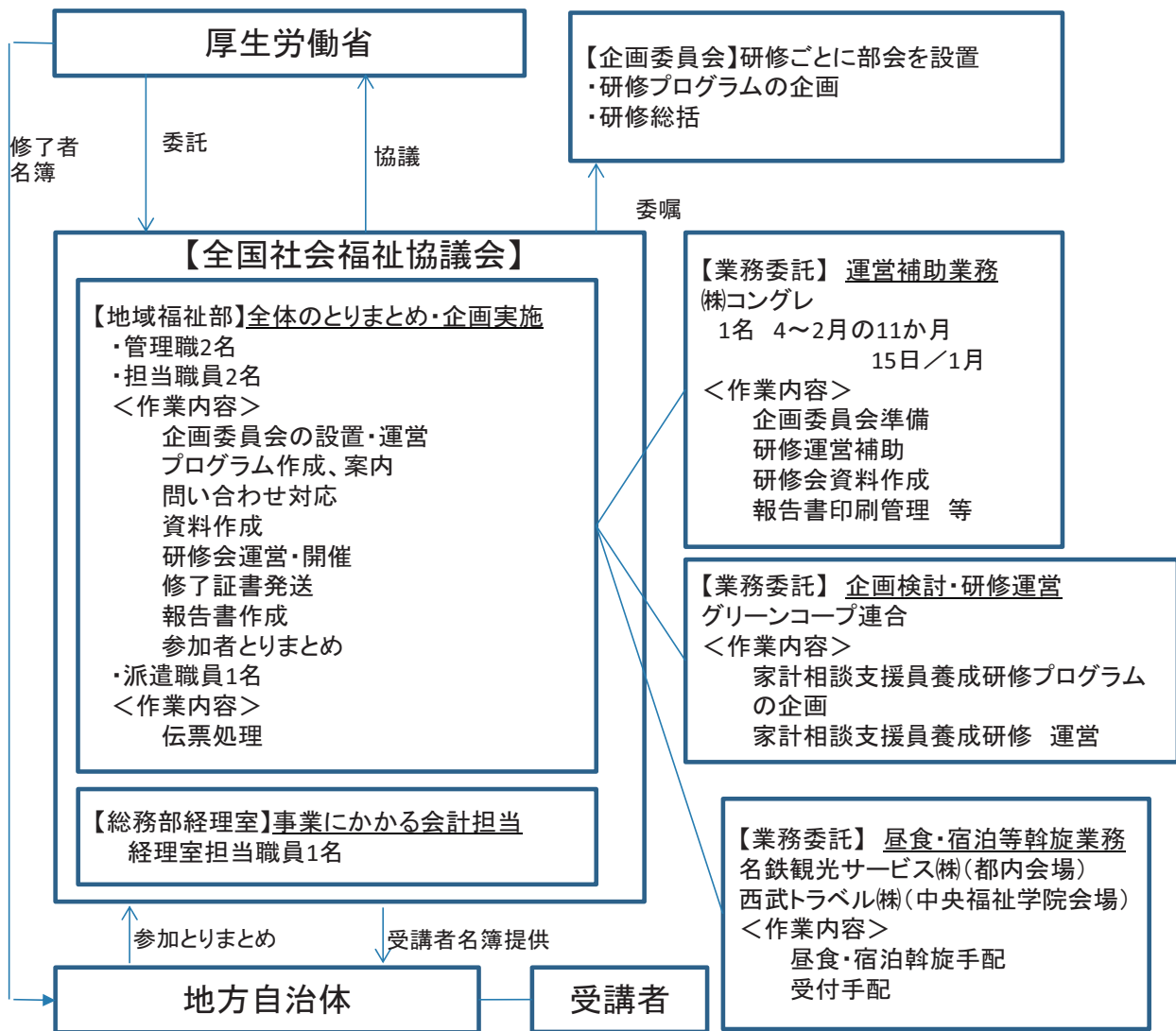
1 受け入れから実施報告までのスケジュール

◇受け入れから報告までのスケジュール(日程)

4/10	企画・運営委員会の開催	事業実施計画の確認 研修プログラム検討(講師選定含)	企画委員選定協議 会場調整等	
4月中旬～	研修プログラムの作成	企画委員会で協議された内容に沿って、研修プログラムを作成する ※講師の依頼について可能な範囲で進める ※会場確保(演習に必要な会場等)	プログラム案作成 開催要綱等作成	講師依頼
4/20	第1回家計相談企画部会の開催	【家計】研修の企画・検討 今後の進め方確認		企画委員会検討準備
5/7	第1回主任相談支援員企画部会の開催	【後期】主任プログラム検討 今後の進め方確認	問い合わせ対応 (～1月)	
5/7	第1回都道府県研修に係る担当者研修企画部会の開催	【担当者研修】研修の企画・検討 今後の進め方確認		
5月下旬	開催案内	開催要綱作成、発送、募集		
5/29	【前期】都道府県研修に係る担当者研修		研修資料作成 備品等研修準備	
6月上旬	受講者の決定・案内	行政が取りまとめた申込の集約、厚労省と調整・確認のうえ受講決定案内	受講決定案内	
6/5～7	第1回家計相談支援事業従事者養成研修		修了証書発行	
6/7	第2回家計相談企画部会の開催			
6/14	第2回主任相談支援員企画部会の開催	【後期】主任プログラム検討		
6/14	第1回相談支援員企画部会の開催	【後期】相談プログラム検討 今後の進め方確認		
7/3～5	【前期】 共通カリキュラム(第1回)			
7/4	第2回相談支援員企画部会開催	【後期】相談プログラム検討		
7/18	第3回主任相談支援員企画部会開催	【後期】主任プログラム検討		
7/27	就労準備企画部会の開催	【就労準備】研修の企画・検討 今後の進め方確認		
7/30～8/1	【前期】 共通カリキュラム(第2回)			
8/22～24	【後期】 主任相談支援員養成研修		修了証書発行	
9/3～5	【前期】 共通カリキュラム(第3回)			
9/5	第3回相談支援員企画部会の開催	【後期】相談プログラム検討		
9/10～12	第2回家計相談支援事業従事者養成研修		修了証書発行	
9/18	第1回就労支援員企画部会の開催	【後期】就労プログラム検討 今後の進め方確認		
9/18	第2回就労準備企画部会の開催	【就労準備】研修の企画・検討		

9/25～27	第3回家計相談支援事業従事者養成研修		修了証書発行	
10/3～5	就労準備支援事業従事者養成研修		修了証書発行	
10/17～19	【後期】 相談支援員養成研修(第1回)		修了証書発行	
11/19～21	【後期】 相談支援員養成研修(第2回)		修了証書発行	
12/5～7	【後期】 就労支援員養成研修		修了証書発行	
12/6	第2回就労支援員企画部会の開催	【後期】就労プログラム検討		
12/7	第2回都道府県研修に係る担当者 研修企画部会の開催	【担当者研修】研修の企画・検討		
12/19～21	第4回家計相談支援事業従事者養成研修		修了証書発行	
1/30	都道府県研修に係る担当者研修			
1/29	第3回都道府県研修に係る担当者 研修企画部会の開催	【担当者研修】研修の企画・検討		
2月上旬～	実施報告書作成	事業の実績をとりまとめ、報告書を作成する。	アンケート集約	
～2月末	研修完了業務	会計処理 修了者名簿の作成と厚生労働省へ提供	報告書作成	

2 実施体制



付録

- 1 開催要項
- 2 修了証書（ひな形）

生活困窮者自立支援制度人材養成研修（厚生労働省委託事業）

平成 30 年度 自立相談支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の種類

生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業において配置される主任相談支援員、相談支援員、就労支援員それぞれを対象とした 3 種の養成研修を実施します。

2. 日程・定員・会場

研 修 名		日 程	定員	会 場
自立 相談 支援 事業	【前期】共通研修	第1回 7月3日(火)～5日(木)	320名	全社協・灘尾ホール
		第2回 7月30日(月)～8月1日(水)	320名	全社協・灘尾ホール
		第3回 9月3日(月)～9月5日(水)	320名	全社協・灘尾ホール
	【後期】主任相談支援員養成研修	8月22日(水)～24日(金)	240名	全社協・中央福祉学院
	【後期】相談支援員養成研修	第1回 10月17日(水)～19日(金)	240名	全社協・中央福祉学院
		第2回 11月19日(月)～21日(水)	240名	大阪市・OMM会議室
	【後期】就労支援員養成研修	12月5日(水)～7日(金)	240名	全社協・中央福祉学院
就労準備支援事業従事者養成研修		10月3日(水)～5日(金)	120名	東京都・タイム24ビル
家計相談支援事業従事者養成研修		第1回 6月5日(火)～7日(金)	60名	全社協・会議室
		第2回 9月10日(月)～12日(水)	60名	全社協・会議室
		第3回 9月25日(火)～27日(木)	60名	大阪市・OMM会議室
		第4回 12月19日(水)～21日(金)	60名	全社協・会議室
担当者研修		【前期】5月29日(火)	140名	全社協・灘尾ホール
		【後期】1月29日(火)	132名	全社協・会議室

<会場>

【前期】全国社会福祉協議会 灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

※アクセスは web サイト（ <http://www.shakyo.or.jp/jncsw/access.html> ）でご確認ください。

【後期】全国社会福祉協議会 中央福祉学院

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

TEL 046-858-1355 FAX 046-858-1356

※アクセスは web サイト (<http://www.gakuin.gr.jp/>) でご確認ください。

【後期】 OMM A ホール (大阪市内, 【後期】 相談支援員養成研修【第 2 回】のみ)

〒540-6591 大阪市中央区大手前 1-7-31

TEL 06-6943-2020 FAX 06-6943-2021

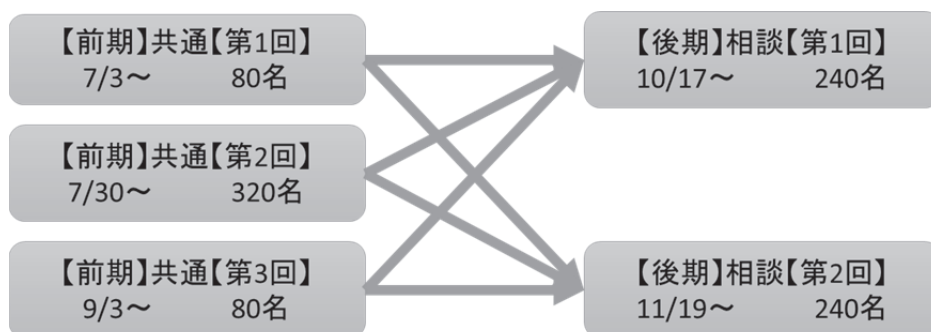
※アクセスは web サイト (<http://www.omm.co.jp/access/index.html>) でご確認ください。

3. 職種別の受講パターン

(1) 主任相談支援員 (240 名)



(2) 相談支援員 (480 名)



相談支援員は、【前期】、【後期】それぞれ受講希望回を受講申込書にて確認します。各回の内容は同様です。
受講回の決定は事務局および厚生労働省が行い、基本的に変更はできません。あらかじめご了承ください。

(3) 就労支援員 (240 名)



4. 受講対象

(1) 主任相談支援員養成研修

自立相談支援事業において主任相談支援員として配置されている者。

なお、以下の①～③までのいずれかに該当する者。

①社会福祉士、精神保健福祉士、保健師として保健、医療、福祉、就労、教育等の分野における業務に5年以上従事している者であり、かつ、生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に3年以上従事している者

②生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に5年以上従事している者

③相談支援業務に準ずる業務として、実施主体である地方自治体の長が認めた業務に5年以上従事している者

(2) 相談支援員養成研修

自立相談支援事業において相談支援員として配置されている者。なお、相談支援業務に従事している者(これまで従事していた者も含む。)など、生活困窮者への相談支援を適切に行うことができる者。

(3) 就労支援員養成研修

自立相談支援事業において就労支援員として配置されている者。なお、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者(これまで従事していた者も含む。)など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる者。

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」(平成30年4月19日付社援発0419第4号厚生労働省社会・援護局長通知)
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」(平成30年4月27日付厚生労働省事務連絡)(研修受講者の選定基準、都道府県別の受講者枠等が示されています)

5. 研修内容

(1) 主任相談支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】(別表1)及び主任相談支援員養成研修カリキュラム【後期】(別表2)により構成されています。

(2) 相談支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】(別表1)及び相談支援員養成研修カリキュラム【後期】(別表3)により構成されています。

(3) 就労支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】(別表1)及び就労支援員養成研修カリキュラム【後期】(別表4)により構成されています。

※本年度、1人の受講者が2つ以上の研修を受講する場合は、共通カリキュラム【前期】は1回だけ受講することとします。なお、【後期】研修を先に受講することはできません。また、過去に自立相談支援事業従事者養成研修の共通カリキュラム【前期】を受講した方は、本年度の共通カリキュラム【前期】は受講免除となります。過去の受講状況については受講申込書にて確認します。

※カリキュラムの詳細は受講決定通知と併せてご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

6. 受講料

無料

※テキスト代、食事代、交流会参加費(【前期】研修会1日目、【後期】研修会1日目に予定、希望者

のみ)は負担ください。なお、旅費及び宿泊費については、事業の対象経費として支出が可能とされています(社会・援護局長通知参照)。

7. テキスト

各研修で使用するテキストは下記の1冊となります。各自ご用意ください(自己負担)。

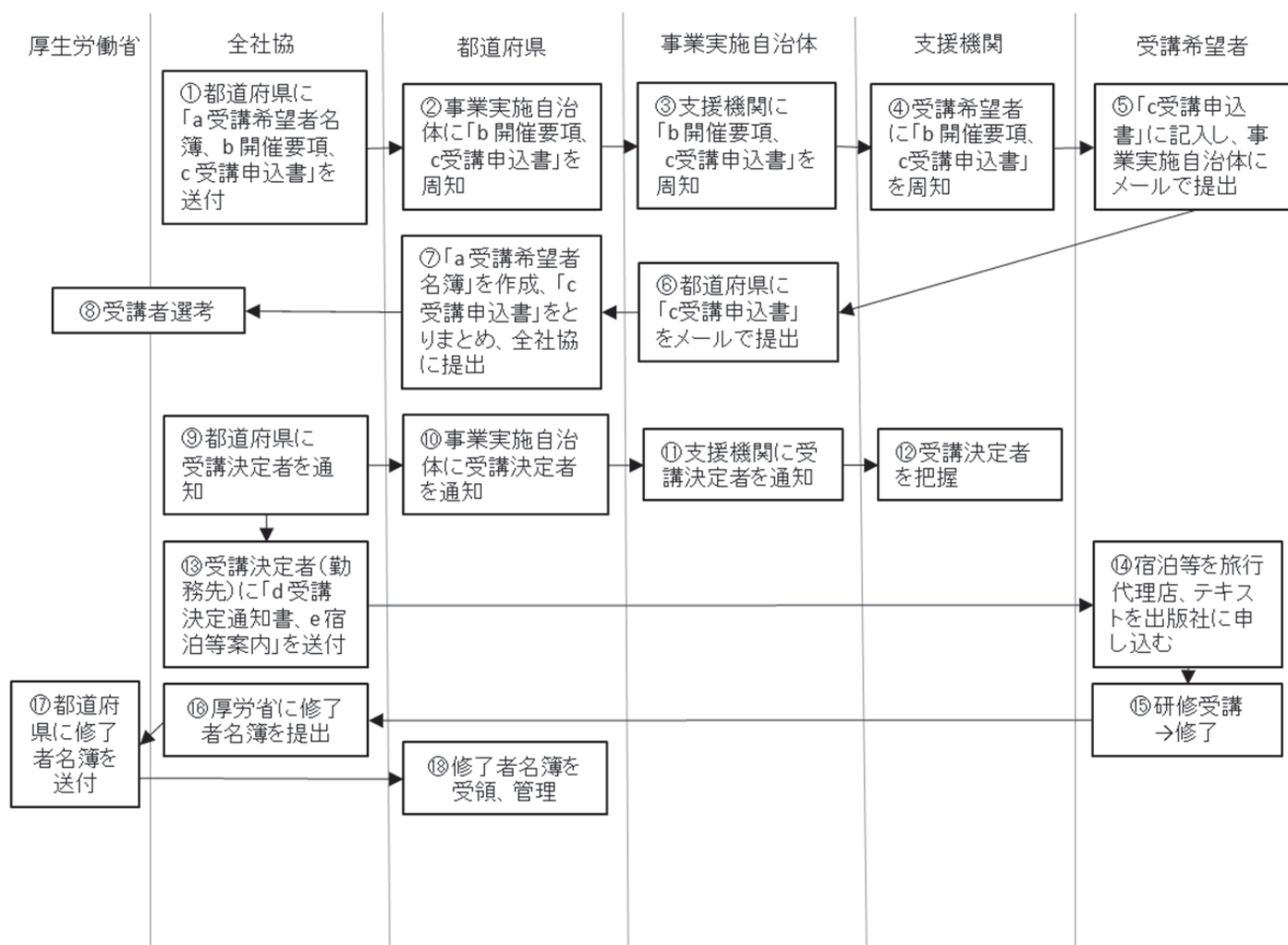
- ①『生活困窮者自立支援法 自立相談支援事業従事者養成研修テキスト』(中央法規出版株式会社)

※昨年「平成29年度自立相談支援事業従事者養成研修」に使用したテキストと同じです。

※書店等でお買い求めください。

次のページに続きます。

8. 申込みから受講、修了までの流れ



※ 【】内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

8-1. 都道府県

- (1) 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- (2) 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出（締切日：平成 30 年 5 月 28 日（月））【⑦】
- (3) 全社協から送られる「受講決定者名簿」（6 月上旬予定）に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- (4) 研修終了後、修了者名簿を受領し管理【⑱】

8-2. 事業実施自治体

- (1) 自立相談支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付（直営の場合は受講者に周知）【③】
- (2) 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- (3) 自立相談支援機関に受講決定者を通知（直営の場合は受講者に通知）6 月上旬予定【⑪】

8-3. 自立相談支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

8-4. 受講希望者

- (1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】

※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、自立相談支援機関経由でメールにてお送りします。

※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。

※受講申込書のファイル名は、「**別添1**受講申込書（1 主任、2 相談、3 就労）（フルネームを漢字で記入）」の1つ目のカッコ内を受講する研修の種類のみに変更し、2つ目のカッコ内を受講希望者のフルネーム（漢字）に変更してご提出ください。

※「**別添2**受講申込書（記入例）」をご参照ください。

- (2) 受講決定後、テキスト、食事、宿泊、交流会の申し込み（締切日：6月上旬予定）【⑭】

※受講決定通知、テキスト、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します（6月上旬予定）。

※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。

※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、自立相談支援機関にも通知します。

8-5. 補欠枠について

- (1) 都道府県ごとに主任相談支援員、就労支援員については各1名、相談支援員については各3名を上限として補欠枠を設けていますので、補欠登録する者についても受講申込書を記入頂くとともに、受講希望者名簿の「補欠欄」への記入をよろしくお願いいたします。相談支援員については、受講希望順に「補欠①～③」の欄に記入してください。
- (2) 補欠枠で登録した者については、全体の申込状況を勘案した上で受講決定を行いますので、受講できない可能性があることを、あらかじめご留意ください。

9. 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①前・後期のすべての科目に出席すること。
 - ②事前・事後課題を提出すること（課題を課した場合）。
- (3) 修了証書は、後期研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

次のページに続きます。

別表 1 共通カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
生活困窮者支援の基本的な考え方について	生活困窮者自立支援制度創設の背景及び制度の概要、生活困窮者支援の理念について理解する。	講義：1.5 時間
生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業の重要性について	自立相談支援事業の目的、機能、各支援員の役割、支援の流れについて理解する。	講義：1 時間
	任意事業や他制度の活用・自立相談支援事業との連携について理解する。	講義：1 時間
支援員に求められる基本倫理と基本姿勢について	各支援員に求められる基本倫理と基本姿勢について理解する。	講義：1.5 時間 演習：2 時間
生活困窮者支援に必要と考えられる視点について	生活困窮者支援に係る各制度・施策やその他の社会資源の活用、それらとの連携・協働の目的とその方法について理解する。	講義：1.5 時間 演習：2 時間
生活困窮者支援を通じた地域づくりについて	誰もが地域の中で安心して暮らすことができる（自立生活ができる）地域づくりに必要な視点について理解する。	講義：1 時間 演習：2.5 時間
相談支援の展開について	生活困窮者の自立支援計画について、基本的な考え方等について理解する。	講義：2 時間 演習：1.5 時間
就労支援の実施方法について	生活困窮者の就労支援について、基本的な考え方等について理解する。	講義：1.5 時間 演習：2 時間

※計 21 時間（講義 11 時間、演習 10 時間）

※実施予定時刻

- 【第 1 回】 第 1 日目 9：00～18：30 交流会（自由参加）18：50～19：50
第 2 日目 9：00～17：40
第 3 日目 9：00～17：30
- 【第 2,3 回】 第 1 日目 9：00～18：30 交流会（自由参加）18：50～19：50
第 2 日目 9：00～18：35
第 3 日目 9：00～16：35

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表 2 主任相談支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
主任相談支援員の役割について	生活困窮者自立支援制度における主任相談支援員に求められる役割について理解する。	講義：1時間
職員の資質向上と職場（組織）づくりについて	職員の育成・教育や職場環境のつくり方について学習する。	講義：1時間 演習：2時間
スーパービジョンについて	スーパービジョンの基本的考え方や、職場内での進め方など具体的な手法を学ぶ。	講義：1時間 演習：1時間
生活困窮者支援を通じた地域づくりの意義について	生活困窮者支援を通じた地域づくりの考え方を学習するとともに、地域の関係機関・関係者との協働・連携のあり方について理解する。	講義：1時間
個を支える地域づくりの視点について	事例検討を通じて、個を支えるために必要な地域ネットワークを考察することにより、地域づくりの視点について理解する。	演習：3時間
社会資源とネットワーク開発について	地域の社会資源の把握、地域に不足する社会資源の開発等の考え方やその手法について理解する。	演習：3時間
支援困難事例の検討について	高度な相談支援（支援困難ケースへの対応）について、具体的な支援の考え方やその手法について理解する。	講義：1時間 演習：2時間
アセスメント・プラン作成について	事例を通じて、インテーク・アセスメントシートの考え方について理解する。	講義：2時間 演習：2時間
研修全体のまとめ	共通カリキュラムを含めた研修全体について振り返りを行う。	講義：1時間

※計 21 時間（講義 8 時間、演習 13 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 10：40～17：55 交流会（自由参加）18：00～19：30

第 2 日目 9：00～16：50

第 3 日目 9：00～17：00

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表 3 相談支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
個別支援の基本について	相談支援において援助関係を構築する大切さやその手法について理解する。	講義：0.5 時間 演習：0.5 時間
援助関係をつくりにくい人への支援について	発達障害やメンタルヘルスに配慮すべき人の特性や支援方法について理解する。	講義：0.5 時間 演習：1 時間
アウトリーチについて	生活困窮者自立支援制度におけるアウトリーチの重要性とその手法について理解する。	講義：1 時間 演習：3 時間
任意事業との連携のあり方について	自立相談支援事業と任意事業との連携のあり方を確認し、効果的な支援策について理解する。	講義：1 時間 演習：1.5 時間
地域を基盤とした相談支援の方法について	地域づくりの重要性やその手法を通じて、地域を基盤にした支援方法について理解する。	講義：0.5 時間 演習：1.5 時間
相談支援の展開について	演習を通じて自立相談支援事業における帳票類が持つ意味について理解する。	講義：1 時間 演習：5 時間

※計 17 時間（講義 4.5 時間、演習 12.5 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 10：00～18：50 交流会（自由参加）19：00～20：30

第 2 日目 9：00～18：00

第 3 日目 9：00～14：00

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表 4 就労支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
就労支援員の役割について	生活困窮者自立支援制度における就労支援員に求められる役割を理解する。	講義：2 時間 演習：0.5 時間
個人への相談支援について	事例を通して、個別相談支援への支援プロセス等について理解する。	講義：1 時間 演習：2 時間
アウトリーチの実施と危機管理について	アウトリーチの重要性や手法の理解や危機管理の視点について理解する。	講義：0.5 時間 演習：1.5 時間
多様なプログラムの作成について	プログラム作りの方法や考え方や意欲喚起の手法について理解する。	講義：1.5 時間 演習：0.5 時間
職場内のチームづくり、地域のネットワークづくりについて	働きやすい職場づくりや地域の様々な関係づくりの実践を通じて、その手法について理解する。	講義：0.5 時間 演習：0.5 時間
自治体による就労支援について	自治体が行う就労支援とその強みについて理解する	講義：0.5 時間 演習：1.5 時間
企業へのアプローチについて	企業開拓、企業支援の具体的な方法や定着支援の必要性とその方法などについて理解する。	講義：1 時間 演習：1.5 時間
研修全体のまとめ	研修全体の振り返りを実施し、就労支援員の役割の再認識を行う。	講義：1 時間 演習：1 時間

※計 17 時間（講義 8 時間、演習 9 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 10：00～18：25 交流会（自由参加）18：45～20：00

第 2 日目 9：00～18：50

第 3 日目 9：00～14：00

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱いについて>

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<本件に関する連絡・お問い合わせ先>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （森山、三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9：30～17：30 土日祝日休業

平成 30 年度 就労準備支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の概要

生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業において配置される就労準備支援担当者を対象とした養成研修を実施します。

2. 日程・定員・会場

研 修 名	日 程	定員	会 場
就労準備支援事業従事者養成研修	10 月 3 日(水)～ 10 月 5 日(金)	120 名	タイム 24ビル

<会場>

タイム 24 ビル 13 階研修室 131

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32

TEL:03-5531-0024 FAX:03-5531-0025

※アクセスについては

web サイト（ <http://www.tokyo-bigsight.co.jp/time/access/index.html> ）でご確認ください。

3. 受講対象

就労準備支援事業において就労準備支援担当者として配置されている者。

なお、対象者の選定に当たっては、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる人材が望ましい。

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 30 年 4 月 19 日付社援発 0419 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 30 年 4 月 27 日付厚生労働省事務連絡）

4. 研修内容

就労準備支援事業従事者養成研修カリキュラム（別表 1）により構成されています。

※カリキュラムの詳細は、改めてメールでご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 受講料

無料

※交通費、食事代、宿泊費、交流会参加費（研修会 1 日目、希望者のみ）は負担ください。

なお、旅費及び宿泊費については、事業対象経費として支出が可能とされています（厚生労働省社会・援護局長通知参照）。

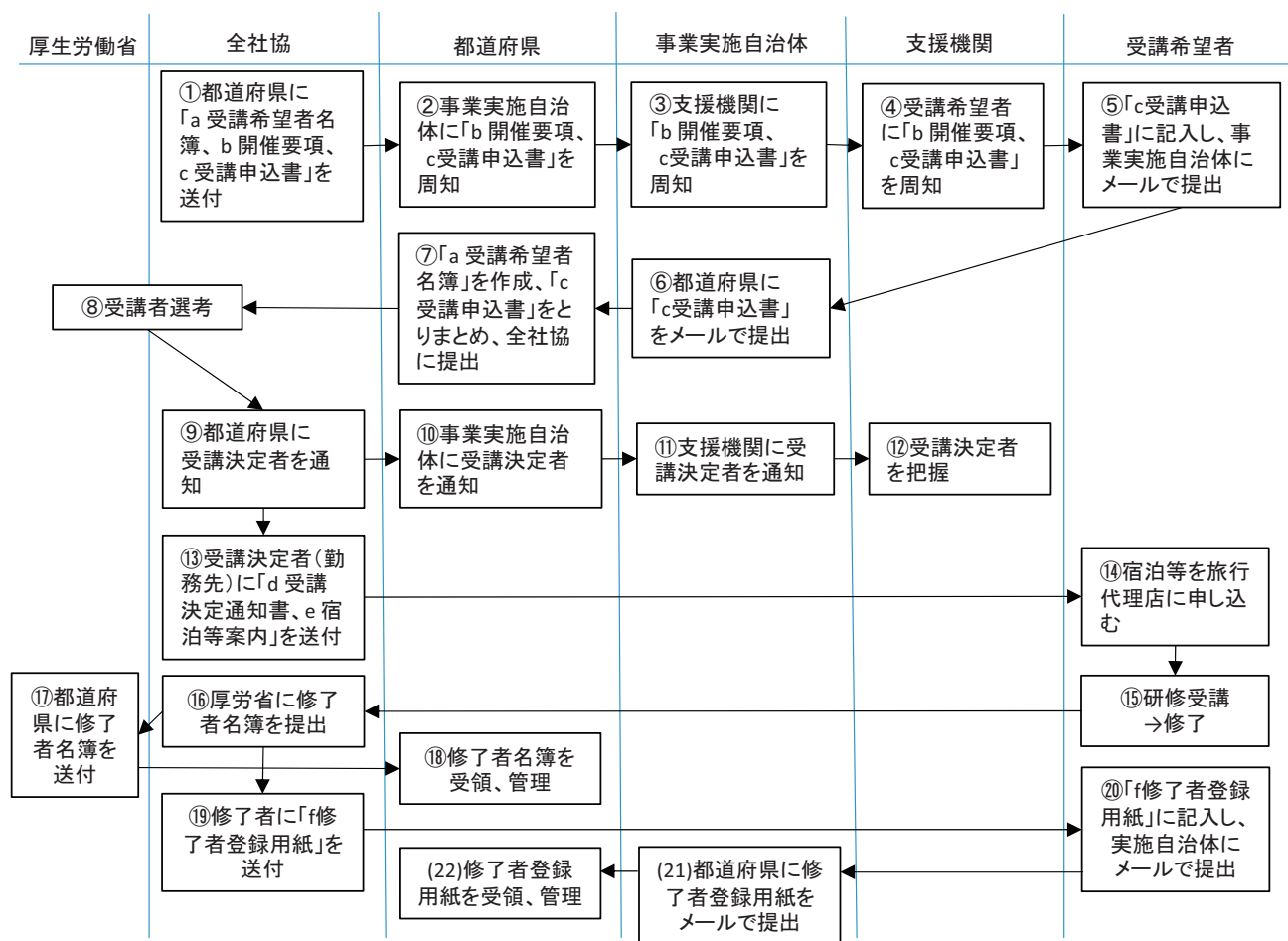
6. 必要な配慮について

手話通訳、要約筆記等の情報保障、その他必要な配慮がある場合は、事前に事務局までご連絡ください。

7. テキスト

有償の書籍をテキストとして使用することは予定しておりません。

8. 申込みから受講までの流れ



※次のページの【】内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

8-1. 都道府県

- 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出（締切日：平成 30 年 8 月 20 日（月））【⑦】
- 全社協から送られる「受講決定者名簿」（8 月末予定）に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- 研修終了後、修了者名簿および修了者登録用紙を受領し管理【⑯, (22)】

8-2. 事業実施自治体

- 支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付（直営の場合は受講者に周知）【③】
- 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- 支援機関に受講決定者を通知（直営の場合は受講者に通知）（8 月末予定）【⑪】
- 研修終了後、修了者登録用紙を受領し都道府県に提出【(21)】

8-3. 支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

8-4. 受講希望者

- (1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】
 - ※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、支援機関経由でメールにてお送りします。
 - ※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。
 - ※受講申込書のファイル名は、「**別添1**受講申込書 就労準備（フルネームを漢字で記入）」の1つ目のカッコ内を受講する研修の種類のみに変更し、2つ目のカッコ内を受講希望者のフルネーム（漢字）に変更してご提出ください。
 - ※「**別添2**受講申込書 就労準備（記入例）」をご参照ください。
- (2) 受講決定後、食事、宿泊、交流会の申し込み（締切日：9月上旬予定）【⑭】
 - ※受講決定通知、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します（8月末予定）。
 - ※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。
 - ※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、支援機関にも通知します。
- (3) 研修修了後、全社協から送付する「修了者登録用紙（自宅住所を記入）」に記入して、事業実施自治体にメールで提出【⑳】

9. 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

別表1 就労準備支援事業従事者養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
生活困窮者自立支援制度と就労準備支援事業の基本的な考え方について	生活困窮者自立支援制度及び就労準備支援事業の目的と必要性を理解する。	講義：1時間
本人の状態像に応じた支援のあり方について	多様な課題や社会的背景を抱える就労準備支援事業の対象者像に応じた支援のあり方について理解する。	講義：2時間
アウトリーチの基本的な方法、考え方	多様な課題や社会的背景を抱える生活困窮者に対するアウトリーチ（訪問支援）の基本的な方法や考え方につ	講義：1時間

	いて理解する	
アウトリーチの実際と危機管理	アウトリーチの重要性や手法の理解や危機管理の視点について理解する	講義：3時間
支援関係の構築について	支援プロセスにおいて支援関係の構築の重要性を理解するとともに、演習を通じて支援手法を理解する。	講義：1時間 演習：2時間
支援プログラム・メニューの開発について	多様な支援メニューの準備と開発の必要性やその方法について理解する。	講義：1時間 演習：2時間
企業開拓について	就労体験を行う際に体験先となる企業等の求人開拓を行うための手法を理解する	講義：1.5時間
研修全体のまとめ	研修全体の振り返りを実施し、就労準備支援事業と担当者の役割の再認識を行う。	演習：2時間

※計 17 時間（講義 11.5 時間、演習 5.5 時間）

※実施予定時刻 第1日目 13：00～17：00 交流会（自由参加）17：20～18：20
第2日目 9：30～18：05 意見交換会（自由参加）18：05～19：05
第3日目 9：30～16：30

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱いについて>

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<本件に関する連絡・お問い合わせ先>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （森山、三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9：30～17：30 土日祝日休業

平成 30 年度 家計相談支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の概要

生活困窮者自立支援制度の家計相談支援事業において配置される家計相談支援員を対象とした養成研修を実施します。同じ内容の研修を 4 回実施します。

2. 日程・定員・会場

研 修 名	日 程	定員	会 場
第1回 養成研修	6月5日(火)～ 6月7日(木)	60名	全社協・会議室
第2回 養成研修	9月10(月)～ 9月12日(水)	60名	全社協・会議室
第3回 養成研修	9月25(火)～ 9月27日(木)	60名	OMM会議室(大阪市)
第4回 養成研修	12月19(水)～ 12月21日(金)	60名	全社協・会議室

<会場>

- ・全国社会福祉協議会（5 階 会議室）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

※アクセスについては

web サイト（ <http://www.shakyo.or.jp/jncsw/access.html> ）でご確認ください。

- ・ OMM 会議室

〒540-6591 大阪府中央区大手前 1-7-31

TEL 06-6943-2020 FAX 06-6943-2021

※アクセスについては

web サイト（ <http://www.omm.co.jp/access/index.html> ）でご確認ください。

3. 受講対象

家計相談支援事業において家計相談支援員として配置されている者及び被保護者家計相談支援事業の相談支援に従事する者。

なお、対象者の選定に当たっては、相談支援に関わる知識・技術、家計管理に関わる知識・技術、社会保障制度や金融に関わる知識等を有していることが必要であり、以下の①から⑤のような人材が考えられる。

- ① 消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー又は消費生活コンサルタントの資格を有する者
- ② 社会福祉士の資格を有する者
- ③ 社会保険労務士の資格を有する者
- ④ ファイナンシャルプランナーの資格を有する者
- ⑤ 上記①～④に掲げる者と同等の能力または実務経験を有する者

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 30 年 4 月 19 日付社援発 0419 第 4 号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成 30 年 4 月 27 日付厚生労働省事務連絡）
- ・「被保護者家計相談支援事業の実施について」（平成 30 年 3 月 30 日付社援保発 0330 第 12 号厚生労働省社会・援護局保護課長通知）

4. 研修内容

家計相談支援事業従事者養成研修カリキュラム（別表 1）により構成されています。

※カリキュラムの詳細は、改めてメールでご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 受講料

無料

※交通費、食事代、宿泊費、交流会参加費（研修会 1 日目、希望者のみ）は負担ください。

なお、旅費及び宿泊費については、事業対象経費として支出が可能とされています（厚生労働省社会・援護局長通知参照）。

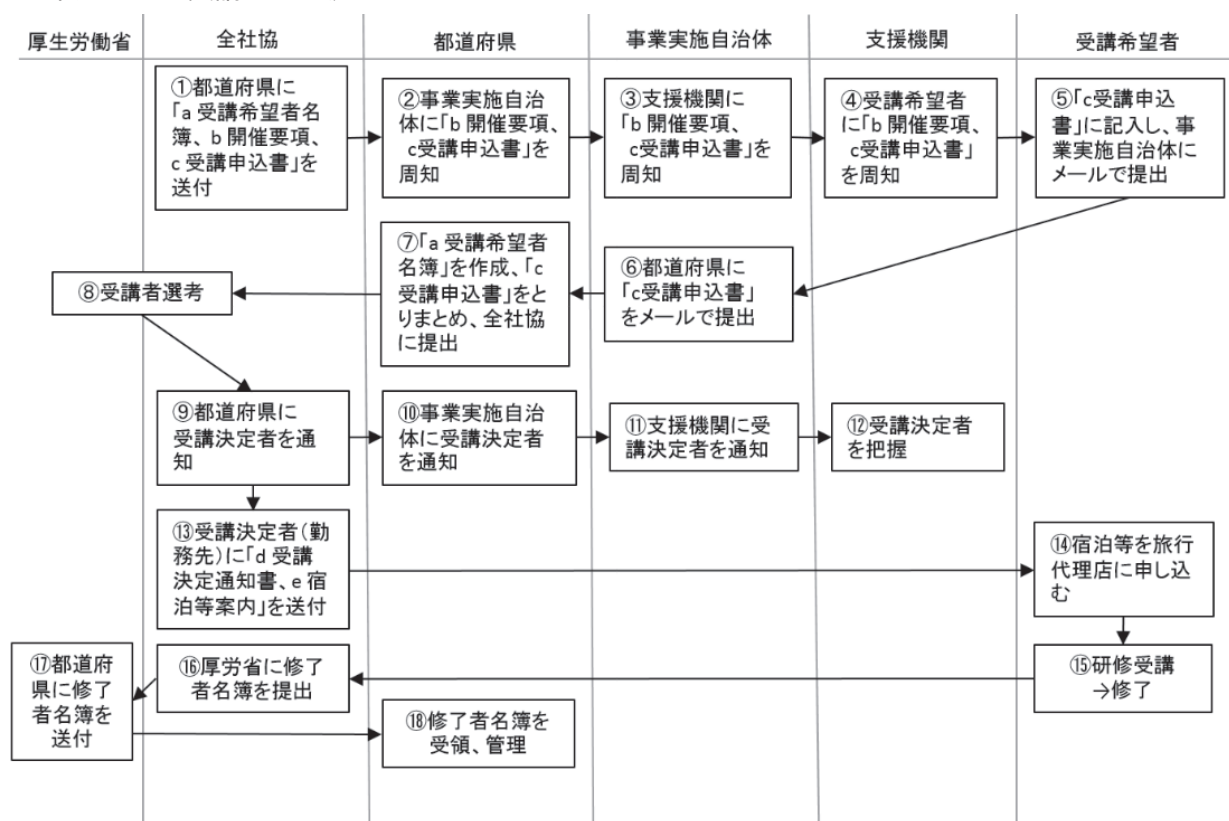
6. テキストおよびノートパソコンについて

（1）有償の書籍をテキストとして使用することは予定しておりません。

（2）第 3 日目においてノートパソコン（Microsoft Word、Microsoft Excel を使用）を使用します。持参できない方には、レンタルサービスを提供する予定です。

※詳細は受講決定通知にてご案内いたします。

7. 申込みから受講までの流れ



※ 【】 内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

7-1. 都道府県

- (1) 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- (2) 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出（締切日：平成 30 年 5 月 16 日（水））【⑦】
- (3) 全社協から送られる「受講決定者名簿」（5 月中旬予定）に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- (4) 研修終了後、修了者名簿を受領し管理【⑯】

7-2. 事業実施自治体

- (1) 支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付（直営の場合は受講者に周知）【③】
- (2) 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- (3) 支援機関に受講決定者を通知（直営の場合は受講者に通知）（5 月中旬予定）【⑪】

7-3. 支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

7-4. 受講希望者

- (1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】

※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、支援機関経由でメールにてお送りします。

※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。

※受講申込書のファイル名は、「**別添1**受講申込書 家計（フルネームを漢字で記入）」の1つ目のカッコ内を受講する研修の種類のみに変更し、2つ目のカッコ内を受講希望者のフルネーム（漢字）に変更してご提出ください。

※「**別添2**受講申込書 家計（記入例）」をご参照ください。

- (2) 受講決定後、食事、宿泊、交流会の申し込み（締切日：【第1回】5月21日予定、【第2回】8月中旬予定、【第3回】第2回に同じ、【第4回】11月中旬予定）【⑭】

※受講決定通知、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します（5月中旬予定）。

※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。

※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、支援機関にも通知します。

8. 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

別表 1 家計相談支援事業従事者養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
家計相談支援の基本的な考え方について	家計相談支援事業の目的や必要性、支援の流れなどを理解する。	講義：0.5 時間
家計相談支援員の基本姿勢と役割について	生活困窮者の状況の理解と、家計相談支援員に求められる倫理・責務・役割を理解する。	講義：0.5 時間
利用できる制度および多重・過剰債務の解決方法の理解について	債務整理等の基礎知識やその要因、活用できる各種制度等について理解する。	講義：1 時間
相談者像の理解について	相談者が抱える課題や社会的背景を理解し、家計相談支援事業の対象となる相談者像について理解する。	講義：0.5 時間 演習：0.5 時間
家計相談支援の基本的な考え方と相談の流れについて	初回面接から終結に至るまでの一連の流れ、家計相談支援における基本的対応方法等について理解する。	講義：1 時間 演習：2.5 時間
家計相談支援の失敗事例の検討について	事例を通して、相談時の注意点や面接の過程で配慮すべき支援員の姿勢について理解する。	講義：0.5 時間 演習：0.5 時間
家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表等の作成について	家計表やキャッシュフロー表等にもとづき、家計管理の方法等について理解や家計再生プランの書き方等について理解する。	講義：3 時間 演習：6.5 時間

※計 17 時間（講義 7 時間、演習 10 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 13：20～16：55 交流会（自由参加）17：00～17：50

第 2 日目 9：30～18：00

第 3 日目 9：30～17：00

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱いについて>

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<本件に関する連絡・お問い合わせ先>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （三輪、志村）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9：30～17：30 土日祝日休業

都道府県研修に係る担当者研修 開催要項

1. 目的

自立相談支援事業に従事する者等に対し、都道府県が独自性を持ち、国が実施する研修を基に地域における支援ニーズを加味して行う研修（以下「都道府県研修」という。）の内容の充実を図るため、効果的な都道府県研修の企画検討に関する講義・演習等を行い、都道府県研修の企画立案・運営に携わり中核的な役割を担う者を養成することを目的に開催します。

2. 日程 前期：平成 30 年 5 月 29 日（火）

後期：平成 31 年 1 月 29 日（火）

※2 回とも参加していただくことが原則となりますが、後期研修の参加確認は、あらためて行います。

3. 会場 前期：全国社会福祉協議会 灘尾ホール

（〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階）

後期：全国社会福祉協議会 第 3～5 会議室

（〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階）

4. 参加対象

都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者 ※原則として①又は②を想定。

①都道府県の研修担当者

②国が実施する研修の修了者（条件：平成 26-29 年度自立相談支援事業従事者養成研修の修了者）

③その他、都道府県研修の企画立案や実施に関わる者。

5. 定員 140 名程度

※原則として各都道府県から 3 名まで申込み可能（都道府県の研修担当者が 1 名以上いることが望ましい）

※参加対象者かつ貴都道府県において 3 名までの申込みの場合、受講選考から漏れることはございません。

6. 受講料 無料

※食事代はご負担ください。なお、旅費及び宿泊費については、事業の対象経費として支出が可能とされています（「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成30年4月19日付社援発0419第4号厚生労働省社会・援護局長通知 参照））。

※昼食・宿泊の斡旋はございません。

7. 申込みについて

（1）都道府県担当者の方へ

- ①受講希望者から提出される「受講申込書」に基づいて「受講希望者名簿」を作成し、受講申込書と併せて全社協にメールで提出してください。（締切日：平成30年5月16日（水））
- ②全社協から送られる「受講決定者名簿」に基づき、事業実施自治体にも受講決定者を通知してください。なお、受講が決定した方に限り、全社協から個別に受講決定通知（受講票）を送付します。

（2）受講希望者の方へ

- ①都道府県担当者から送られる開催要項に添付の「受講申込書（Excel ファイル）」に記入のうえ、都道府県担当者にメールで提出してください。
 - ②受講が決定次第、全社協から受講決定通知（受講票）をお送りします。
- ※都道府県担当者の方が受講される場合も必ず記入してください。
- ※受講申込書は受講者選考や受講決定通知（受講票）の送付、研修のグループ編成に使用します。

8. プログラム ※予定

前期平成30年5月29日（火）

10：00～10：30 （30分）	受付
10：30～10：40 （10分）	<u>挨拶・オリエンテーション</u> 厚生労働省、全国社会福祉協議会
10：40～10：00 （20分）	<u>行政説明</u>
11：00～12：00 （60分）	<u>生活困窮者支援における人材養成について</u>
12：00～13：00 （60分）	昼食休憩
13：00～15：00 （120分）	<u>都道府県における研修の取り組みについて（実践報告）</u>
15：00～15：10	休憩

15：10～16：45 (95 分)	<u>効果的な研修の企画・立案</u>
16:45～16:55 (10 分)	アンケート記入、事務連絡等
16:55～17:55 (60 分)	個別相談会（任意参加）

後期平成 31 年 1 月 29 日（火）

10：30～11：00 (30 分)	受付
11：00～11：30 (30 分)	<u>挨拶・オリエンテーション</u> 厚生労働省、全国社会福祉協議会
11:30～12:30 (60 分)	<u>都道府県における研修の取り組みについて</u>
12：30～13：30 (60 分)	昼食休憩
13:30～16:45 研修（180 分） 途中休憩（15 分）	<u>来年度以降の研修プログラムの作成に向けて</u>
16:45～16:55 (10 分)	アンケート記入、事務連絡等

※プログラムの内容については、現時点における予定であることから、今後、変更となる場合があります。

9. 個人情報の取り扱いについて

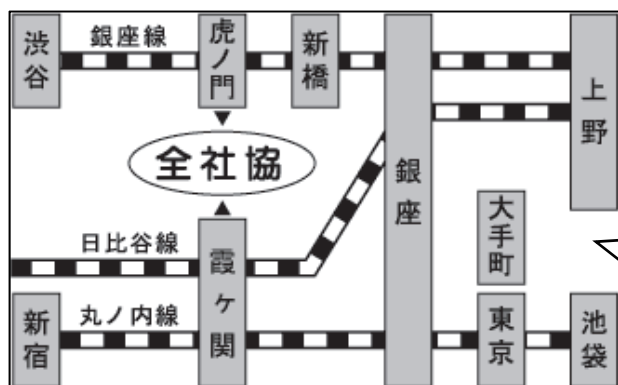
受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください
 全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。
 全社協ホームページ：<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<会場のご案内>



<交通機関のご案内>



- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線
「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 地下鉄千代田線／丸の内線
「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

※アクセスはwebサイト（<http://www.shakyo.or.jp/jncsw/access.html>）でもご確認いただけます

【お問い合わせ先】

全国社会福祉協議会 地域福祉部 （担当：森山、三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL: 03-3581-4655 FAX: 03-3581-7858

E-Mail: z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 平日 9:30～17:30 土日祝日休業

修了証書

平成●●年度

自立相談支援事業従事者養成研修

【●●支援員養成研修】

修了番号 << 修了番号 >>

<< 氏名 >> 殿

<< 生年月日 >> 生

貴殿はこの度 厚生労働省委託の
自立相談支援事業従事者養成研修
●●支援員養成研修を受講し所定の
課程を修了したことを証する

平成●●年●●月●●日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

会長 斎藤 十郎

